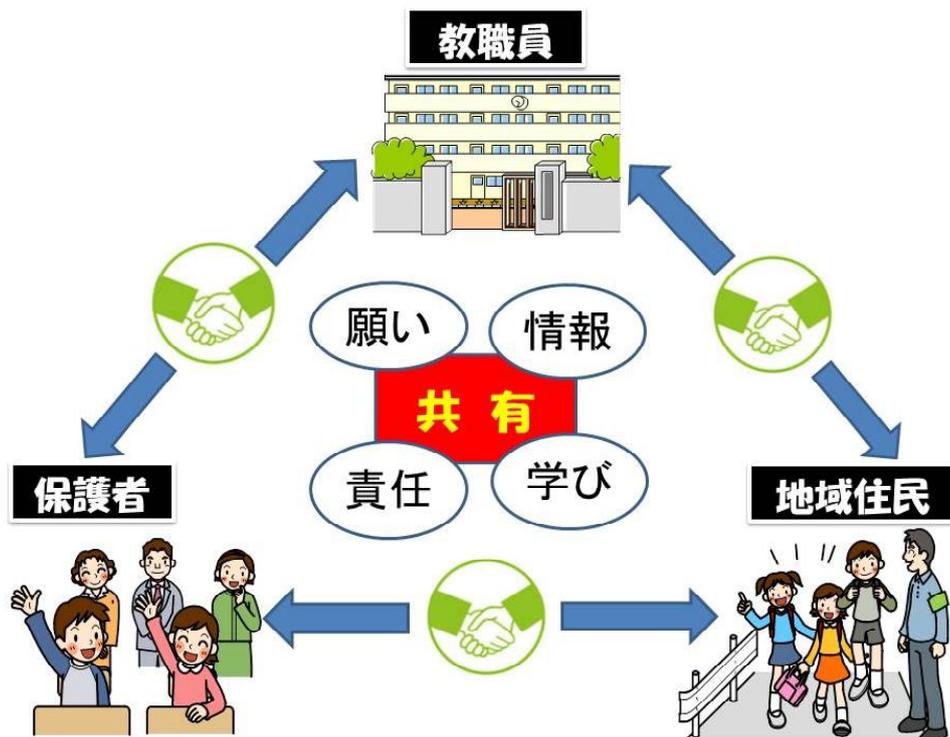


平成26年度

地域密着型教育推進事業

実践報告集



「地域密着型教育」を通して

子どもたちに確かな学びと豊かな育ちを！

学校・家庭・地域社会が連携・協力し、

- (1) 子どもたちによりよい教育環境を提供します。
- (2) ふるさとに誇りと愛着をもつ子どもを育てます。
- (3) 地域ぐるみの教育活動を展開し、

明るく活力あるまちづくりに貢献します。

八戸市教育委員会

地域密着型教育の一層の推進に向けて

八戸市教育委員会

教育長 伊藤 博章

市教育委員会では、近年の社会の変化や教育環境の厳しさの中、「子どもたちに確かな学びと豊かな育ちを保証する」ために、学校・家庭・地域社会がこれまで以上に連携していく必要があることから、平成20年度に地域密着型教育推進事業を立ち上げました。昨年度までに全ての学校または中学校区に地域学校連携協議会が設置され、7年目を迎えた今年度は、4月当初より全小・中学校で地域密着型教育を推進して参りました。

今年度は、市教育委員会の重点として、「①推進校連絡会等の開催による支援」、「②各学校または中学校区の地域学校連携協議会の充実」、「③一般市民への事業に対する理解を深めるための広報活動」の三点を掲げ支援して参りました。

広報活動の一環として、地域密着型教育を始めとした様々な教育施策や各小・中学校の特色ある教育活動を一般市民へ周知する場として、今年度初めて、12月に「第1回教育の広場」を開催いたしました。また、1月の実践発表会では、教職員と保護者の他に地域学校連携協議会の委員やコーディネーターにも参加していただきました。

地域学校連携協議会の委員を務めていただいた804名の方々、コーディネーターとして御尽力いただきました79名の方々、そして、多くの教育支援ボランティアの方々に支えられて各小・中学校の取組が充実したものになったことに心より感謝申し上げます。

全校実施3年目を迎える来年度は、地域密着型教育の真価を問われる年と言えるでしょう。市教育委員会といたしまして、今後さらに地域密着型教育が一般市民の方々に理解され、各協議会の話合いが充実し、教育支援ボランティアの有効活用が図られるよう支援して参ります。

各学校におかれましては、これまでの各校の成果と課題を参考にいただき、学校や地域の特色を生かした地域密着型教育が一層推進されるよう心から願っております。

目 次

巻頭言・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 八戸市教育委員会 教育長 伊藤 博章

1章 平成26年度の事業概要

1	基本方針	1
2	平成26年度の重点	1
3	平成26年度の予算	2
4	平成26年度の関係行事	2
5	事業推進のための留意点	3
6	予算からみた各校活動状況	4
7	平成26年度の成果と課題	4
8	次年度の見通し	6
9	地域密着型教育への取組状況に関するアンケートのまとめ	7
10	地域密着型教育コーディネーター業務に関するアンケートのまとめ	9

2章 平成26年度推進校報告書

<小学校>

1	八戸	11	21	根城	51	41	松館	93	11	南浜	125
2	城下	13	22	白山台	53	42	旭ヶ丘	95	12	根城	127
3	吹上	15	23	江南	55	43	市野沢	97	13	白山台	129
4	長者	17	24	田面木	57	44	中野	99	14	下長	131
5	図南	19	25	下長	61	45	鳩田	101	15	北稜	133
6	中居林	21	26	城北	63	46	島守	103	16	是川	135
7	柏崎	23	27	高館	65				17	三条	137
8	小中野	25	28	根岸	67				18	明治	139
9	江陽	27	29	日計ヶ丘	69				19	市川	141
10	湊	29	30	是川	71				20	豊崎	143
11	青潮	31	31	是川東	73				21	大館	145
12	白銀	33	32	三条	75				22	東	147
13	白鷗	35	33	西園	77				23	中沢	149
14	白銀南	37	34	明治	79				24	島守	151
15	町畑	39	35	桔梗野	81						
16	美保野	41	36	轟木	83						
17	鮫	43	37	多賀	85						
18	種差	45	38	多賀台	87						
19	大久喜	47	39	豊崎	89						
20	金浜	49	40	新井田	91						

<中学校>

1	第一	105
2	第二	107
3	第三	109
4	長者	111
5	小中野	113
6	江陽	115
7	湊	117
8	白銀	119
9	白銀南	121
10	鮫	123

<小・中学校>

1	田代	153
---	----	-----

3章 実践発表資料

1	日計ヶ丘小学校発表資料（コーディネーター研修会）	155
2	中居林小学校発表資料（実践研究発表会）	160

4章 関係資料

1	地域密着型教育推進事業実施要項	167
2	八戸市「地域密着型教育推進事業」推進校における 地域学校連携協議会の設置に関する要綱	169
3	地域密着型教育推進事業に係る 「地域密着型教育コーディネーター」設置要綱	173
4	地域密着型教育推進事業基本構想図	175
5	同一学区内地域学校連携協議会の形態例	176

1章 平成26年度の事業概要

1	基本方針	1
2	平成26年度の重点	1
3	平成26年度の予算	2
4	平成26年度の関係行事	2
5	事業推進のための留意点	3
6	予算からみた各校活動状況	4
7	平成26年度の成果と課題	4
8	次年度の見通し	6
9	地域密着型教育への取組状況に関するアンケートのまとめ	7
10	地域密着型教育コーディネーター業務に関するアンケートのまとめ	9

1 章 平成26年度の事業概要

1 基本方針

八戸市教育委員会並びに各推進校は、八戸市教育委員会が定めた「地域密着型教育推進事業実施要項」、「八戸市『地域密着型教育推進事業』推進校における地域学校連携協議会の設置等に関する要綱」及び「地域密着型教育推進事業に係る『地域密着型教育コーディネーター』設置要綱」により、平成26年度の重点を中心に事業を推進する。

今年度も学校支援本部事業が継続するので、当該校に関しては教育指導課と社会教育課で連携して取り組むこととする。

(1) 趣旨

児童生徒の確かな学びと豊かな育ちに資することを目的として、地域密着型教育を推進し、推進校の運営に関して、地域の住民及び保護者等の参画等を進める。

(2) 推進校における実践内容

保護者及び地域住民が、学校運営に参画できる地域学校連携協議会を推進校に設置し、地域住民等と学校との協働による「開かれた学校づくり」を推進する。

- ①「願い」「情報」「責任」「学び」の四つを学校・家庭・地域社会が共有し、PTA 活動や地域活動などとの連携・協力を深めることにより、よりよい教育環境と支援体制を整備し、学校教育の質を向上させる。
- ②教育方針等に地域住民等の願いを反映させるとともに、地域の特色や地域住民等の教育力を生かした教育活動を展開することにより、児童生徒のふるさとへの誇りと愛着を育む。
- ③地域の次代を担う子どもたちの健全育成を通して、明るく活力あるまちづくりに貢献する。

(3) 推進校

市内全小・中学校で地域密着型教育を推進する。

(4) 推進校の組織

推進校においては地域学校連携協議会を組織し、年3回程度開催する。専門部会、企画推進部会等他の組織の設置については、推進校の裁量とする。

2 平成26年度の重点

(1) 推進校連絡会等の開催による各校取組への支援

推進校連絡会、コーディネーター研修会等を開催し、各校の取組状況の共有や課題解決に向けた話し合いを通して、各校の取組を支援する。

- ・推進校連絡会の開催（2回）
- ・コーディネーター研修会の開催（3回）
- ・地域密着型教育実践発表会の開催 等

(2) 地域学校連携協議会の充実のための支援

各推進校の地域学校連携協議会が充実するよう、担当指導主事を中心に支援する。

- ・協議題の吟味や資料提示等の工夫及び、協議進行の工夫
- ・災害発生時の安全確保に係る体制についての協議 等

(3) 一般市民への事業に対する理解を深めるための広報活動

地域密着型教育に対する理解が広がるよう、各学校の活動についての一般市民への広報活動に努める。

- ・市教委による、「広報はちのへ」への特集記事の掲載 等
- ・各学校による、ホームページ、ブログ、たより等への記事の掲載 等

3 平成26年度の予算

(1) 予算上の学校支援地域本部事業の活用

前年度まで学校支援地域本部事業を実施していた推進校は、平成26年度も継続する。その際、社会教育課が予算関係の担当課となる。

(2) 地域密着型教育推進事業の予算

上記（学校支援地域本部事業活用校）以外の推進校は、地域密着型教育推進事業の予算で実施する。その際、教育指導課が予算関係の担当課となる。

(3) 平成26年度地域密着型教育推進事業予算案（1校当たり）

		普通規模	小規模	本部事業	備考
規模の基準	小学校	100人以上	100人未満		
	中学校	80人以上	80人未満		
コーディネーター謝金		160,000	0	160,000	800円/h×200h
消耗品費		35,000	15,000	35,000	用紙代、インク代
保険料		各校50人まで	各校15人まで	各校50人まで	ボランティアの保険料 300円/人

4 平成26年度の関係行事

月	日	曜	内 容	備 考
4	24	木	地域密着型教育推進校説明会	事業推進の基本方針、事務手続き
5	20	火	地域密着型教育コーディネーター研修会①	
7	2	水	地域密着型教育コーディネーター研修会②	発表 日計ヶ丘小学校
11	27	木	地域密着型教育コーディネーター研修会③	
12	11	木	地域密着型教育推進校連絡会	発表 中居林小学校
12	26 27	金 土	第1回教育の広場 in はちのへ	市民への事業の周知
1	19	月	小中JS・地域密着型教育実践発表会	推進校からの実践発表
3			地域密着型教育実践報告集発行	

5 事業推進のための留意点

(1) 地域学校連携協議会を充実させ参加者の参画意識を高めるための留意点

- ①保護者や地域住民が関心をもちやすい具体的な内容を、分かりやすい資料を使って示し、意見が多く出るようにする。
- ②学校の課題や児童生徒の課題については、教職員だけの責任とせずに、参加者全員の課題として捉えられるようにする。
- ③要望、意見について、どこで検討するのか（学校で、PTAで、企画推進委員会で等）を明らかにし、検討結果（学校行事の変更、PTA活動の改善、ボランティアの活用等）を次回の協議会で報告するなどし、無理に回答を急がない。
- ④委員全員から意見を吸い上げたり、年間行事予定等を諮り意思決定の機会をつくったりするなどして、委員としての役割を担っているという実感をもってもらうよう工夫する。
- ⑤司会を務める会長との事前の打合せを行い、学校としてどのような意見や要望、話し合いを望んでいるのかを司会者に理解してもらう。また、必要に応じて協議会中でも校長や教頭が司会者にアドバイスして、適正な話し合いができるようにする。

(2) コーディネーターの活用に関する留意点

- ①連絡調整のために、毎週定められた曜日に活動日を設けて、あとは必要に応じて活動するなど、年間活動時間に留意の上、コーディネーターと相談しながら効果的な活動ができるよう工夫する。
- ②提出書類等について年間の見通しを立て、コーディネーターに計画的に進めてもらう。
- ③活動報告をする際には、コーディネーターの活動は謝金が発生することから、ボランティア活動等コーディネーターとしての活動に含まれないものを記載しないよう留意する。（「地域密着型教育推進事業に係る『地域密着型教育コーディネーター』設置要綱」で定められていない内容はコーディネーターの活動としては認められない）
- ④学校支援地域本部実施校のコーディネーターについては、社会教育課が定めている要綱や計画によるが、上記とほぼ同じとみてよい。

コーディネーターの活動例

- ア 地域学校連携協議会委員等への案内の作成・印刷・発送
- イ 地域学校連携協議会議事録等必要書類の作成・管理
- ウ 学校支援ボランティアバンクの作成・保険手続き
- エ 各専門部会の全事業についての案内文作成・発送・参加ボランティアの掌握
- オ 地域学校連携協議会だよりの作成・全町内会への配付
- カ 各専門部会で使用する用紙類や消耗品等の購入・会計処理
- キ 授業等でボランティアが必要な教科・内容・時期の確認・調整
- ク 学校が必要とするボランティアの開拓・連絡・日程調整
- ケ 研修
- コ その他

6 予算からみた各校活動状況（地域密着型教育推進事業費活用校のみ）

(1) 項目ごとの予算執行状況（2月末現在）

項 目	予算額	執行額	備 考
コーディネーター謝礼	6,400,000	2,977,600	800 円/h × 活動時間（40 校分）
消耗品費	1,623,000	1,216,297	35,000 円 or 15,000 円（54 校分）
傷害保険料	695,000	154,500	コーディネーター 53 人 ボランティア 383 人

(2) コーディネーターの1校当たり月別平均活動時間（2月末現在）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	合計
時間	2.9	14.1	13.7	11.8	4.4	10.7	10.7	12.2	10.8	6.7	6.9	104.9

(3) ボランティアの活動状況

	短期的活動		長期的活動		備 考
	56 校合計	1 校平均	56 校合計	1 校平均	
4～7 月	5,157 人	92.1 人	417 人	7.4 人	
8～12 月	5,233 人	93.3 人	29 人	0.5 人	2 学期から開始
合 計	10,380 人	185.4 人	446 人	8.0 人	2 学期末の人数

(4) 消耗品による購入項目

用紙・プリンタインク・事務用品等を、予算の上限で一括購入する学校がほとんどである。

7 平成26年度の成果と課題

(1) 市教委の重点等に関する取組について

① 推進校連絡会等による支援

○ 推進校説明会、推進校連絡会の他に、コーディネーター研修会を3回開催したことにより、他校の取組の状況などの必要な情報交換ができた。

● 新任のコーディネーターも増えつつあるので、コーディネーター研修会では、ベテランのコーディネーターと新規のコーディネーターが同席する中で充実した研修ができるように、内容について検討する必要がある。

② 地域学校連携協議会の充実

○ 地域学校連携協議会の話し合いは、取組年数の多い学校ほど充実してきているが、今後も充実に向けた手立てが必要である。

● 地域学校連携協議会を学校毎に設置する場合と学区で設置する場合のメリットとデメリットを明らかにし、今後の事業展開の見通しを立てる必要がある。

- 推進校連絡会で情報交換は行われているが、協議会での話合いの内容等について調査するなど、常に情報提供できるようにしていく必要がある。
- ③一般市民への事業に対する理解を深めるための広報活動
 - 教育委員会の様々な施策を周知するため、12月に「第1回 教育の広場」を八戸ポータルミュージアムはっちにおいて開催することができた。
 - 各学校の地域への情報発信の意識も高まり、工夫が見られる。
 - 「教育の広場」の参加者を増やすとともに、「広報はちのへ」の他、ホームページの有効活用など積極的な発信に努める必要がある。

(2) 推進校連絡会で協議された内容について

- ①地域学校連携協議会に関して
 - 協議の内容が、子どもを中心に据えたものになってきている。
 - 小・中一緒に行くことによって、それぞれの成果や課題を共有できる。
 - 中学校区の協議会でも、第2回（学校評価）を分科会形式で行うことにより、学校評価も適切に行うことができた。
 - 情報交換の場にはなっているが、しっかりした協議の場・意志決定の場にはなっていない。
 - 地域学校連携協議会委員の人選について、小・中の調整に苦慮している。
- ②コーディネーターに関して
 - 事業推進の上で、地域のことを良く知っている人脈のあるコーディネーターの役割が大きい。積極的に働きかけをしてくれている。
 - 長く続けていたコーディネーターの後任が見つからない。
 - 地域とのつながり、学校とのつながり、活動の特性、活動時間等から、コーディネーターの選定に苦慮した。
- ③ボランティア活動について
 - ボランティアによる活動で、図書室整備、環境整備、安全・安心活動等が進んだ。
 - ボランティアが増えない。同じ人がボランティア活動を行うことが多い。
- ④その他
 - 地域のために何ができるかという視点での取組も増えつつある。
 - 地域の方々は学校のために何かしたいという気持ちが強い。反面、職員が地域との結束の必要感を感じていない
 - 休日の地域行事に子どもや職員の参加を求められることが多くなってきており、職員の負担等課題がある。

(3) コーディネーター研修会等で出された内容について

- 他校のベテランコーディネーターの実践発表を聞くことにより、自校でどのようなことをすればよいのか大変参考になった。
- 1校1人のコーディネーターの場合、相談する相手がないので、このような研修会の機会があるのは大変よい。
- ボランティアの活動時に、できるだけたくさん先生方にも顔を出してほしい。
- 教頭をはじめ、関係の先生方と打合せを密にしたいが、なかなか時間がとれない。
- コーディネーターの役割など、職員にもっと理解してほしい。

(4) その他

- 事業の趣旨や内容について、広く一般市民に周知を図る必要がある。

8 次年度の見通し

(1) 平成 27 年度の基本方針

平成 27 年度は今年度と同様の基本方針で事業を展開する。(1 ページ参照)
 学校支援本部事業が終了し、教育指導課が全ての学校の予算担当となる。

(2) 平成 27 年度の重点

- ① 推進校連絡会等の開催による各校取組への支援 継続
- ② 地域学校連携協議会の充実 継続
- ③ 一般市民への事業に対する理解を深めるための広報活動 継続

(3) 地域密着型教育推進事業予算案 (1 校当たり)

		地域密着型教育推進事業		備 考
		普通規模校	小規模校	
規模の基準	小学校	100 人以上	100 人未満	
	中学校	80 人以上	80 人未満	
コーディネーター謝金		160,000	0	800 円/h × 200 h
消耗品費		35,000	15,000	用紙代、インク代
保険料		各校 50 人まで	各校 15 人まで	ボランティアの保険料 300 円/人

(4) 関連行事

月	日	曜	内 容	備 考
4	23	木	地域密着型教育推進校説明会	事業推進の基本方針、事務手続き
5	19	火	地域密着型教育コーディネーター研修会①	
7	8	水	地域密着型教育コーディネーター研修会②	
11	26	木	地域密着型教育コーディネーター研修会③	
12	10	木	地域密着型教育推進校連絡会	
12	26 27	土 日	第 2 回 教育の広場	市民への事業の周知
1	18	月	小中 JS・地域密着型教育実践発表会	推進校からの実践発表
3			地域密着型教育実践報告集発行	

地域密着型教育への取組状況に関するアンケートのまとめ

実施日 平成26年12月11日
対象 校長または教頭

Q1 協議会をどのように設置していますか？

	学校単独			中学校区		
	年間通し	合同開催		年間通し	分科会	
小学校	33	31	2	14	9	5
中学校	13	11	2	12	9	3
合計	46	42	4	26	18	8

単位は、校

①学校単独の協議会が45

そのうち、2中学校区は第2回を合同開催している

②中学校区の協議会が12

そのうち、3中学校区は第2回を分科会で開催している

Q2 協議会の委員は、どのような方がなっているか？

①地域代表	合計	451 名
公民館等施設職員		44
町内会長		109
交通安全協会		30
防犯協会		29
青少協		26
子ども会		25
民生委員・児童委員		54
幼稚園・保育園		25
高校・大学		5
学識経験者		15
学区校長		9
その他		80
②PTA関係	合計	246 名
現職会長		71
現職副会長		94
現職その他		18
OBの会長		43
OBの副会長		6
OBのその他の役員		0
その他		14
③学校関係	合計	107 名
校長		13
教頭		14
教務主任		53
生徒指導		17
研修主任		7
学年主任		1
その他		2

協議会委員総計 804 名

Q3 教育支援ボランティアの活用状況は、どのようになっているか。

①学習活動に関するボランティア 単位は、校

	小学校	中学校	合計
校外活動安全管理	37	1	38
読み聞かせ	15	1	16
ゲストティーチャー	20	8	28
その他(補助等)	12	4	16

②学習環境の整備に関するボランティア 単位は、校

	小学校	中学校	合計
図書館支援	29	13	42
安全・安心見守り	37	8	45
校庭整備・花壇	37	15	52
校舎整備	23	4	27
その他	1	2	3

Q4 地域学校連携協議会と学校評価の関係はどのようになっているか

	単位は、校		
	小学校	中学校	合計
地域学校連携協議会の一部の委員が学校関係者評価を行っている	35	20	55
地域学校連携協議会の全委員が学校関係者評価を行っている	8	4	12
学校評価委員会を別に設置している	4	1	5
合計	47	25	72

Q5 地域密着型教育に関する情報発信をどのように行っているか

	単位は、校		
	小学校	中学校	合計
地域密着型教育のたよりを作成している	21	7	28
参観日等に説明している	30	11	41
学校だよりで紹介している	42	21	63
ホームページ・ブログで紹介している	18	9	27
合計	111	48	159

地域密着型教育コーディネーター業務に関するアンケートのまとめ

対象 コーディネーター
H26.11.27実施

Q1 現在(または以前)どのようなお立場ですか(でしたか)?

	小	中	合計
現職のPTA	6	1	7
PTAのOB	33	17	50
PTA事務	0	7	7
その他	1	1	2
合 計	40	26	66

Q2 勤務日はどのように決めていますか?

また、勤務日を決めるときの学校の窓口は誰ですか?

	小	中	合計
不定期	29	20	49
定期	11	6	17
合 計	40	26	66

	小	中	合計
校長	0	0	0
教頭	40	24	64
窓口なし	0	2	2
合 計	40	26	66

Q3 次の①から⑩のうち、どの業務を行っていますか?○を記入してください。

	小	中	合計
① 地域学校連携協議会委員等への案内の作成・印刷・発送	20	18	38
② 地域学校連携協議会議事録の作成・管理	23	15	38
③ 学校支援ボランティアバンクの作成・保険手続き	19	15	34
④ 協議会だよりの作成・全町内会への配付	18	11	29
⑤ 各専門部会についての案内の作成・印刷・発送・ボランティア掌握	17	12	29
⑥ 用紙類等消耗品の購入・会計処理	13	13	26
⑦ ボランティアの開拓及び連絡調整	37	17	54
⑧ 市教委との事務連絡	10	6	16
⑨ コーディネーター研修	36	23	59
⑩ その他	26	12	38

Q4 業務を行うにあたって、考えていること・悩んでいることなど自由にお書きください。

コーディネーターの存在をもっと先生方に知ってほしい。
コーディネーターの部屋があれば、もう少し活動しやすくなる。
協議会発足時の先生方も替わり、先生方との距離感を感じています。
コーディネーターとしての勤務日を仕事があってもなくても定期にした方がよいです。顔を売ることが目的、学校側をお願いしてもらいたい。
中学校ではなかなかコーディネーターの出番がなく、回覧用の新聞印刷・配布が主な仕事になっています。
よい状態でボランティアの方々に来てくれていると思います。(トラブルもなく) ボランティアの方々との意見交換が必要だと思います。
毎日昼休み図書室貸し出しの見守りや図書室のディスプレイ用の飾り作成等、テスト週間の図書室開放見守り等々、図書ボランティア活動はボランティアさんの方々のお力添えで順調にできていると思っています。図書室を利用する生徒も少しずつですが増えているように思います。
年間を通して行うボランティア活動の計画が月1・半年1回・学期1回など出してもらえると(学校側から)、コーディネーターもボランティアも働きやすいと思います。
地域のおじいちゃんおばあちゃん方と交流を行っている活動があるが、高齢化により参加して下さる方が少なくなってきた。校長先生・教頭先生が、学校支援本部事業においてとても協力的です。先生方にも少しずつ周知してくださっているので依頼も増え助かっています。ボランティア活動の時などにもまめに顔を見せてくれ声をかけてくださるので励みになりますし、うれしいです。
図書や朝自習見守りなど、もう少し人数がほしいボランティアについて何度か募集をかけているがなかなか見つからず同じ方数名に毎回やっていただいているのが現状…。もっと気軽に参加してもらえるように募集の仕方を工夫して同じ方だけに負担がかからないようにしていきたい。
ボランティアの開拓が進まず、メンバーが固定化しており課題です。発掘できず反省しています。
年々現役の保護者のお手伝い参加が減少し、地域ボランティアさん同じ方々への依頼が集中してしまう結果になっています。
地域の方のボランティアも開拓していかなくてはならないのですが、まずPTAの方に積極的に参加していただけるよう工夫したいと思っています。
ボランティアの人数を増やそうとしましたが、今回は声をかけても再募集をかけても人数が増えませんでした。図書室を楽しい雰囲気をつくり、子どもたちからの情報を発信してもらおうことを考えています。
昨年度まで協力していたボランティアの依頼がなく、ボランティアの人に楽しみにしていたのといわれました。学校の先生の考え方もそれぞれ違うと思います。何度か同じボランティアに参加している方は、声をかけられるのを楽しみにしている方もあるんだなあと思いました。
活動する前、先生方と打ち合わせできればよいが、そうでないときボランティアへの説明がなあなあになることがあるので、時間をとれるように。
校外学習時の見守り・引率等は、できるだけ保護者の募集を学校にしているが、年々参加者が減少する一方である。人手不足の時には、コーディネーターが付き添いをしているがそのうち限度も出てくると思う。そうなる前に少しずつでも卒業生保護者を中心にボランティアの参加者を募るよう学校とも調整を図っていきたいところである。
小学校よりボランティアが関わる部分が限られていることが多く、ボランティア希望者とのマッチングがうまくいかない。
少しずつではあるが先生方に地域密着型教育が浸透している。「これを地域の方に」とお願いされるようになった。でも、まだ一部の先生だけであとは他の地域にお願いしている。もっと先生方に知らしめていただきたい。
年度はじめに、校長先生・教頭先生とも打合せをしていますが、もっと先生方に活用していただきたい。
課長のお話の中に、教育長が書かれた「内外教育」について、地域の方々が”ふだん着”で出入りできる学校になればという話に、いつも私が感じていることと同じで感激しました。
活動内容に対して先生方の意識が薄いのでは？
毎回の研修会で、分科会で話し合うだけで解決になっているか疑問。悩みや分科会で話題になっていることを学校に知らせたり、教育指導課でコーディネートしてほしい。
ボランティアの方へのお茶の予算は認めてほしいと思います。自分たちからのおもてなしで、次の活動に誘いやすいことです。

2章 平成26年度推進校報告書

<小学校>

1 八戸	… 11	26 城北	… 63
2 城下	… 13	27 高館	… 65
3 吹上	… 15	28 根岸	… 67
4 長者	… 17	29 日計ヶ丘	… 69
5 函南	… 19	30 是川	… 71
6 中居林	… 21	31 是川東	… 73
7 柏崎	… 23	32 三条	… 75
8 小中野	… 25	33 西園	… 77
9 江陽	… 27	34 明治	… 79
10 湊	… 29	35 桔梗野	… 81
11 青潮	… 31	36 轟木	… 83
12 白銀	… 33	37 多賀	… 85
13 白鷗	… 35	38 多賀台	… 87
14 白銀南	… 37	39 豊崎	… 89
15 町畑	… 39	40 新井田	… 91
16 美保野	… 41	41 松館	… 93
17 鮫	… 43	42 旭ヶ丘	… 95
18 種差	… 45	43 市野沢	… 97
19 大久喜	… 47	44 中野	… 99
20 金浜	… 49	45 鳩田	… 101
21 根城	… 51	46 島守	… 103
22 白山台	… 53		
23 江南	… 55		
24 田面木	… 57		
25 下長	… 61		

<中学校>

1 第一	… 105
2 第二	… 107
3 第三	… 109
4 長者	… 111
5 小中野	… 113
6 江陽	… 115
7 湊	… 117
8 白銀	… 119
9 白銀南	… 121
10 鮫	… 123
11 南浜	… 125
12 根城	… 127
13 白山台	… 129
14 下長	… 131
15 北稜	… 133
16 是川	… 135
17 三条	… 137
18 明治	… 139
19 市川	… 141
20 豊崎	… 143
21 大館	… 145
22 東	… 147
23 中沢	… 149
24 島守	… 151

<小・中学校>

1 田代	… 153
------	-------

平成 26 年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立八戸小学校
校長 橋向 久美子

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回 ①実施日時 6月2日(月) 16:00~17:00
②協議内容 ・委嘱状交付 ・自己紹介
・専門部会の今年度の活動について
・質疑応答 ・その他
- (2) 第2回 ①実施日時 2月13日(金) 16:00~17:00
②協議内容 ・来年度の地域学校連携協議会の会長と委員について
・平成26年度の活動と平成27年度の展望について
・質疑応答 ・その他

2 上記以外の会議の実施状況

(1) 企画推進委員会

- ①実施回数 : 2回
②構成メンバー: P T A 執行部, 各専門部会長, 校長, 教頭, 教務主任
③検討内容 : 5/31 ・各専門部の活動内容について
1/23 ・試合参加人数に満たない部活動の大会参加について

(2) 専門部会

- 5/23 ・各専門部会 案件「今年度の事業」
12/11 ・部活動サポート部会 案件「部活動発表会について」
12/18 ・学習サポート部会 案件「今年度の反省と来年度の展望」について
・環境整備部会案件「今年度の反省と来年度の展望」について
1/20 ・安全サポート部会 案件「今年度の反省と来年度の展望」について

3 具体的な取組状況

(1) 運動会で学年親子競技

「親と子の絆を深め、よい思い出を作って欲しい。」という願いを踏まえ、今年度も偶数学年で親子競技を実施しました。大玉転がしやボール運び・二人三脚など、ほほえましい光景がたくさん見られました。



(2) 七夕祭り参加

十三日町商店会からのお誘いを受け、7月2日(月), 2年生が七夕飾りを作りました。3年生に作り方を教えてもらいながら、保護者の方々にもお手伝いいただき、飾りを完成させました。(今年度も奨励賞を受賞しました。) また、本校児童が短冊に「自分の夢」を書きました。その短冊が八戸七夕祭りに展示されました。

(3) 百人一首クラブ

今年度も昨年度に引き続き佐々木ツタ子さんと南部敬さんを講師に百人一首クラブの活動を行いました。2月1日の八戸市かるた競技小中学生大会に参加して、一年間の活動の成果を試すことができました。



(4) 三八城公民館と連携した注連飾り作り

1月10日（月）5年生が地域の皆さんから注連飾りの作り方を教わりました。お正月の玄関を飾る注連飾りを自分の手で作ることを通して、新年にかける思いや日本の伝統行事について思いを新たにすきっかけになりました。



(5) 地域の文化財学習

1月30日（金）子ども会の小笠原淳子さん、長根町内会長の高橋真理子さんを講師に迎えて、4年生が地域の文化財である長根八幡宮やおがみ神社について教えていただきました。



4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 32人（保護者含む）※実際の活動人数は、約75名
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 6人※地域密着型教育予算による保険加入者数

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・保護者アンケートの結果をみると地域密着型教育の周知が進んでいることがわかりました。
- ・コーディネーターが地域との連絡調整に関わり、積極的に活動することができました。
- ・今年度も、地域の歴史や伝統を学んだり、伝統行事等に参加したりする活動を地域の人たちと出会いながら継続しています。子どもたちは自分たちの地域に誇りを持ち、将来街づくりに貢献する大人になるよう育てたいと思います。
- ・百人一首クラブを継続できたことで、地域の人材を活用したいという機運が高まっています。

(2) 課題

- ・保護者が学校の活動や児童のようすについて情報を欲していることがわかりました。この結果から今後も学校だよりや学校ブログの他にも保護者への発信方法を工夫しながら、地域密着への周知を継続する必要があります。
- ・保護者アンケートの結果から、保護者と地域の関係の希薄さを感じられました。児童の地域学習に保護者の参加も呼びかけて、地域と保護者の関係を深める必要性を感じます。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立城下小学校

校長 小 泉 孝 一

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回 ①実施日時 平成26年 6月13日（金）午後4時から
 ②協議内容
 - ・委嘱状交付
 - ・学校経営方針について
 - ・今年度の計画について
 - ・その他
- (2) 第2回 ①実施日時 平成26年12月16日（火）午後4時から
 ②協議内容
 - ・平成26年度活動報告
 - ・学校評価について
 - ・その他
- (3) 第3回 ①実施日時 平成27年 2月27日（金）午後4時から〔実施予定〕
 ②協議内容（予定）
 - ・今年度の活動について
 - ・学校関係者評価の状況について
 - ・その他

2 上記以外の会議の実施状況

- ・特になし

3 具体的な取組状況

- (1) 図書室整備
 - ・ 図書整備ボランティア9名による本の修復、整頓、学校図書館の装飾等を、5月から1月まで計14回実施した。
- (2) 本の読み聞かせ
 - ・ 読み聞かせボランティア6名による本の読み聞かせを、5月から2月（予定）まで計74回実施した。（学級ごとに実施）
- (3) 卓球部の指導
 - ・ ボランティア2名による卓球部の技術指導を、4月から2月まで実施した。
- (4) 交通安全教室
 - ・ 4月21日（月）に、沼館警察官駐在所、沼館・城下振興会、八戸地区交通安全協会沼館・城下支部、八戸地区交通指導隊沼館・城下支隊、沼館・城下地区防犯協会、城下四丁目町内会、淀町内会おたすけ隊から16名の協力を得て実施した。
- (5) 自転車教室（3学年）
 - ・ 4月24日（木）に、沼館・城下振興会、八戸地区交通安全協会沼館・城下支部、八戸地区交通指導隊沼館・城下支隊、城下四丁目町内会、淀町内会おたすけ隊から11名の協力を得て実施した。

(6)三八城ニコニコ教室（4学年）

- ・6月20日（金）に、三八城公民館との共催で、4学年児童が三八城地区老人クラブとのふれあい交流を実施した。

(7)安全マップづくり（5学年）

- ・10月29日（水）に、沼館・城下振興会、八戸地区交通安全協会沼館・城下支部、沼館・城下地区防犯協会から20名以上の協力を得て、学区内のフィールドワークを実施した。



(8)しめ飾りづくり（5学年）

- ・11月17日（月）に、三八城公民館との共催で、老人クラブ「寿の会」の協力を得て実施した。

(9)子ども・女性110番の家スタンプラリー（3学年）

- ・11月20日（木）に、沼館・城下振興会、八戸地区交通安全協会沼館・城下支部、沼館・城下地区防犯協会から20名以上の協力を得て、学区内の6事業所（はせがわ仕出し店・デーリー東北新聞社・ミニストップ城下三丁目店・えび屋酒店・八戸燃料城下給油所・浪岡設備工業所）を訪問するスタンプラリーを実施した。

(10)俳句教室（5学年）

- ・11月20日（木）に、沼館二丁目第二町内会長の佐々木ツタ子様を講師に迎え、俳句教室を実施した。



(11)校外巡視活動

- ・7月から12月まで毎月1回、PTA校外指導委員会による巡視を実施した。また、沼館・城下地区防犯協会による巡視も定期的に行われている。

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 18人（保護者含む）
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 12人

※地域密着型教育予算による保険加入者数

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・地域学校連携協議会において、委員の方々から学校の教育活動について前向きな御意見を伺うことができ、学校運営に生かすことができた。併せて、子どもや地域に関わる有意義な情報を得ることができた。
- ・地域諸団体の御協力による教育活動への支援により、数々の体験的な学習を行うことができた。このことにより、児童の意欲や主体性が高まり、生き生きと活動する児童が増えてきた。
- ・地域密着型教育コーディネーターのコーディネートにより、図書整備ボランティアによる学校図書館の環境整備及び読み聞かせボランティアの活動が充実したものとなった。

(2) 課題

- ・地域の方々や保護者に向けて、学校で行われている「地域密着型教育」について理解していただくよう、情報の発信に努める必要がある。また、多くの方々に協力していただけるよう、ボランティア登録数を増やしていくための取組を進めていく必要がある。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立吹上小学校
校長 河 原 木 聡

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回
- | | |
|-------|---|
| ①実施日時 | 平成26年6月10日(火) 8:30~9:30 |
| ②協議内容 | ○委嘱状交付
ア 学校経営方針等について
イ 地域密着型教育推進事業の概要について
ウ 学校評価について |
- [資料]・平成25年度の地域密着型教育推進事業の報告書
・平成25年度の学校評価結果と報告書
- (2) 第2回
- | | |
|-------|--|
| ①実施日時 | 【参観日】平成26年12月2日(火)
○ 授業参観
○ 教育講演会(PTAとの共催) |
|-------|--|
- (3) 第3回
- | | |
|-------|--|
| ①実施日時 | 平成27年1月27日(火) 17:30~18:30 |
| ②協議内容 | ア 地域密着型教育推進事業の経過報告
イ 学校支援ボランティアの活動報告
ウ 学校評価(児童・職員・保護者)の結果報告
エ 学校関係者評価について(意見拝聴) |

2 上記以外の会議の実施状況

開催なし

3 具体的な取組状況

(1) 図書室整備支援

<日常的な活動・図書室の環境整備>

期 日 毎週1回(水曜日) 10:00~12:00

回 数 週1回

参加人数 常時3名~5名(図書ボランティア)

内 容 図書室の環境整備作業(修理・整備・登録・装飾・廃棄)の実施

※本年度は特に図書室・本棚のペンキ塗りを実施(7月19日・20日)

(2) 環境整備支援

<校庭草取り・運動会入場門設置作業・廊下汚れ取り・窓ふき>

期 日 平成26年5月18日(日) 平成26年11月8日(土)

回 数 2回

参加人数 保護者・おやじの会・児童・教職員 春…250名 秋…110名

内 容 (春)・運動会に向けた校庭草取り作業・入場門設置作業

(秋)・ポリッシャーによる廊下清掃・ワックスがけ・窓ふき作業等

<学校花壇の整備>

期 日 5月から11月

回 数 適時

参加人数 35名 保護者・教職員

内 容 PTA環境厚生委員会による苗植えや草取り、花壇じまい等を実施

(3) 学習活動支援

<ふれあいタイム>

期 日 5月~12月

回 数 火曜日に実施・年間16回

参加人数 16人程度(地域の祖父母)

内 容 ①おじいちゃん、おばあちゃんランド…昔の遊びを通しての児童との交流

②読み聞かせランド…ボランティアによる読み聞かせの活動を実施

<家庭科室の整備・清掃>

期 日 11月8日(土)
回 数 1回
参加人数 20人程度(三世代会:ボランティア)
内 容 ①調理器具の消毒や汚れ取り
②戸棚の清掃・整頓

<総合的な学習の時間 5年>

期 日 7月
回 数 2回
参加人数 88名程度 5年児童・教員
内 容 ①鍛冶町山車組の山車小屋を訪問し、三社大祭の歴史や山車づくりを見学
②吹上山車組のお囃子の方を招いてのお囃子体験

<生活科の学習 2年>

期 日 9月9日(火)
回 数 1回
参加人数 75名程度 2年児童・教員
内 容 学区内のお店(パークホテル、吹上公民館、献血センター、せんべい店、鮮魚店、郵便局、精肉店等)の協力を得て、各お店を訪問して仕事の内容をインタビューするとともに、学区の様子について学習

(4) 生活安全活動支援

<通学路の見守り>

期 日 4月~3月
回 数 不定期(都合がつく時間帯)
参加人数 180名 保護者・地域ボランティア・教員
内 容 学区住民有志及び吹上地区防犯協会による登下校時の巡回指導の実施

<巡回指導>

期 日 6月30日
回 数 1回
参加人数 4名程 保護者・職員
内 容 PTA安全管理委員会による神明宮特別巡回指導の実施

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 39人(保護者含む)
(2) 今年度ボランティア保険加入者数 30人

※ 学校支援地域本部事業の予算による加入者数 30人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・地域の教育力(ボランティア等の人材)を活用した学習活動への支援を行ったことにより、体験的学習が充実し、児童の学習に対する意欲や主体性が高まり、生き生きと活動するようすが多く見られた。
- ・地域学校連携協議会委員の方々から、学校の教育活動に対する建設的な意見や要望を直接うかがうことができ、学校運営の改善に生かすことができた。
- ・「学校教育支援ボランティア」の適切なコーディネートにより、児童の学習活動やPTA活動への支援を充実させることができた。今年度は特に、図書室や校内外の環境整備、ならびに授業の充実という面での成果が大きかった。

(2) 課題

- ・職員、保護者、地域の地域密着型教育に対する理解を深めるために、今後さらに学校だよりやブログ等を活用しての情報発信に努めていく必要がある。
- ・これまで積み重ねてきた成果を各学年で共有しながら、学習や活動をさらに充実させるとともに、教育活動への具体的な支援を呼びかけながら、地域や保護者との連携強化を図っていく必要がある。

平成 26 年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立長者小学校
校長 福田 文弘

1 地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第 1 回

①実施日時 平成 26 年 6 月 13 日 ※委嘱状交付式

②協議内容

- ◆今年度の学校経営方針（校長）、学校教育目標具現化全体構想の具体的な取組（教務）について説明し、ご意見をいただいた。
- ◆今年度の事業計画…学習支援部、行事支援部、安全指導部、環境整備部の重点事項について提案（教頭）し、ご意見をいただいた。
- ◆登下校時、地域での子どもたちの様子について情報交換した。

(2) 第 2 回

①実施日時 平成 26 年 10 月 17 日

②協議内容

- ◆学校経営の経過報告（校長）をした。
- ◆学習支援部、行事支援部、安全指導部、環境整備部のこれまでの取組状況と、今後の予定を報告していただいた。
- ◆本校の愛好会委員会についてのあり方、携帯電話の使用についての情報交換を行った。

(3) 第 3 回

①実施日時 平成 27 年 1 月 26 日

②協議内容

- ◆今年度の学校教育活動の振り返りと新年度の学校経営方針について（校長）
- ◆学校教育目標具現化全体構想の具体的取組の評価結果について（教務主任）
- ◆今後の課題解決・改善に向けた取組について（教頭）その後委員からご意見をいただいた。

2 上記以外の会議の実施状況

(1) 企画推進部会

①実施回数 1 回

②構成メンバーの概要 ◆事務局、コーディネーター、各専門部長

③検討内容 ◆学習支援部、行事支援部、安全指導部、環境整備部の取組について

(2) 専門部会

<学習支援部会>

①実施回数 4 回

②構成メンバーの概要 ◆事務局、コーディネーター、学習支援部(教務主任)

③検討内容 ◆学習支援活動について ◆図書支援活動について

<行事支援部会>

①実施回数 3 回

②構成メンバーの概要 ◆行事支援部長、教務主任、長者幼稚園主任保育士、たいなか保育園主任保育士、福聚保育園主任保育士、はくさん保育園主任保育士、サンフラワー保育園主任保育士

③検討内容 ◆校内相撲大会について ◆幼保小合同学習会及び懇談会について

<安全指導部会>

①実施回数 4 回

②構成メンバーの概要 ◆事務局、コーディネーター、安全指導部長、地域諸団体

③検討内容 ◆登校時・下校時の安全指導について ◆安全パトロール活動について ◆生徒指導情報交換会について

<環境整備部会>

①実施回数 3 回

②構成メンバーの概要 ◆事務局、コーディネーター、環境整備部長

③検討内容 ◆学校環境整備について

3 具体的な取組状況

(1) 学習支援部

◆学級園

5月には、学級園とフラワーロードの土起こしをしていただいた。

◆長者の歴史を聞く会

10月には、4年の総合的な学習の時間(地域の寺社巡り)で、寺社の由来や歴史等を解説していただき学習を深めることができた。

◆南部の昔っこ

11月には、3年総合的な学習の時間で南部の語り部による昔話を聞かせていただいた。

◆ミシンの学習補助

10月と11月には、5・6年家庭科の「ミシン掛け」補助を行っていただいた。

◆図書支援

現在、20名の方々が図書ボランティアに登録している。毎月2～3回(火曜日を中心に)図書室の本の整理・修繕・装飾などの環境整備に努めている。また、「おはなし会」(読み聞かせ)も自主的に行っていただいた。

(2) 行事支援部

◆校内相撲大会

6月の校内相撲大会開催時には、児童の廻し締めの手伝いをしていただいた。

◆幼保小合同学習会

11月には、長者幼稚園・はくさん保育園・サンフラワー保育園・たいなか保育園・福聚保育園の年長(平成27年度1年生になる園児全員)が来校し、園児と2年生と一緒に合同の学習会を実施した。また、給食時には全学級に園児が分かれて、全校児童と一緒に給食を食べる。その際の配膳には、6名の方に補助をいただいた。

(3) 安全指導部

◆安全指導

年間を通し児童の登校時には、交通量の多い交差点に立っていただき、安全を見守っていただいている。

◆パトロール活動

児童の下校の際や近隣神社の祭礼時には、学区内をパトロールしていただき、児童の安全を見守っていただいている。

(4) 環境整備部

◆早朝奉仕作業

早朝奉仕で花壇に苗植えをする際、適切なアドバイスをいただいている。

◆花壇整備(フラワーロード土起こし・草取り)・樹木剪定

7月と10月には、校庭・花壇の樹木剪定と草取りをしていただいた。

4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数

39 人(保護者含む)

(2) 今年度ボランティア保険加入者数

30 人

※地域密着型教育予算による保険加入者

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

◆地域学校連携協議会では、協議会委員の方々に学校の教育方針や取組状況を知っていただき、ご意見やご指導をいただいた。開かれた学校づくりの推進に努めるとともに、地域の情報も入れながら課題解決に結び付けることができた。

◆図書支援ボランティアのお力添えをいただき、児童の読書意欲の向上を図ることができた。また、環境整備では、草取り・花壇の手入れ、樹木剪定をしていただいた。さらには、学習支援として5年ミシン掛け、3年総合的な学習の時間でお手伝いをいただいた。特に、今年度は、ミシンの整備、調整を行っていただき、授業がスムーズに展開できた。

(2) 課題

◆今後、長者地区各小・中学校が連携して、地域諸団体とかかわっていく必要もあるのではないかと。今後ネットワークづくりを重視した地域密着型教育も考えていく必要がある。

◆保護者や地域の方々に対して、学校の取組をより理解していただくことができるように、発信する情報の内容を工夫するなど、更に質を高めていきたい。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立函南小学校
校長 小 関 恵 子

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回 ①平成26年5月11日(日) 10:00～
②協議内容
ア 会則について
イ 今年度の組織(案)・事業日程計画の説明
ウ 平成26年度学校経営方針・学校目標について
- (2) 第2回 ①平成26年8月29日(金) 15:00～
②協議内容
ア 学校目標に係る1学期のアンケート調査結果の分析と2学期に向けた対応について
イ 授業参観しての意見・情報交換
- (3) 第3回 ①平成26年11月27日(木) 13:00～
②協議内容
ア 今年度の学校経営・運営及び活動について
イ 2学期までの学校目標に係るアンケート集計結果及び資料説明と考察
ウ 質疑応答及び情報交換
エ 学校目標に係る意見書(学校評価)の依頼
- (4) 第4回 ①平成27年2月26日(木) 15:00～
②協議内容
ア 今年度の学校評価報告(課題改善点について)
イ 次年度の学校経営・運営及び事業
ウ 27年度地域学校連携協議会事業案について

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) 理事による授業参観
①実施回数3回(7月と2月の参観授業に参加と意見交換、11月は参観授業として学校保健委員会に参加)
②地域学校連携協議会理事
③授業参観と意見交換
- (2) ボランティアとの意見交換会
①実施回数1回(12月)
②地域ボランティア(クラブ活動ボランティア)
③今年度のクラブボランティア活動についての意見交換

3 具体的な取組状況

(1) 常時的なボランティア活動

- ①部活動の指導(12名): 4月から実施
・野球部、サッカー部、バスケット部、吹奏楽部の練習及び試合の指導等を行った。
- ②朝自習の見守り(4名): 4月10日から実施
・職員朝会のある月曜日と木曜日に、朝自習の活動を見守っている。1年生への読み聞かせも実施した。今年度も特別な支援を要する児童や不登校傾向を示す児童に対しても適切に対応していた。
- ③図書ボランティア(4名)
・毎週月曜日の午後に図書の整理・補修、古くなった本の廃棄処理、季節に合わせた図書室の環境整備等を実施した。
- ④読み聞かせボランティア(6名)
・月1～2回、木曜日の昼休み全学年に入り、本の読み聞かせを行った。学年に応じた絵本や歌・南部弁の語りなどで児童の興味・



関心を引きつけながら実施した。

⑤クラブ活動の指導（6名）：4月から12月まで実施

- ・ヒップホップダンス、料理、昔の遊び、の3つのクラブ活動での指導・支援を実施した。バザーでは、ヒップホップダンスクラブによるステージ発表も実施した。



(2) 単発的なボランティア活動

①環境整備活動（資源物回収）第1回：7月12日（土）、第2回：

11月1日（土）実施

- ・アルミ缶、新聞紙等の資源ごみを各町内から回収し、学校の玄関前に集め、市のリサイクルパートナー事業指定の業者に引き渡した。2回の活動で延べ40名ほどのボランティアが参加した。

②学習支援（6学年親子キャンプ）7月26日（土）～7月27日（日）実施

- ・6学年主催の親子キャンプに延べ40名ほどのボランティア（お父さん委員会・PTAOB）が参加し、三戸のチェリリン村でのキャンプで支援を行った。テント張り、キャンプファイヤー、名久井岳登山などのサポートを行った。

③学校行事支援（秋を楽しむ会）11月5日（水）実施

- ・火おこしやイモ焼きの手伝いに10人程のボランティア（保護者、地域の方、PTAOBの方）が参加して下さった。



④PTA行事支援（バザー）9月28日（日）実施

- ・PTA主催のバザーに、PTAOB10名程がボランティアとして参加し、当日までの食材の準備や当日の野菜コーナーや輪投げコーナー、餅コーナーなどを支援していただいた。



4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数

65人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数

43人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・保護者や地域の方々の協力・支援が活発に行われたことで、教育活動や環境整備、地域交流等、連携が進められており、事業内容も充実してきている。
- ・理事の方々には、授業参観や学校行事へ積極的に参加をしていただくことができた。理事会では学校に対する思いや意見が多く寄せられており、子どもを育てる学校づくりの意識が高まってきている。また、学校評価に関わる意見をいただくことで来年度の教育課程及び教育活動の改善に役立てることができた。
- ・ボランティアの登録と必要なボランティアの募集等を3人のコーディネーターの配置によりスムーズに行うことができた。募集も手際よく行われたため、クラブ活動の充実につながった。
- ・今年度は、図書読み聞かせボランティアの人数を増やし、全学年に実施することができた。子どもたちの心を育てる情操教育の充実につなげることができた。
- ・地域密着型教育の様子は、学校ブログで紹介しているだけでなく、「地域密着通信」「ボランティア通信」を地域に発信し、ボランティアの活用の様子、ボランティアがどのように教育活動に関わっているのかを紹介することができた。

(2) 課題

- ・3学期からコーディネーターが1名減り、2名体制になったため、仕事の負担が急増しないよう配慮している。
- ・これからも地域密着型教育の狙いが理解されるよう保護者や地域に発信し、よりよい学校運営をするためにも地域の願いをなるべく受け入れながら参画と協力をお願いしていきたい。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立中居林小学校
校長 畑川 慶行

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回 ①実施日時 平成26年6月2日(月) 18:00
②協議内容
- ・ 会則及びねらいについて
 - ・ 学校関係者評価のお願い
 - ・ 平成26年度学校経営方針について
 - ・ 今年度の取り組みについて ※通学路の改正, 中小リトルグリーンの活動
- (2) 第2回 ①実施日時 平成26年10月30日(木) 18:00
②協議内容
- ・ 学校評価アンケートの結果と課題(1学期)
 - ・ 生徒指導上の課題と特別支援教育の観点から
 - ・ 通学路改正に向けての取組状況説明
- (3) 第3回 ①実施状況 平成27年2月5日(木) 18:30
②協議内容
- ・ 平成26年度の教育活動を振り返って
 - ・ いじめ防止基本方針について
 - ・ 学校評価アンケート結果について(1学期と2学期の比較)
 - ・ 課題と次年度に向けての改善案

2 具体的な取組状況 ※人数はのべ人数

- (1) 図書支援 1学期: 13回 2学期: 6回 3学期: 3回
〈参加人数〉54名
〈内 容〉本の修理, 本の紹介コーナー作成, 図書室装飾
- (2) 環境整備 年間: 5回
〈参加人数〉67名
〈内 容〉教材園整備, プール小屋のペンキ塗り, 花壇の苗の植え付け, 校内清掃
- (3) 学習支援 1学期: 13回 2学期: 16回 3学期: 12回
〈参加人数〉277名
〈内 容〉放課後学習補助, コース別学習丸付け補助, 校外学習引率補助, 総合学習補助
生活科補助, 特別支援補助
- (4) 読書活動支援 年間: 9回
〈参加人数〉18名
〈内 容〉授業時間中の読み聞かせ, 昼休み時間の読み聞かせ

3 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 65 人(保護者含む)
(2) 今年度ボランティア保険加入者数 65 人

4 地域密着型教育の成果と課題

I 地域学校連携協議会について

(1) 成 果

- ① 「通学路の改正」が今年度の大きな課題であった。本校の通学路は、現在の交通事情に合わせておらず、見直しの必要を求める声が以前から上がっていた。新しい道路の開通や住宅地拡大をふまえ学校で立てた案について協議したことは、実情に応じた通学路設定のために効果的であった。
- ② 昨年度大雪が降った際に、通学路の雪かきが課題となった。第2回の会議の時に、保護者に協力を呼びかけることになり、PTA会長より「愛のひとかき運動」のお知らせとお願いの手紙が出された。PTAと地域学校連携協議会との連携を今後も進めていきたい。
- ③ 3回目の会議の時に、写真を中心としたスライド投影による説明を取り入れた。写真をもとに説明することにより、本校の教育活動の取組を理解した上で評価に生かしていただくことができ、有効であった。

(2) 課題

- ① 休日の公園における子どもの行動（特に特別な支援を要する子ども）の見守りが課題である。今後は、発達障害への理解を含め、学校・家庭・地域が連携して子どもたちを見守る体制を整えていくことが課題である。
- ② 毎年、「子ども会」の担当の方から、子どもたちの参加についての協力を求められている。休日は、部活動の試合等の関係もあり、子どもたちの参加が難しい状況にある。キャリア教育の視点からも、年度当初に地域行事の年間計画を示すなどして、児童が地域の活動に進んで参加できるように働きかけていきたいと考える。

II 学校支援ボランティアについて

(1) 成 果

- ① 2名の学校支援コーディネーターが交代で毎日のように来校し、ボランティア活動の窓口及び推進役としてリーダーシップを発揮してくれるおかげで、さまざまな場面で支援を得ることができ、子どもたちの充実した教育活動のために大変有効であった。
- ② 今年度は「地域密着型教育実践研究発表校」として発表する機会をいただいた。その資料づくりの過程で、学校支援コーディネーターと何度も打ち合わせる機会を設けたことが活動の改善を図ることにもつながり、大変有意義であった。作成したスライドを手直しして、全校朝会で子どもたちにボランティア活動の紹介ができたことも、子どもたちの「ボランティア」に対する意識を高め、感謝の気持ちをもたせるために効果的だった。

(2) 課 題

- ① 現在の学校支援コーディネーターは、1名が中学校のPTA役員、もう1名は4月から6年生になる子どもの母親である。今後のことを考えると、後継者を育てていく必要があるが、現在はその確保が課題となっている。PTAと協力しながら声をかけてきたい。
- ② 発達障害のある児童の支援にボランティアの力を借りる場面が多くなっている。今後は個人情報管理に配慮しつつ、「特別支援教育」や「発達障害」に関する研修の機会を設けるなどして、適切な支援がなされるよう配慮していくことが課題である。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立柏崎小学校
校長 高野 康 一

1 地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第1回（第三中学校と合同開催）

- ①実施日時 平成26年5月21日（水）17：30～
- ②協議内容
 - ・今年度の学校目標並びに重点施策について
 - ・今年度の地域密着型教育における取組計画について
 - ・各専門部会の今年度の取組について

(2) 第2回

- ①実施日時 平成26年12月10日（水）17：30～
- ②協議内容
 - ・学校目標にかかる学校評価について
 - ・地域・家庭・学校の連携について

(3) 第3回（第三中学校と合同開催）

- ①実施日時 平成27年2月4日（水）17：30～
- ②協議内容
 - ・今年度の取組について
 - ・次年度の学校運営・行事について

2 上記以外の会議の実施状況

特に開催していない。

3 具体的な取組状況

(1) 教育活動部会

- ①ボランティアによる夏休み学習会（7/23～7/25）
 - 午前・午後の部に分けて実施 柏崎小学校図書室利用
 - 楽しい音読や読み聞かせ、絵手紙体験教室、大正琴体験、高校生による学習
 - ・ボランティア人数 八戸東高校生…のべ22人 地域の方々・保護者…のべ20人
 - ・参加児童数…のべ239人
- ②読み聞かせ「かしわお話のたまご」
 - ・毎月2回の朝の読み聞かせ活動実施（上学年・下学年対象）
 - ・図書通信の発行
 - ・入学おめでとう読み聞かせ会（5/20）1年生対象 読み聞かせボランティア…8人
- ③授業支援
 - 1学年
 - ・動物ふれあい体験学習手伝い（10/30）
 - ・生活科「ふれあい交流豆まき会」（2/9） 地域の老人クラブの方々
 - 2学年
 - ・生活科「おまつりひろば」幼保小交流活動（9/30）
 - ・生活科「秋たんけん」（11/11） 地域の公共施設見学
 - ・生活科（烏帽子づくり）（1/19～23）地域の方
 - 3学年
 - ・総合的な学習の時間「学区探検」（7/1・10/28）2回
 - 1～3年・スケート教室ひも結び
 - 4学年
 - ・自転車教室（4/23）こどもの国にて
 - ・総合的な学習の時間「福祉体験」（6/18）
 - 5学年
 - ・総合的な学習の時間「安全安心マップ作り」（11/7）
- ④クラブ活動ゲストティーチャー 茶道クラブ
- ⑤部活動・愛好会指導および見守り 地域の方々・保護者
- ⑥教材園の土おこし（5/10）

(2) 環境整備部会

- ① 図書室整備（毎月2回） 本のコーティング、本の修理・背ラベルの付け直し
- ② 草取り奉仕作業（5/10） 保護者・地域の方々・教職員・児童…478人
草取り奉仕作業（9/17） 老人クラブ
- ③ 校庭の側溝の掃除（7/27） 保護者・教職員 15人
- ④ 窓ふき・床みがき（10/18） 保護者・施設開放利用者・児童・教員…240人

(3) 安全安心部会

- ① 集団下校指導1回目（4/28） 地域関係機関・町内会役員・保護者…43人
集団下校指導2回目（12/18） 地域関係機関・町内会役員・保護者…44人
- ② 夏休みプール監視（7/23～8/19）
- ③ 交通少年団活動（9/23） 交通安全マスコット配付
- ④ 柏崎地区安全安心パトロール（青色回転灯車）
- ⑤ PTA 防犯ボランティア
- ⑥ 防犯協会パトロール
- ⑦ 類家防犯協会パトロール
- ⑧ 柏崎地区交通指導隊

(4) 交流連携部会

〔連携行事〕

- ① 校外子ども会1回目（7/16） 町内会役員等…29人
校外子ども会2回目（12/18） 町内会役員等…24人
- ② 柏崎地区区民運動会（9/4） 本校校庭にて 全校児童参加
・学年で行う種目、町内対抗の種目、全員による柏崎音頭 等あり
- ③ どんど焼祭（1/11） 本校校庭にて
- ④ PTA主催第35回合同演奏会（1/17）
・吹奏楽部・合唱部・バトン部・6年生合唱のステージ演奏、運動部映像発表
・多数の保護者・父親の会、全教職員の協力

〔学校間連携〕

- ① 第三中学校…小・中ジョイントスクール研究会、グッジョブ、一日入学（6年生）
- ② 幼稚園・保育園…情報交換会、園児・児童交流会「おまつりひろば」、園児授業参観
- ③ 八戸盲・聾学校…授業交流（社会科見学、鑑賞教室、スケート教室等）
本校校内マラソン大会への参加
盲・聾学校の校舎や寄宿舎の見学や手話体験

(5) ボランティアの集い 2/13

- ① 各ボランティアによる情報交換 地域の方々・保護者参加
- ② 給食試食会

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 220人（保護者含む）
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 18人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- 「奉仕作業」に参加する保護者・地域の方々・教職員・児童が増え、「みんなの学校」という意識が高まってきている。
- 集団下校、校外子ども会に参加する地域の方々が増え、児童と顔見知りになり、児童と地域の方々がつながってきている。

(2) 課題

- より一層、地域密着型教育を充実させるためには、教職員はもとより、保護者や子どもたちが地域の様々な活動に参加・協力することが大切であると考えます。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立小中野小学校

校長 井上 貫之

1 地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第1回

①実施日時 平成26年 6月 5日 (木) 19時00分

- ②協議内容
- ・会則について
 - ・会長及び副会長の選任
 - ・学校経営方針説明
 - ・今年度の事業計画説明

(2) 第2回

①実施日時 平成26年12月18日 (木) 14時00分

- ②協議内容
- ・今年度の活動状況報告
 - ・教育活動状況について
 - ・成果と課題について

(3) 第3回 (予定)

①実施日時 平成27年 2月26日 (木) 18時00分

- ②協議内容
- ・各プロジェクト活動状況及びボランティア活動状況報告
 - ・各校の教育活動状況について

2 上記以外の会議の実施状況

開催なし

3 具体的な取組状況

(1) 学習支援事業

①生活科町探検支援、八戸市内自主見学（総合的な学習に時間）支援

グループごとに1～2名の保護者がつき、安全確認と見守り

②家庭科調理実習支援

調理実習時における助言と補助

③読書活動支援

朝の読み聞かせ（全学年各学期1回）、おはなし会（第1・3木曜日の昼休み）

④部活動支援

野球、ミニバスケットボール、バレーボール、卓球における技術指導及び練習見守り（通年）

⑤小中野小学校書道展支援
作品掲示準備

(2) 地域連携事業

- ①小学校・地区合同運動会（5月24日）
- ②民生児童委員との懇談会（7月14日、3月9日（予定））

(3) 環境整備事業

- ①校地内の草取り（親子奉仕作業）
- ②花壇づくり

(4) 安心・安全事業

- ①交通安全マスコット配布（9月17日）
- ②長期休業中の校外巡視（夏：7回、冬：2回）
- ③プール見守り支援（夏休み）
- ④登校時交通安全指導（全学年保護者分担 6回）
- ⑤登下校時見守り

地域諸団体有志による登下校時の交通安全指導及び見守り（長期休業を除く平日）

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティアの登録現在数 . . . 184名
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 . . . 16名

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

昨年度までの学校支援地域本部事業での取り組みを最大限に生かし、組織や活動について、コーディネーターやボランティア、地域の方々などと、コミュニケーションを図りながら取り組んだ。それぞれの立場や持ち場で意見や感想を出し合い、改善を加えながら取り組めたことは来年度へつながるので、今年度の成果といえる。

(2) 課題

小中野地区は、以前から地域と密着して教育活動に取り組んできている。人材も豊富で、協力的な方も多い。今後は、学校から地域への発信を今以上に心がけ、さらに地域の人材を発掘したり活用したりしていきたい。

また、教職員一人一人が、コーディネーターやボランティア、地域の方々と積極的に関わったり、小・中の連携をさらに意識したりして、地域を巻き込んだ教育活動が活性化するようにしていきたい。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立江陽小学校
校長 佐々木 正仁

1 地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第1回

- ① 実施日時 平成26年5月23日(金) 16:10~16:50
- ② 協議内容
 - ・委嘱状交付 ・会長、副会長の指名 ・会則審議 ・昨年度の協議会活動報告
 - ・昨年度の学校経営・学校運営報告(両校長)
 - ・今年度の学校経営・学校運営方針の説明(両校長)
 - ・今年度の協議会活動計画 ・質疑応答

(2) 第2回

- ① 実施日時 平成26年5月30日(金) 16:30~18:15
- ② 協議内容
 - ・専門部会の報告 ・主催事業の検討

(3) 第3回

- ① 実施日時 平成26年11月27日(木) 18:00~20:00
- ② 協議内容
 - ・今年度の学校経営・運営及び活動について(両校長)
 - ・質疑応答 ・情報交換 ・学校評価の依頼

(4) 第4回

- ① 実施日時 平成27年2月24日(火) (予定) 18:00~20:00
- ② 協議内容
 - ・今年度の学校経営・運営及び事業報告(両校長)
 - ・来年度の学校経営・運営及び事業(両校長)
 - ・来年度の地域学校連携協議会会議の日程

2 上記以外の会議の実施状況

(1) 地域づくり会議専門部会 実施回数 1回 (平成26年5月23日)

- ① 構成メンバーの概要
 - ・江陽町内連合会長 ・各専門部長 ・両校の職員
 - ・江陽地域各種団体長・両校のPTA役員
- ② 協議内容
 - ・地域密着型教育の趣旨説明
 - ・専門部会ごとの今年度の事業計画で提案された事業や教育活動について、地域や学校の課題、要望、教育活動の提案がなされた。



3 具体的な取組状況

(1) 地域ボランティアの活用

- ① 交通安全見守り隊の方々による朝・夕の立哨と巡回
16名
- ② 地域ボランティア「心の旅人塾」の方々による中庭の松の剪定(5月11日)と運動会(5月18日)での用具係の協力、中庭の池の睡蓮の整理(8月19日)
約8名



③プール管理人さんによる学年畑への作物づくり及び収穫までの支援（５月～１１月） 【１０回以上】

（ジャガイモ・とうもろこし・サツマイモ・大根等）
・生活科や理科の授業での児童への指導や畑の世話の仕方について職員に教えてくれている。

④婦人会のみなさんから運動会で行われる江陽音頭の指導を受けている。（５月１８日） 【指導２回】

・始めてから５年目を迎えた。 婦人会８名

⑤図書ボランティアによる活動【１５回】

・読み聞かせ １～６年 （６月～２月） 延べ約４５名

・図書の分別・修理・図書掲示作業（４月～２月）
延べ約６６名

(２) 地域行事への参加の働きかけ

<地域行事>

①江陽地区スポーツ交流大会への参加 （９月 ７日）

②子ども会主催クリスマス会への参加 （１２月１４日）

③子ども会主催どんと焼きへの参加 （１月１１日）



<ボランティア活動>

①親子で山公園の清掃・草刈り活動（江陽緑地公園）（７月２０日）

・教員・児童・保護者及び中学生が参加

②交通安全マスコットとメッセージ入り手紙配布活動（９月２６日）

<地域への発信>

①小中学校合同地域あいさつ運動 ※登校時

（１０月２９日～１０月３１日）

②招待給食による地域の皆様との交流会（１１月２１日）

・日頃からお世話になっている方々に感謝の気持ちを伝えるため各学級で感謝のセレモニーと楽しい会食をしながら、交流を深めることができた。 ２３名招待



4 ボランティアの状況

(１) ボランティア登録現在数 現在登録 ２１名 (保護者含む)

(２) 今年度ボランティア保険加入者数 ０名

5 地域密着型教育の成果と課題

(１) 成果

①「江陽地域づくり」の安心安全部会で小・中の教職員、PTA、地域が話し合い、子供たちの通学路点検を行った。そして、点検から見つかった問題点を小学校・中学校・地域が協力して市に要請したことで、児童のために不要なガードレールを撤去し、外側線を引いてもらい、児童・生徒・地域の人々の安全に貢献できた。

②定期的な活動、時期が来るとやってくれる活動、学校や学年の依頼に応じて行う活動など、ボランティアさんは学校の様子を理解ながら活動してくれている。お互いにとって、無理なく・義務感なく・有意義な活動となっている。ボランティアさん達にとっても生きがいや喜びになり、子どもたちと地域の方の距離感が縮まってきている。

(２) 課題

①コーディネーターさんが中学校にいるため、ボランティアを学校や学年が中心になって直接依頼することが多い。小中学校に交互に出勤する体制ができると、話しあう機会が増え、ボランティアの活用が活発になるのではないかな。

②部活動のボランティアさんを集めることが難しい。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立湊小学校
校長 田中 昭子

1 地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第1回地域学校連携協議会（小中合同）

①実施日時 平成26年5月26日（月）18:00～

②協議内容

- 委嘱状の交付、出席者の自己紹介
- 会長・副会長の指名
- 議事
 - ・今年度の目標
 - ・地域密着型教育における取組計画
 - ・今年度の取組についての意見・要望

(2) 第2回地域学校連携協議会（小学校単独）

①実施日時 平成26年12月10日（水）18:00～

②協議内容

- 2学期の様子について（説明、質疑応答）
 - ・現時点までの取組について
 - ・学力の状況について
 - ・学校評価アンケートの結果について

○評価及び意見

(3) 第3回地域学校連携協議会（小中合同）

①実施日時 平成27年1月28日（水）18:00～

②協議内容

- ・今年度の取組について
- ・学校評価結果の報告
- ・次年度の教育計画について
- ・地域からの情報等

2 具体的な取組状況

(1) 図書室整備

- ・回数13 ・参加人数5名
- ・1学期から2学期の間で、PTAの図書委員会と図書ボランティアを中心に図書室の環境整備を行った。特に、本の整理や本棚の修繕、図書室の飾り等を行い、子どもたちが使いやすい図書室の環境を作った。

(2) 読み聞かせ活動

- ・1学期と2学期に各1回ずつ低学年、中学年、高学年ごとに本の読み聞かせをした。

(3) 学習支援

- ・回数5 ・参加人数5名
- ・夏休み中に5回、ボランティアによる学習会を行った。夏休みの宿題を中心に指導し、長期休業中の学習習慣の確立を図った。

(4) 郷土芸能指導

- ・回数 17 ・参加人数 4名
- ・湊に伝わる郷土芸能である「湊沖あげ音頭」と「浜っ子勇み太鼓」を5年生と6年生が学習発表会で発表することになり、その指導のために地元「湊沖揚男組」の方々に来ていただいた。

(5) クラブ活動支援

- ・回数 12 ・参加人数 2名
- ・書道クラブと囲碁・将棋クラブに1名ずつボランティアをお願いし、担当者と一緒に子どもたちを指導してもらっている。

(6) 校地内外の環境整備

- ・回数 30 ・参加人数 1名
- ・校地内の壊れたところ（ドアや窓ガラス等）の他に行事に使う道具の修繕、校地外の草刈り等様々な場面で、環境整備に協力してもらっている。

(7) 部活動指導・補助

- ・回数 120 ・参加人数 4名
- ・野球部とサッカー一部については、担当職員が指導する補助をしてもらったり、対外試合の引率の手伝いをしてもらったりしている。バスケット部については、外部指導者として実質的な指導をお願いしている。

3 ボランティアの状況

- | | |
|---------------------|------------|
| (1) ボランティア登録現在数 | 15人（保護者含む） |
| (2) 今年度ボランティア保険加入者数 | 12人 |

4 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・これまで行ってきた地域と結びついた活動を、「地域と学校の連携」という視点で整理するきっかけとなった。
- ・学校での活動を地域に発信する場が確保できるだけでなく、地域からの情報も収集でき、学校と地域の役割が明確になった。
- ・保護者や地域の方の協力を得ながら、体験的な活動に数多く取り組ませたことにより、児童の地域や郷土を大切にする心を育成することができた。
- ・地域学校連携協議会では、学校の教育活動について数多くの建設的な意見をいただき、学校運営の改善に生かすことができた。

(2) 課題

- ・より充実した活動ができるように、活動内容や教育課程への位置づけについて検討するとともに、既存の組織の整理統合やコーディネーターの役割の明確化を図る必要がある。
- ・中学校と共通理解を図る時間が十分にとれなかったため、連携を密にして、同一歩調で進めていくことが必要である。
- ・「地域密着型教育」の趣旨を保護者や地域の方々にさらに周知し、ボランティアの登録者を募るとともに、より参画意識が高まるよう、活動内容を工夫していく必要がある。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立青潮小学校

校長 大久保伸夫

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回
- ①実施日時 平成26年6月17日（火）午後6時30分から
 - ②協議内容 ア 委嘱状交付
 - イ 議事 ・会則及び協議会組織について
 - ・会長・副会長指名，挨拶
 - ・学校経営方針，今年度の教育活動計画等説明
 - ・学校評価計画説明，審議
 - ・地域学校連携協議会組織・年間計画審議
- (2) 第2回
- ①実施日時 平成26年11月5日（水）午後6時30分から
 - ②協議内容 ア 今年度の教育活動の実施状況説明
 - イ 非常災害時の対応検討
 - ウ 1学期末学校関係者アンケート結果説明
 - エ 教育支援ボランティア活動の実施状況説明
- (3) 第3回
- ①実施日時 平成27年1月27日（火）午後6時30分から
 - ②協議内容 ア 今年度の教育活動の実施状況説明
 - イ 学校評価結果説明及び学校関係者評価
 - ウ 平成27年度学校運営基本方針及び年間行事予定説明
 - エ 教育支援ボランティア活動の実施状況説明

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) 企画推進部会
- ①実施回数 1回
 - ②構成メンバーの概要 校長 教頭 コーディネーター
 - ③検討内容 ア 地域密着型教育の方針及び活動内容について
 - イ 学校支援ボランティア活動計画について
 - ウ 学校図書館支援ボランティア活動の進め方について

3 具体的な取組状況

(1) 教育環境整備

- ア 図書整備 6月6日 9月4日 9月16日 10月31日 11月27日 1月27日
図書室掲示整備活動・来客用玄関掲示整備活動及び図書データ登録等
(のべ30名)
- イ プール清掃 6月1日（14名） プール清掃作業
- ウ 除草・側溝泥あげ 5月17日（350名 内児童180名） 除草作業等
- エ 校舎1F窓ふき 10月8日（10名） 窓ふき等
- オ プール後始末 9月26日（15名） プールフロア片づけ作業

(2) 教育活動支援

- ア 1年給食配膳支援 4月11日 14日 15日 16日 (のべ36名) 1年給食指導支援
イ 青潮音頭指導 5月 7日 (5名) 青潮音頭踊り方の指導
ウ 町探検活動支援 9月11日 (17名) 2年生活科「町探検」学習支援
エ 絵本読み聞かせ 5月28日 6月18日 7月9日 8月28日 9月25日 10月23日
11月20日 (のべ20名)
オ 集団下校指導支援 7月15日 (40名) 集団下校指導支援
カ 学区巡視活動 毎月2回程度、木曜日午後6時30分から (のべ100名)
キ 部活動見守り 外部指導者指導 部活動開催日 (外部指導者登録状況10名)

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 30名 (保護者含む)
(2) 今年度ボランティア保険加入者数 9名

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ① 地域学校連携協議会の機能として、学校評価と連動した取組のほか、非常災害時の対応のあり方など、学校・保護者・地域関係機関の三者の考えを交流して、よりよい課題解決のために検討を深める場が確立した。特に、引取り下校について、学校だけの計画・立案では見落とされる視点での提言を得ることができた。
- ② コーディネーター2人体制の効果により、コーディネーターが話し合いをもとに運営できるようになり、学校支援活動の充実につながった。今年度から、来客用玄関掲示板に地域のコーナーを設置するなど情報提供活動が昨年度より活発に行われ、保護者・地域の理解がさらに深まった。
- ③ 校内にコーディネーターやボランティアが利用できる専用室を確保したことにより、活動がしやすくなった。特に、学校図書館に関わるボランティアの活動が定例化し、学校図書館環境整備、図書データ登録作業、読み聞かせ活動が定期的に行える体制となった。読み聞かせの回数も、昨年度より増やすことができた。児童の学校図書館利用状況や読み聞かせ活動への参加状況も良好である。読書に親しむ児童も増えてきている。

(2) 課題

- ① 教育支援ボランティア活動に参加する方が固定化される傾向が見られる。気軽に参加できるような工夫に努め、参加した後のコミュニケーション活動を充実させるなど、楽しく誰もが参加できる活動にしていく必要がある。
- ② 地域学校連携協議会の機能をより充実させ見通しをもったものにするために、協議題の吟味を含め、事前の資料提供や会長・副会長との打ち合わせなど内容面での取組を工夫していく必要がある。
- ③ 2つの中学校区との連携を図るために、地域密着型教育のねらいや推進状況など、情報提供を今後も積極的に行っていく必要がある。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立白銀小学校
校長 梅村 千鶴子

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回（白銀中学校・白鷗小学校と合同開催）
 - ①実施日時 平成26年6月2日（月）18：30 白銀中学校
 - ②委嘱状交付 教育委員会説明
 - ③協議内容 会則の審議・承認、会長・副会長の指名、会長あいさつ、組織及び今年度の計画、学校経営方針、PTA活動計画
- (2) 第2回（白銀中学校・白鷗小学校と合同開催）
 - ①実施日時 平成26年11月12日（水）兼白銀中学校区JS
 - ②白銀中学校区JS授業研究会・全体会・研究協議・分科会参加
 - ③協議内容 各校取組状況、各校の学校評価
- (3) 第3回（白銀中学校・白鷗小学校と合同開催）
 - ①実施日時 平成27年1月21日（水）
 - ②協議内容 今年度取組状況、来年度の計画

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) 地域学校連携協議会企画・推進部会 3回
地域学校連携協議会の開催内容について
各校取組状況、各校の学校評価
- (2) 地域学校連携協議会兼白銀中学校区JS「教育講演会」
（八戸学院光星高等学校 校長補佐 小野寺實 氏）
9月25日地域学校連携協議会委員、白銀中学校・白銀小学校・白鷗小学校教職員保護者参加
- (3) 地域学校連携協議会兼白銀中学校区JS「懇親会」
11月14日地域密着型教育取組状況の説明、地域学校連携協議会委員、白銀中学校・白銀小学校・白鷗小学校教職員参加

3 具体的な取組状況

- (1) 環境整備部会
 - 校内奉仕作業
 - ・玄関窓ふき、トイレ清掃、蛍光灯拭き
- (2) 交流連携部会
 - JS事業
 - ・6年生の白銀中学校の授業と市中体壮行会の参観
 - ・6年生の立志式の参観
 - 地域諸団体主催行事
 - ・白銀地区三校合同歓送迎会・白銀児童館運営委員会・五校連絡協議会
 - ・三嶋例祭への出店と作品の出品・白銀地区区民運動会
 - ・子ども会による夏休みラジオ体操や行事への参加
 - ・白銀すもう愛好会、白銀振興会白銀地区すもう大会開催
白銀小学校、白鷗小学校、白銀南小学校の4年生以上の児童参加
 - ・白銀地区敬老会への参加・福祉パレードへの参加
 - ・白銀まつりパレードへの参加

- ・公民館祭への作品の出品・体育振興会による野球教室への参加
- ・ライオンズクラブ主催なわとび大会への参加、白銀いろはカルタ大会への参加
- 情報発信
 - ・学校新聞、学校便りの町内会への配布・ホームページの更新・ブログの更新
- (3) 学習指導部会
 - J S 事業
 - ・「あいさつ、ありがとう、はきものをそろえる」の協同実践、学習のきまり・家庭学習の推進（一人勉強ノート）
 - G T による指導
 - ・1年…もちつき会　・2年…学区探検
 - ・3年…親子つり体験、豆しとぎづくり、昔のくらし体験
 - ・4年…水くみ体験、入浴体験　・5年…いかめしづくり　・56年…沖揚勇太鼓
 - 読み聞かせ
 - ・シロガネーゼによる読み聞かせ（毎週木曜日の朝）
 - 習字
 - ・習字の指導の補助、書き初め教室の指導
- (4) 生徒指導部会
 - J S 事業
 - ・あいさつ運動
 - 部活動、クラブ活動
 - ・クラブのボランティア
お茶生け花、バレーボール
 - 防犯パトロール
 - ・夏休み、冬休みに午前、午後
 - 保護司の面談（DVDの視聴、話し合い）

4 ボランティアの登録現在数

- (1) ボランティア登録現在数 55人（保護者含む）
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 0人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- 地域の方々に各校の学校の現状や課題を理解し、協力していただいている。
 - ①実践目標「あいさつ、ありがとう、はきものをそろえる」を協同実践し、白銀中学校区J Sとの一体化の推進
 - ②地域学校連携協議会のポスターの掲示、地域学校連携協議会だよりの発行による、学校・家庭・地域の連携の推進
 - ③教育支援ボランティアの協力により、より専門的な内容を教えてもらったり、個に応じた丁寧な指導をしていただいたことにより、児童の確かな学びが見られた。

(2) 課題

- 「地域密着型教育」を通して、学校・家庭・地域がさらに連携・協力し、今後どのような課題に取り組んでいくのか明確にしていく必要がある。
 - ①実践目標「あいさつ、ありがとう、はきものをそろえる」がまだ十分ではないため、今後も継続する。
 - ②家庭での学習習慣・読書・お手伝いをさらに定着させる。
 - ③コーディネーターと学校と地域・家庭との「つながり」をさらに強化する。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立白鷗小学校
校長 佐々木 昭夫

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回（白銀中学校・白銀小学校と合同開催）
 - ①実施日時 平成26年6月2日（月）18：30 白銀中学校
 - ②委嘱状交付 教育委員会説明
 - ③協議内容 会則の審議・承認、会長・副会長の指名、会長あいさつ、組織及び今年度の計画、学校経営方針、PTA活動計画
- (2) 第2回（白銀中学校・白銀小学校と合同開催）
 - ①実施日時 平成26年11月12日（水）兼白銀中学校区JS
 - ②白銀中学校区JS授業研究会・全体会・研究協議・分科会参加
 - ③協議内容 各校取組状況、各校の学校評価
- (3) 第3回（白銀中学校・白銀小学校と合同開催）
 - ①実施日時 平成27年1月21日（水）
 - ②協議内容 今年度取組状況、来年度の計画等

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) 地域学校連絡協議会企画・推進部会 3回
地域学校連絡協議会の開催内容について
各校取組状況、各校の学校評価
- (2) 地域学校連携協議会兼白銀中学校区JS「教育講演会」
（八戸学院光星高等学校 校長補佐 小野寺實 氏）
9月25日地域学校連携協議会委員、白銀中学校・白銀小学校・白鷗小学校教職員、保護者参加
- (3) 地域学校連携協議会兼白銀中学校区JS「懇親会」
11月14日地域密着型教育取組状況の説明、地域学校連携協議会委員、白銀中学校・白銀小学校・白鷗小学校教職員参加

3 具体的な取組状況

- (1) 環境整備部会
 - 校外奉仕作業
 - ・高見町老人クラブ『睦会』による花壇の花植え、草取りの手伝い
 - ・お父さん協力会による運動会入場門の設置
 - ・地域の方による運動会大漁旗の設置
 - ・3・4学年PTAによる除草作業
 - 校内奉仕作業
 - ・お父さん協力会による本校舎2階廊下壁面のペンキ塗り
 - 図書ボランティア 年7回
 - ・図書室の環境整備
 - ・蔵書の整理
- (2) 交流連携部会
 - JS事業
 - ・6年生の白銀中学校の授業と新人戦壮行会の参観
 - 地域諸団体主催行事
 - ・白銀地区三校合同歓送迎会・白銀児童館運営委員会・五校連絡協議会
 - ・三嶋例祭への出店と作品の出品・白銀地区区民運動会（本校）
 - ・子ども会による夏休みラジオ体操や行事への参加
 - ・白銀すもう愛好会、白銀振興会白銀地区すもう大会開催

- 白銀小学校、白鷗小学校、白銀南小学校の4年生以上の児童参加
- ・しみず保育園運動会（本校）・白銀地区敬老会への参加・福祉パレードへの参加
- ・白銀まつりパレードへの参加・公民館主催水泳教室の開催（本校）
- ・公民館祭への作品の出品・体育振興会による野球教室への参加
- ・ライオンズクラブ主催なわとび大会への参加
- 情報発信
 - ・学校新聞、学校便りの町内会への配布・ホームページの更新・ブログの更新
- (3) 学習指導部会
 - J S 事業
 - ・「あいさつ、ありがとう、はきものをそろえる」の協同実践、学習のきまり・家庭学習の推進（一人勉強ノート）
 - G T による指導
 - ・加藤たい子さんとそのお仲間による運動会『十二足』の指導
 - ・1年…むかしの遊び・2年…白銀地区町たんけん・3年…白銀の昔を知ろう
 - ・5年…八戸の海の仕事
 - 読み聞かせ
 - ・読み聞かせボランティアによる朝と昼休みの読み聞かせ年7回
- (4) 生徒指導部会
 - J S 事業
 - ・あいさつ運動
 - 交通安全
 - ・交通指導隊2名、みどりのおばさん1名とPTAによる横断指導
 - ・みなと白銀交番、交通安全啓発ののぼり旗の設置
 - 防犯パトロール
 - ・白銀地区防犯協会による特別巡視
 - 毎週月・金曜日児童、生徒の下校時刻帯パトロール実施、スーパー、コンビニ等への立ち寄り
 - 保護司との面談

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 146人（保護者含む）
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 1人

5 地域密着型教育の成果と課題

- (1) 成果
 - 地域の方々に各校の学校の現状や課題を理解し、協力していただいている。
 - ①実践目標「あいさつ、ありがとう、はきものをそろえる」を協同実践し、白銀中学校区J Sとの一体化の推進
 - ②地域学校連携協議会のポスターの掲示、地域学校連携協議会だよりの発行による、学校・家庭・地域の連携の推進
 - ③読書量・図書館利用の増加
 - ④校外学習での地域の方々の協力
 - ⑤部活動のコーチ・見守りボランティアと個別指導時間の確保
- (2) 課題
 - 「地域密着型教育」を通して、学校・家庭・地域がさらに連携・協力し、今後どのような課題に取り組んでいくのか明確にしていく必要がある。
 - ①実践目標「あいさつ、ありがとう、はきものをそろえる」がまだ十分ではないめ、今後も継続する。
 - ②家庭での学習習慣・読書・お手伝いをさらに定着させる。
 - ③コーディネーターと学校と地域・家庭との「つながり」をさらに強化する。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立白銀南小学校

校長 佐藤 修 士

1 地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第1回 ①実施日時 平成26年6月12日(木) 17:30~18:30

②協議内容

- ・会則の承認
- ・会長、副会長の指名、挨拶
- ・年間計画について
- ・小・中学校からの説明(経営方針)
- ・質疑応答, 要望, 意見等
- ・八戸市教育委員会より

(2) 第2回 ①実施日時 平成26年12月3日(水)

②協議内容

- ・学校自己評価の結果報告(小・中校長)
- ・質疑応答, 要望, 意見等
- ・その他

(3) 第3回 ①実施日時 平成27年3月中旬(予定)

②協議内容

- ・平成26年度学校評価報告
- ・平成26年度活動報告
- ・平成27年度の事業計画
- ・その他

2 具体的な取組状況

(1)安全・安心支援

- ・見守り隊: 安協支部, 地区有志による登下校時の見守り(登校日) 約8名
- ・防犯パトロール: 安協支部, 地区有志による登下校時の見守り(週2回程度) 約2名
- ・HELP活動: お世話になった地域の方々に感謝の絵手紙を出す(12~1月) 約110名へ

(2) 情報共有支援

- ・すこやかみなみネット情報交換会：地域関係者が一堂に会しての情報交換会（7月，12月）
約70～80名参加

(3) 教育活動支援

- ・えんぶり指導：3年生が大久保えんぶり組の親方を招いて学習会（9～10月） 1～2名
- ・えんぶり発表の補助：3年生が「学習発表会」で発表する際の囃子方（10月） 4名
- ・ホテルの学習：4年生が白銀南公民館館長を招いて学習会（6月） 1名
- ・相撲指導：白銀地区相撲大会に向け，地域の方から心技体の指導（8月） 1名
- ・「八幡馬」指導：1年生が老人クラブの方々から運動会の踊りの指導（5月） 4名
- ・手品クラブ：クラブ活動の補助（6，12月） 1名
- ・生活科の町探検：2年生が地域の商店等でインタビュー（11月） 10名
- ・運動会入場門設置，撤去：おやんずの会（5月） 5名

3 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 20人（保護者含む）
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 0人

※地域密着型教育予算による保険加入者数

4 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・教育活動支援が充実した。
- ・学習意欲が高まった。
- ・学校での活動を地域に発信する場が確保できるだけでなく、地域からの情報も収集できた。

(2) 課題

- ・地域の人材の確保（固定化）
- ・コーディネーターの活用
- ・「すこやかみなみネット」とのかかわり
- ・教職員や保護者への周知

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立町畑小学校
校長 工藤 啓 一

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回 ①平成26年 6月 3日(火)午後6時30分
②協議内容 ○委嘱状交付
○会則の承認、会長・副会長指名
○学校経営方針について
○今年度の計画について
- (2) 第2回 ①平成26年 9月25日(木)午後6時00分
②協議内容 ○地域密着型教育の推進状況について
○学校目標評価中間報告について
- (3) 第3回 ①平成27年 2月 4日(水)午後6時00分
②協議内容 ○地域密着型教育の総括(成果と課題)について
○学校関係者評価について

2 上記以外の会議の実施状況

今年度は開催なし

3 具体的な取組状況

(1) 教育活動

《読み聞かせ支援》

○ボランティアの方による、年間を通して週1回各学級を回っての読み聞かせ。

《行事支援》

○PTA父親委員会による運動会準備・後始末。

○PTAによるバザー開催。PTAOB会の支援。5・6年児童のお手伝い。

《広報活動》

○PTA広報委員会による年3回の広報紙の発行。

○町内会による地域全戸へのボランティア募集の回覧。

《部活動指導支援活動》

○サッカー部2名のボランティアのコーチによる児童への指導補助。

《学習支援活動》

○4月～9月 …1・2年生の畑作業補助 ボランティア1名

○6月下旬 …6年生家庭科ミシン学習活動補助 ボランティアのべ9名

○6/24 …特別支援学級での描画指導 ボランティア1名

○9/24 …2年生校外学習引率補助(学区内) ボランティア5名

○10/ 2 …5年生写生会引率補助(館鼻漁港) ボランティア5名

○11/ 6 …1年生焼きいも会活動補助(校庭) ボランティア23名

○11月～2月…隔週木曜日の将棋クラブ指導補助 ボランティア1名

○11/14 …5年生総合的な学習の時間市内自主見学活動補助 ボランティア4名

○12月上旬 …5年生家庭科ミシン学習活動補助 ボランティアのべ11名

○12/ 3 …昔の遊び指導補助 ボランティア17名

○12/10 …全校朝会での講話 ボランティア1名

○2/ 6 …低学年スケート教室滑走補助(新井田) ボランティア30名

○3/16 …八戸市防災教育の日講話 ボランティア1名

《児童が地域の行事に参加》

○5・6年児童の有志15名が町畑地区運動会の運営に参加。

○1年生の代表と6年生の全児童が地区の敬老会に参加。全校児童が書いたお手紙を配布。

○5・6年生の有志20名が東公民館まつりの読み聞かせに参加。

(2) 安全安心活動

《交通安全教室支援》

○PTA交通安全母の会、みなと白銀交番、交通安全協会町畑支部の方々に協力していただき実際に通学路を使って行った1・2年生の交通安全教室。

《交通安全支援》

- 交通安全協会町畑支部の方による、運動会の際の校門前の交通整理。
- PTA交通安全母の会が、交通安全のマスコットを作成し、交通安全協会町畑支部の方々に協力していただき実施した、地区の道路でのマスコット配布。

《防犯パトロール活動》

- PTAの父親委員会による、東地区青少年生活指導協議会と協力して行った、夏季・冬季の長期休業中に夜間の巡視。

《朝の立哨活動》

- 全保護者による、年間を通して交替で通学路の危険な場所2カ所に立ち、子どもたちに交通安全を指導する立哨活動。

《集団下校支援》

- PTA交通安全母の会となかよしクラブの指導員に協力していただき実施した、4月の1年生の集団下校指導。

《避難訓練》

- 保護者に協力していただき実施した、9月の地震を想定した児童引渡訓練。

(3) 環境整備活動

《奉仕活動》

- PTAの母親委員会による、年5回の花壇整備。
- 地区のボランティアの方による、学校が地区の方から借りている畑の耕作補助。
- PTAの母親委員会による、図書室へのひな人形の設置・撤去。
- PTA6学年委員会による、3月の校舎清掃作業。

《除草・剪定》

- PTA会員の方々による、5月の校庭の除草作業。
- 地区の老人クラブによる2回の除草作業。

《施設設備修理》

- PTA父親委員会・父親委員会OB会による、駐車場の砂利敷き、プールネットの補修、古い防球ネットの撤去、樹木の剪定作業。
- PTA父親委員会・父親委員会OB会による、防球ネットの張り替え作業

《ベルマーク収集活動》

- PTAのベルマーク委員会による、ベルマークの収集・集計作業。

4 ボランティアの状況

- | | |
|---------------------|------------|
| (1) ボランティア登録現在数 | 93人（保護者含む） |
| (2) 今年度ボランティア保険加入者数 | 7人 |
| ※地域密着型教育予算による保険加入者数 | 7人 |

5 地域密着型教育の成果と課題

- (1) 成果
 - ・地域密着型教育の視点で、様々な教育活動や地域、保護者との連携を整理することができ、今まで以上に充実した活動にすることができた。
 - ・今年度は、昨年度の反省をもとに町内会の協力をいただき、教育ボランティアの募集を全戸に回覧することができた。その結果、今までつながりのなかった新しい老人クラブからも教育ボランティアとして参加していただくなど、ボランティアの輪が広がった。
 - ・コーディネーターの積極的なボランティア開拓や学校だよりを通して教育ボランティアの活動を積極的に伝えることで、地域に地域密着型教育の良さを発信することができ、新たな分野での教育ボランティアが生まれた。
 - ・今年度も地域学校連携協議会による学校関係者評価を実施したことにより、学校が抱える課題や児童の実態や変容を共有し、校内外の児童の実態や地域、保護者の立場からの意見などを幅広い視点から意見交換をすることができた。
- (2) 課題
 - ・図書室の環境整備や防災教育等、学校の教育活動の学びの質を向上させるために、今後も継続して地域密着型教育のよさや教育ボランティアの活動の様子を発信したり、募集の仕方を工夫したりすることで教育ボランティアの輪を広げていく必要がある。

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

校舎裏の里山は着々と整備が進み、今年度は里山の中に全長500mほどの散策道が整備された。今年はその効果もあり、7月5日の東中学校区小中連絡協議会(東中・青瀬小・旭ヶ丘小・町畑小・美保野小)の先生、保護者の方々が美保野の里山を訪れてくれた。その後も、岩手県職員視察団、八戸盲学校の児童と先生たちが訪れ、9月27日には八戸学院大学の齋藤先生をはじめとし、東北、関東の大学の先生方が学会の研修の一つとして、美保野の里山を訪れてくれた。また、鷗盟大学OBの方々も、国蝶「オオムラサキ」を昨年度より観察を続けており、さらに環境整備にも参加してくれている。子どもたちも幼虫やサナギ、成虫を観察し、動植物への興味・関心と自然愛護への意識を高めることができた。

また、8月31日には地域の活性化を目的に、昨年引き続き「第2回みほの里山夏まつり」が開かれた。当日は好天にも恵まれ、十和田水神雷太鼓の演奏を皮切りに、子どもたちも出場したカラオケ大会、舞踊などのステージ、数々の出店により、1000人以上のお客さんで賑わった。

今年は2回目ということもあり、準備・片付けもスムーズに行うことができたのだが、特に多方面からのボランティアの方々の活動が印象的であった。高校生や短大・大学生と若い方々が目につき夏祭りを大いに盛り上げてくれていた。最後に、子どもたちは大勢の客の前で立派に、感謝の言葉を述べることができ、2回目の夏祭りも成功裏に終えることができた。

町内会とは共に地域スポーツ大会(グラウンドゴルフ)を開催したり、収穫祭では老人会の方々をお招きし、親睦・交流を深めることができた。

24年度をもって美保野中学校が閉校となり、小学校の単独校となって2年目となったのだが、運動会をはじめとした学校行事の方も、地域、保護者、福祉施設(ユートピア、のぞみ園、瑞光園)、八戸学院大学、短期大学の方々のご協力ですさらに盛り上がりを見せてきている。

(2) 課題

地域の方々の協力は大変大きいのだが、少子高齢化が進んでおり、次世代を担う若い方々の協力者を、美保野地区から確保することが大変難しくなっている。そのため、地域にある福祉施設(ユートピア、のぞみ園、瑞光園)、八戸学院大学、短期大学の方々の力を借りないと、多くの事業が進んでいけないという現実もある。

27年度は、里山に動植物の観察台や植物名の標識を設置するなど、整備を進めていく予定である。さらに八戸学院大学並びに八戸学院短期大学と連携し、グラウンドの整備・利用やスポーツ教室開催について検討していく予定である。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立鮫小学校

校長 伊藤 恵子

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回
- ①実施日時 平成26年 6月12日(木) 18:00～
 - ②協議内容
 - 委嘱状交付
 - ア 会長指名
 - イ 副会長指名
 - ウ 会長・副会長挨拶
 - エ 会則について
 - オ 今年度の組織, 計画について
 - カ 学校教育方針について
 - キ 八戸市教育委員会 教育指導課木村朋子指導主事挨拶
- (2) 第2回
- ①実施日時 平成26年11月10日(月) 18:00～
 - ②協議内容
 - 分科会
 - ア 小学校・中学校ごとに学校の現状と課題の説明及び審議
 - イ 情報交換
 - 全体会
 - ウ 小学校・中学校からの報告
 - エ 質疑応答
- (3) 第3回
- ①実施日時 平成27年 1月22日(木) 18:00～
 - ②協議内容
 - 全体会
 - ア 小学校・中学校より今年度の成果と課題, 学校評価の説明
 - イ 小学校・中学校より来年度の教育計画についての説明
 - ウ 審議
 - 分科会
 - エ 情報交換
 - 全体会
 - オ 小学校・中学校からの報告
 - カ 質疑応答

2 上記以外の会議の実施状況

なし

3 具体的な取組状況

(1) 図書室整備支援

- ・毎月1～2回
- ・図書の整頓，ラベル貼り，修繕，環境整備，図書準備室整頓

(2) 読み聞かせ支援

- ・毎週金曜日
- ・絵本の読み聞かせ

(3) 環境整備支援

- ・毎月1回
- ・ペンキ塗り，生け垣の剪定，花壇の手入れ，清掃，体育館ワックスがけ，新入生リボン作り

4 ボランティアの状況

- | | |
|---------------------|-----|
| (1) ボランティア登録現在数 | 20人 |
| (2) 今年度ボランティア保険加入者数 | 0人 |

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・コーディネーターを中心に学習支援や環境整備など地域との連携が進められ，計画的に実施できるようになった。
- ・保護者や地域の方が，日常の学校や子どもの様子を知るよい機会となっている。

(2) 課題

- ・ボランティアの募集案内を発行しても多くは集まらず，ボランティア登録者の増員が課題である。今後は，人材確保のために地域学校連携協議会に呼びかけたり，日々の活動を学校便りなどで紹介したりして具体的な支援を呼びかける必要がある。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立種差小学校

校長 小野 一 樹

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回
 - ①実施日時 平成26年5月21日（水）
 - ②協議内容
 - ・会長・副会長の指名、あいさつ
 - ・種差小学校の学校経営方針・重点施策等説明
 - ・年間スケジュール等説明
 - ・学校支援ボランティア組織について
- (2) 第2回
 - ①実施日時 平成26年9月16日（火）
 - ②協議内容
 - ・前期学校評価（アンケート）の集計結果について説明
 - ・前期学校評価（アンケート）の集計結果について審議
 - ・今後の部活動運営について
 - ・学区の危険箇所について
- (3) 第3回
 - ①実施日時 平成27年1月14日（水）
 - ②協議内容
 - ・今年度の教育活動について（東北地方ESDプログラムの発表）
 - ・後期学校評価（アンケート）の集計結果について説明
 - ・後期学校評価（アンケート）の集計結果について審議
 - ・種差小学校「学校いじめ対策基本方針」について
 - ・次年度の予定に関する説明及び審議

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) 準備委員会 なし
- (2) 企画推進部会 なし
- (3) 専門部会 なし

3 具体的な取組状況

- (1) 学習支援
 - ①運動部指導 卓球部 2名
 - ②昆虫の学習 2回
- (2) 環境整備
 - ①校外環境整備 3回 のべ50名
 - ②資源回収 3回 のべ90名
 - ③花壇の草取り 4回 のべ30名
 - ③松林ランドの木の剪定立ち会い 5名

(3) 校外安全指導

- ①交通安全週間街頭指導 保護者 24名
- ②交通安全教室 4月14日 1名(種差駐在) 保護者 5名
- ③防犯教室 6月21日 1名(種差駐在)
- ④地域安全探検見守り 6月3日 4名

(4) 連携行事

- ①オオハンゴンソウ駆除活動 6月10日
 - ・八戸森林組合員・種差海岸ボランティアガイドクラブの方とともに外来植物であるオオハンゴンソウ駆除を行う。
- ②南浜スポーツ大会 7月20日
 - ・南浜青少協と連携し、フリスビーゴルフを種差海岸芝生地で実施する。
- ④健康教室「歩く会」 9月7日
 - ・種差海岸ボランティアガイドクラブ会員を講師に種差海岸の自然にふれる活動を実施する。
 - ・ノルディックウォークの体験活動をする。(講師：種差少年自然の家指導主事)
- ⑤敬老の集い 9月16日
 - ・種差連合老人クラブの方に講師になっていただき、昔遊びを通して交流を深める。
- ⑥東幸園交流餅つき会 11月25日
 - ・東幸園の方と餅つきやゲームを通して交流を深める。
- ⑦南浜防犯レクリエーション 12月21日
 - ・南浜防犯協会と連携して、ミニ運動会を種差少年自然の家で実施。

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 45人(保護者含む)
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 0人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・今年度オープンした種差海岸インフォメーションセンターと連携し、種差海岸のよさを発信する教育活動を推進することができた。(種差らしいお菓子づくりプロジェクトの実施)
- ・学校支援ボランティアの組織を立ち上げたことによりボランティア登録者が増えた。学校環境を整える活動以外にも、地域の安全確認、種差地区の昆虫の学習など教育活動が充実した。
- ・学校目標の達成に向けた取り組みに対して、地域の理解と協力が得やすくなった。

(2) 課題

- ・複式学校の教育活動や児童の日常の様子を知っていただくために、授業参観や学校行事への参加を地域に広く呼びかける必要がある。
- ・南浜中学校区小・中ジョイントスクール推進事業と地域学校連携協議会との連携を密にして、相互の事業を円滑に進める必要がある。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立大久喜小学校

校長 神 彰 彦

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回
- ①実施日時 平成26年6月5日(木)
 - ②協議内容
 - ・委嘱状交付
 - ・大久喜小学校経営方針・重点施策等の説明
 - ・組織・年間スケジュール等の説明
 - ・授業参観
 - ・情報交換
- (2) 第2回
- ①実施日時 平成26年9月26日(金)
 - ②協議内容
 - ・2学期の教育活動についての説明
 - ・学校評価結果(1回目)の公表
 - ・授業参観
 - ・情報交換
- (3) 第3回
- ①実施日時 平成27年1月22日(木)
 - ②協議内容
 - ・今年度の教育活動についての説明
 - ・学校評価結果(2回目)の公表
 - ・来年度の計画について
 - ・情報交換

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) 企画会
- ①実施回数 5回
 - ②構成メンバーの概要
 - ・PTA会長、校長、教頭
 - ③検討内容
 - ・学習活動支援、学校行事、環境整備等の内容・進め方の確認
 - ・地域学校連携協議会の内容の検討

3 具体的な取組状況

本校はこれまで様々な教育活動を、漁業生産部会・婦人会・町内会等の諸団体や保護者・地域住民の協力を得て実施している。そのため、専門部会は設けずこれまでと同様、諸団体や保護者地域住民との連携を基本に取組を実施している。

取組		期日	参加者	主な内容
学習支援	ホッキ貝採り	4.21(月)	漁業生産部会(8名)	大久喜漁港でホッキ貝採り
	しおかぜ遠足	6.18(木)	漁業生産部会 保護者(計12名)	漁業生産部会の小屋でウニの殻剥き 体験学習
	浜小屋学習	6.12 6.26 8.28 9.11 9.18 10.2	漁業民俗保存会 (延べ21名)	重要有形民俗文化財「浜小屋」につ いて学習
行事支援	運動会	5.18(日)	おやじの会(12名)	用具の準備・片付け
	南浜スポーツ大会	7.20(日)	南浜青少協(8名) 南浜J S(22名)	南浜地区4校の小中学生がグラウンド ゴルフやフリスビーゴルフを種差少年自 然の家で実施
	大久喜のつどい	11.21(金)	婦人会・地域住民・保護者(70名)	餅つき、豚汁・鮭汁作り、会食
	南浜防犯レクリエーション大会	12.21(日)	防犯協会(10名) 南浜J S(16名)	南浜地区3校の小学校児童がミニ運 動会を種差少年自然の家で実施
安全指導	交通安全教室	4.15(火)	交通安全委員会 交通指導隊(計12名)	自転車の乗り方・歩行指導
	登校指導	4.8～15 8.22～27 1.14～19	交通安全委員会 1学年保護者 南浜交通指導隊 (延べ98名)	登校時の交通安全指導
環境整備	早朝奉仕作業	5.11(日) 9.16(火)	保護者(37名) 婦人会・地域住民・保護者(60名)	草刈り、窓拭き 草刈り
	海岸清掃	6.5(木)10.27(月)	厚生委員会・保護者 (延べ60名)	大久喜海岸のゴミ拾い、漁港トイレ清掃

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 16人(保護者含む)
(2) 今年度ボランティア保険加入者数 16人

※地域密着型教育予算による保険加入者数

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・地域の自然や環境を生かした、多様な体験活動が継続して実施できた。
- ・これまで学校と家庭が協働で取り組んできた「あいさつ運動」を地域にも広げようと、地域学校連携協議会の理事が、地域に働きかけてくれている。
- ・地域学校連携協議会の理事が学校関係者評価委員も兼ねることにより、様々な立場からの意見を聞くことができ、教育活動の改善につなげることができた。
- ・急な呼びかけにもかかわらず、早朝奉仕作業に多くの方々が集まってくれた。地域の方々の学校への関心の高さを知ることができた。

(2) 課題

- ・情報発信を心がけ、さらに開かれた学校にすることにより、保護者や地域住民が来校して気軽にできるボランティア活動を今後も検討していきたい。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立金浜小学校
校長 馬場悦子

1 地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第1回

①実施日時 平成26年 5月26日(月) 18:30～20:30

②協議内容

- ・理事委嘱状交付式
- ・会則審議
- ・会長・副会長指名
- ・会長・副会長あいさつ
- ・学校経営及び運営方針等説明
- ・組織・年間スケジュール等
- ・学校評価について
- ・質疑

(2) 第2回

①実施日時 平成27年1月20日(火) 18:30～20:30

②協議内容

- ・地域密着型教育の推進状況報告
- ・自己評価(学校評価)に関する説明
- ・学校関係者評価の実施
- ・平成27年度の教育計画(予定)について説明
- ・質疑

2 上記以外の会議の実施状況

(1) 金浜地区合同役員会

①実施回数 2回

平成26年5月13日(火)・9月9日(火)

②構成メンバーの概要

金浜町内会 漁業部会 金浜子供会育成会
金浜小PTA 校長 教頭 教務主任

③検討内容

- ・金浜小学校 金浜町内合同運動会について (日程, 種目, 係等)
- ・浜学習について (日程, 内容, 準備物, 係等)
- ・金浜小学校 金浜町内合同学習発表会について (日程, 演目, 係等)
- ・金浜小学校 金浜町内会合同バザーについて (日程, 内容, 準備物, 係等)

3 具体的な取組状況

(1) 教育活動・学校行事

①民謡練習・昼食会

平成26年 5月26日(月)

- ・15名(児童, 教職員, 金浜町内会婦人部)
- ・南部とらじよさま, 八幡馬の指導,

②金浜小学校 金浜町内合同運動会

平成26年 6月 1日(日)

- ・約100名(児童, 教職員, 保護者, 地域住民)
- ・会場準備及び後始末, 係, 各種目への参加

③浜学習, 清掃活動, 防災教育～金浜海岸～

平成26年 6月26日(木)

- ・約23名(児童, 教職員, 保護者, 漁業部会, 金浜町内婦人部)
- ・引率補助, 磯の生き物観察時の補助及び指導, 調理体験補助,
東日本大震災時の漁港の被害について

④参観日 6校時: 食育授業「小学生の食生活」

平成26年 7月17日(木)

- ・12名(児童, 教職員, 保護者, 金浜町内会婦人部)

⑤和菓子づくり体験教室

平成26年 9月 2日(火)

- ・13名(児童, 教職員, 金浜町内婦人部, 講師: 八戸菓子商工組合から7名)

⑥金浜小学校・金浜町内合同学習発表会, 合同バザー

平成26年10月19日(日)

- ・約100名(児童, 教職員, 保護者, 金浜町内婦人部, 地域住民)
- ・会場準備及び後始末, 係, 学習発表会への出演, バザーの運営

⑦芸術文化出前講座（茶道） 平成26年10月31日（金）
・16名（児童，教職員，地域住民）

⑧昔の遊び集会・昼食会 平成26年11月6日（木）
・18名（児童，教職員，金浜町内会，金浜町内婦人部）
・昔の遊びの紹介，活動支援

(2) 環境整備

①第1回早朝奉仕作業 平成26年5月25日（日）
・約80名（児童，教職員，保護者，地域住民）
・学校敷地内の環境整備（校庭を中心に除草作業，ソメイヨシノ及び松の剪定）

②第2回早朝奉仕作業 平成26年8月17日（日）
・約60名（児童，教職員，保護者，地域住民）
・学校敷地内の環境整備（校庭を中心に除草作業，ツツジの剪定）

(3) 地域交流

①塩竈神社祭礼でのよさこい披露 平成26年6月15日（日）
・約20名（児童，教職員，保護者，地域住民）

②種差観光まつりでのよさこい披露 平成26年7月13日（日）
・約30名（児童，教職員，保護者，地域住民）

③金浜町内盆踊りへの参加 平成26年8月16日（土）
・約80名（児童，保護者，地域住民）

④金浜地区敬老会での歌とよさこい披露 平成26年9月14日（日）
・約30名（児童，教職員，保護者，地域住民）

(4) 連携行事

①南浜スポーツ大会（南浜地区青少年生活指導協議会の主催）平成26年7月20日（日）
・南浜中学校区4校の小中学生が，種差少年自然の家でフリスビーゴルフ，
パターゴルフを実施

②南浜防犯レクリエーション（南浜地区防犯協会の主催）平成26年12月21日（日）
・南浜中学校区の3校の小中学生が，種差少年自然の家でミニ運動会を実施

4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数 0人（※市連P安全互助会賛助会員として14名登録）
※登録はしていないが，その都度保護者や地域の方が参加協力してくださっている。

(2) 今年度ボランティア保険加入者数 0人
※地域密着型教育予算による保険加入者数

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

①地域密着型教育に取り組んで4年目となり，地域学校連携協議会の場合は，教育活動や学校評価の結果・考察について意見をいただくとともに，地域の情報交換の場として定着した。また，話し合われた内容は，学校運営の改善や次年度の教育課程編成に生かすことができた。

②地域の方々とふれあう活動や地域と学校が連携して様々な活動を行うことで，「地域の学校」として，地域と学校の連携が深まっている。

(2) 課題

①これまで参加協力いただいた方々の高齢化が進んでおり，協力者が年々減っている。また，児童数の減少に伴い，保護者の負担も大きくなっている。今後は，日々の教育活動を学校便りやブログ等で情報発信，年度当初に教育活動に対する具体的な支援の呼びかけ，人材確保のために地域外からボランティアを募集するなど，さらなる工夫が必要である。

②南浜中学校区で重複している理事が出てきているので，南浜中学校を中心としたジョイントスクール推進事業と関連させながら，南浜中学校区の小・中学校が連携して地域密着型教育に取り組んでいく必要がある。また，①と関連し南浜中学校区で地域学校連携協議会を設置することで，支援ボランティアについて各校で募集の幅が広がると思われる。

③非常災害時に本校は，避難所となっている。防災に関わる地域との連携，協力等について，学区内の関係諸団体（金浜町内会，金浜漁業部会，防犯協会，交通安全協会）と体制づくりを進めていく必要がある。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立根城小学校
校長 赤石 和 枝

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回
- ①実施日時 平成26年5月20日
 - ②協議内容
 - ア 根城小学校の組織、会則の確認
 - イ 会長の指名(校長) 副会長の選出(会長)
 - ウ 会長・副会長あいさつ
 - エ 根城小学校の学校経営方針について(報告)
 - オ 今年度の活動の概要
- (2) 第2回
- ①実施日時 平成26年12月12日
 - ②協議内容
 - ア 事業の進捗状況(支援事業、ボランティア活用状況等)
 - イ 学校評価について(学校関係者評価)
- (3) 第3回
- ①実施日時 平成27年2月17日
 - ②協議内容
 - ア 今年度の事業のまとめ
 - イ 地域学校連携協議会の皆様のアンケートまとめ
 - ウ 学校いじめ防止基本方針について
 - エ 27年度の学校運営について

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) 企画推進部会
- ①実施回数 4回
 - ②構成メンバーの概要 校長、会長、事務局、PTA副会長、PTA幹事
PTA専門委員長、PTA学年委員長
 - ③検討内容
 - ・組織確認、PTA活動との整合性理解、今後の予定
 - ・ボランティアの活動状況・意見要望
 - ・保護者の意見要望
 - ・今年度の取組総括と次年度への要望
- (2) 専門部会
- ①実施回数 教育活動部、環境整備部、安全対策部、交流連携部
それぞれの部会が随時活動
 - ②構成メンバーの概要・検討内容 資料参照

3 具体的な取組状況

(1) 教育活動部

①学習支援(授業支援、校外学習支援、学校行事支援)

ア 授業支援

- ・習字ボランティア…2日、のべ15人
- ・家庭科(ミシン指導)…5日、のべ50人
- ・スケート指導…2日、のべ3人
- ・校外学習・地域学習補助…3日、のべ15人

イ 地域を活かした学習への取組…もっと地域のことを学んでほしいという願いから、全学年で地域の方や地域の施設などを生かした学習に取り組んでいる。

②部活動支援(指導・引率等、三部演奏会支援)

ア 部活動支援では、コーチとして卓球部に3名、サッカー部に1名、バトン部に1名地域等の方にご協力いただいた。

イ 1月に行われる三部演奏会でも、たくさんの保護者や地域の方に支援いただいた。

(2) 環境整備部

①校内外環境整備(花壇・教材園整備、除草奉仕、校地整備、ベルマーク集め、バザー)

ア 花壇整備…花壇のデザインと年間を通して植栽、除草、摘花等の活動を行う。

イ PTAバザー…保護者・子ども・教員が1つになって成功、みんなで楽しんだ。

ウ 玄関生け花…月2回、公民館の生け花クラブの方が来校し、職員玄関に生け花をいける。

②学校図書館整備

ア 読み聞かせボランティア … 約30日、のべ145人

イ 図書貸し出し・本の修繕作業… 約50日、のべ170人

(3) 安全対策部

①校外安全安心（登下校巡視活動、防犯パトロール、通学路・危険箇所の点検、集団下校支援）

ア 交通安全教室 4/9…入学してすぐの1・2年生の交通安全教室での見守り。

イ 毎朝の登校指導

ウ 交通安全母の会による立哨指導

②学校安全安心（プール監視）

ア AED活用講習会 7/18…7月18日に根城分遣所の職員5名が来て人工呼吸やAEDの使い方など救急救命の実地訓練を指導した。教員と保護者約50名が共に学んだ。

イ 夏季休業中のプール監視は2・3年保護者による見守り支援。

(4) 交流連携部

①連携行事（老人クラブ連携、子ども会キャンプ、区民運動会、三社大祭、親子学習会、三水会）

ア 三社大祭に参加 8/1～3…三社大祭に参加したのは約100名。新組、売市、吉田産業、六日町、八戸市職員互助会、新荒町、神明宮等で、太鼓、引き子、神楽、行列等に参加。

イ 合同キャンプに参加 8/9・10…約20名の児童がテント作り・キャンプファイヤー・炊事などを経験した。

ウ 参加者が増加した根城地区運動会 9/7…児童の参加が増え、若い保護者の参加も見られた。地域の方の指示に従い大人と一緒に競技に参加したり、町内の応援をしたりした。

②学校間連携（幼保小連携、小中J S、J Sあいさつ運動）

ア あいさつパワーアップ大作戦…学級で工夫しながら取り組んでいる。

イ 地域の根城地区あいさつ運動…9月の毎週水曜日に行われた地区あいさつ運動では、7:20から20分間、多くの地域の方が学校近くや交差点付近に並び、あいさつを交わした。

ウ 幼保小連絡会…江南小と本校、6幼保園の代表者が集まり、年2回連携について検討した。

4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数 50人

(2) 今年度ボランティア保険加入者数 0人

(学校支援地域本部事業の予算による加入者数 0人)

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

①地域諸団体の会合等が出された意見や、各町内の行事等の現在の取組等を地域・保護者・学校それぞれが互いに理解することができた。児童・地域住民が気持ちよく参加し、地域関係団体組織とPTA組織との調和と融合を図ることができた。

②地域学校連携協議会「ねじょっ子はぐくみ協議会」を開催し、学校・保護者・地域の願いを共有し意見交換をしていくことで、地域・保護者が、学校の取組やねらいを理解し、地域との連携を深め、地域とともに歩む学校づくりを推進することができた。

③授業でもボランティアに支援していただきながら、地域の文化・施設・人材を活用してきた。教員もボランティアを活用した授業や活動に積極的に取り組むようになった。

④ボランティアの輪が広がり、コーディネーターと学校支援地域本部事業の活用を図ることができた。その結果、PTAやボランティアによる支援活動をやってよかったと思う人が増え、PTA活動への参加者やボランティアが負担感なく増えるようになった。

(2) 課題

今後はコーディネーターと連携し、地域の教育資源の活用を図っていきたい。また、児童の学力の保証とともに豊かな体験活動の一層の充実を図るよう、教育課程の編成に生かしていくこととする。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立白山台小学校

校長 奥山 一夫

1 地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第1回 ①実施日時 平成26年5月19日(月) 10:00~12:00

②協議内容

- ・会則の確認
- ・役員選出
- ・組織について
- ・学校経営方針
- ・今年度の事業計画について



(2) 第2回 ①実施日時 平成26年11月25日(火)

10:00~12:00

②協議内容

- ・学校経営・運営状況について
- ・情報交換
- ・26年度の学校評価について

(3) 第3回 ①実施日時 平成27年2月23日(月) <開催予定>

10:00~12:00

②協議内容

- ・事業のまとめと次年度へ向けて
- ・ボランティア状況
- ・学校課題についての御意見・御助言
- ・本校の教育環境改善に向けた方向性と課題について

2 具体的な取組状況

(1) 学習支援

①学習支援・・・登録者 3名 活動なし

②各学年学習支援・・・スケートの靴紐結び

市中心街探検、地域安全マップづくり、
生活科の補助、総合的な学習の時間補助



③よみきかせ・・・登録者 30名 (地域の方 27名・保護者 3名)

5月~2月 9回 朝8時~8時30分

27学級に各1人~2人のボランティアが入り、よみきかせをする

(2) 環境整備

- ① 図書支援・・・登録者 13名（地域の方 1名・保護者 12名）

6月～2月 8回 朝10時～12時

本の修理作業、図書室内の季節の飾り制作、飾り付け、図書室内整備など

- ② 校地内草刈り・・・7月19日 参加者 18名(シルバークラブ)

97名（保護者・児童・教職員）

年1回、7月頃、シルバークラブの方々が機械を持ち込み、敷地内の草刈りをしてください、PTA環境美化委員会の保護者と子どもたち、教職員が協力して行う。



(3) 登校安全指導

- ① 3Aサポーター登校時見守り・・・登録者 5名

4月～12月 ミニストップ前交差点



3 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 122人（保護者含む）

- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 41人

4 地域密着型教育の成果と課題

- (1) 成果
- ・小・中合同で地域学校連携協議会を行い2年目となった。地域内の各団体の代表者を構成員としたため、多方面での理解や協力を得られるようになった。また、地域での子どもの様子について、様々な立場から聞くことができた。このことにより、学校課題についても率直に意見を交換することができた。
 - ・ボランティアの方々の学習支援により、子どもたちが地域に対して関心や新たな発見をもち、地域行事へ進んで参加する機会が増えた。また、学習意欲が高まり、効果的に学習を進めることができた。
- (2) 課題
- ・よりいっそう教育効果をあげていくために、保護者や各団体へ積極的に情報を発信し、理解と協力を仰いでいく必要がある。また、今後も地域や学校の行事を関連させて教育計画を立てていく必要がある。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立江南小学校
校長 荒木 興 一

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回
- | | | |
|-------------|---------------|-------------------|
| ①実施日時 | 平成26年5月19日(月) | 18:30~19:30 |
| ②協議内容 | | |
| ア 会則についての審議 | | イ 会長・副会長の指名 |
| ウ 学校経営方針説明 | | エ 地域学校連携協議会組織図 |
| オ 年間事業計画 | | カ 非常災害時の対応についての確認 |
| キ 教育委員会より | | |
- (2) 第2回
- | | | |
|--------------------|---------------|---------------|
| ①実施日時 | 平成26年9月10日(水) | 18:30~19:30 |
| ②協議内容 | | |
| ア 事業の進捗状況説明 | | イ 生徒指導の報告 |
| ウ 学校評価に関する説明(中間報告) | | エ 質疑応答及び提案・要望 |
| オ 学校支援地域本部から | | |
- (3) 第3回
- | | | |
|--------------|--------------|----------------|
| ①実施日時 | 平成27年2月4日(水) | 18:30~19:50 |
| ②協議内容 | | |
| ア 学校評価報告 | | イ 次年度の教育計画について |
| ウ 学校支援地域本部から | | エ 質疑応答及び提案・要望 |

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) 企画推進部会 (4/10) コディネーター2名、校長、教頭、教務主任
 (2) 専門部会 (開催なし)
 (3) 情報交換会 7/23 コディネーターと6年担任との情報交換会
 7/28 コディネーターとPTA役員との情報交換会

3 具体的な取組状況

(1) 教育活動部

- | | | |
|-------------------|--------------------|-------------------|
| ○部活動支援(バスケット) | 通年 | 2名 |
| ○親子学習会 | | |
| ・1学年 | 5/21・7/2・11/17(3回) | ・4学年 7/2(1回) |
| ・2学年 | 7/11(1回) | ・5学年 5/28・2/2(2回) |
| ・3学年 | 7/2(1回) | ・6学年 10/30(1回) |
| ○総合的な学習の時間・生活科の補助 | | |
| ・3年三社大祭のお話 | 6/27 | 1名 |
| ・3年えんぶりのお話・指導 | 1/27 | 1名 |
| ・2年スーパー見学補助 | 9/8 | 4名 |
| ・2年町探検引率ボランティア | 12/3 | 5名 |
| ・1年イチゴ苗植え | 10/21 | 1名 |
| ・2・3年 イチゴ苗植え | 11/4 | 1名 |
| ・1年昔の遊び | 2/10 | 4名 |
| ・6年あったか交流会 | 11/7 | 6名 |
| ○学校行事の支援 | | |
| ・入学式手伝い | 4/7 | 5名 |
| ・運動会補助 | 5/24 | 11名 |
| ・学習発表会手伝い | 10/18 | 5名 |
| ・学習発表会衣装づくり | 10/9 | 5名 |
| ・卒業式手伝い | 3/20 | 5名 |
| ○その他の授業支援 | | |
| ・1・2年水泳指導 | 5回 | のべ5名 |
| ・高学年着衣泳 | 9/8 | 4名 |
| ・5年ミシン補助 | 9/25 | 5名 |
| ・スケート指導 | 年5回 | のべ10名 |

○その他	年4回	3名
・臨時歯科検診	11/7	1名

(2)環境整備部

○読み聞かせ（朝 年10回）	4/17～3/5	のべ54名
○図書ボランティア（31回）	4/10～3/12（31回）	のべ89名
○環境整備	5/18	約80名
○清掃奉仕	5/11	11名
○鉢花植え	9/27	1名
○砂場整備	6/14	10名
○花壇除草	7/3	3名
○プール環境整備	7/25	2名

(3)安全対策部

○交通安全教室	4/11	6名
○1年下校指導	4/8～4/15	のべ約68名
○おやじの会地区パトロール	7/19	10名

(4)交流連携部

○子ども会		
・町内子ども会	5/12・6/30・12/7	のべ15名
・3町合同子ども会	7/27	15名
・子ども会ラジオ体操	7/19～7/31	
○おやじの会		
・企画会議	9/4	
・江南バザー出店	9/28	
○4校合同PTA懇談会	7/4	
○根城中学校区ジョイントスクール	4/30・8/20・11/21	
○根城町内連携		
・三水会	10回	
・根城地区あいさつ運動	9/10	
・地区防災会	9/19他2回	
・地区防災訓練	11/8	
・あいさつ声かけ促進キャンペーン	11/4	

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 40 人（保護者含む）
(2) 今年度ボランティア保険加入者数 18 人
※学校支援地域本部事業の予算による加入者数 18人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ① 教職員のニーズに応じたボランティア・サポートを受けることで、教育活動の内容が充実したものになってきている。
- ② 学校のブログ・通信等に活動内容を掲載することで保護者に学校支援活動の一部を紹介することができた。そのことで、保護者のボランティアが少しずつ増えてきている。
- ③ 学校支援コーディネーターとPTAが連携して学校支援をすることで、児童がいろいろな年代の方と交流する機会が増えている。

(2) 課題

- ① ボランティアとして活動している方々が固定化してきている傾向が見られる。新たなボランティアを増やしていく工夫が必要である。
- ② 学校側の要望をかなえてもらうだけでなく、ボランティアの方々の声を教育活動に生かす努力をする必要がある。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立田面木小学校

校長 内 山 伸 治

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回
- ①実施日時 平成26年6月4日(水) 13:30～
 - ②協議内容
 - ◆委嘱状交付
 - ◆議事
 - ・学校経営方針等について
 - ・今年度の教育計画について
 - ・今年度の地域学校連携協議会について
- (2) 第2回
- ①実施日時 平成27年1月27日(火) 13:30～
 - ②協議内容
 - ◆学校の現状と課題の説明及び審議
 - ◆学校評価に関する説明及び審議
 - ◆来年度の教育計画についての説明
- (3) 第3回
- 〈 予 定 〉
- ①実施日時 平成27年3月2日(月) 13:30～
 - ②協議内容
 - ◆今年度の成果と課題の説明及び審議
 - ◆来年度の計画等

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) ボランティア運営委員会
- ①実施回数 年2回
 - ②全ボランティア登録者と全職員の参加
 - ③活動についての打合せ、反省、改善点等の話し合い

3 具体的な取組状況

◆教育活動（クラブ活動、生活科、総合的な学習の時間、学校行事、その他）

活動内容	児童	ボランティア	月日
交通安全教室	全学年	防犯協会と婦人部 13名	4/11
よもぎもち作り (摘み、アク抜き、きざむ、もち作り)	2学年	老人クラブ のべ21名	5/8, 5/20
田面木音頭の指導	全学年	婦人会 のべ37名	5/19～5/21
クラブ活動 年間計8回 点字、郷土芸能、菱ざし、大正琴 英語、ネオホッケー	クラブ活動	教育ボランティア のべ82名	6/10～11/11
音楽会に向けての合唱指導	5学年	合唱指導の中里さん	9/16
地域安全マップづくり	5学年	防犯協会員 11名	10/28
ボランティア運営委員会 年2回 (組織会・反省と来年度に向けて)		教育ボランティア	4/22, 2/16
大菊づくり (奥州菊の歴史を学ぶ～菊まつりへの 出品、菊の解体まで)	6学年	菊づくり指導の田村さん	4月～12月
英語学習	1・2学年 3・4学年	教育ボランティア菊地さん " 下沢さん	2/6 12/15

◆環境整備活動（校内環境整備、学校図書室、防犯活動）

活動内容	児童	ボランティア	月日
P T A早朝奉仕（校庭整備、資源回収）	全学年	全P T A	5/18
図書室の環境と本の整備		P T Aベルマーク委員会と 図書ボランティア	6月～3月の 毎水曜日
学校敷地内の樹木剪定		地域の石原さん	7月～3月

◆地域交流活動

活動内容	児童	ボランティア	月日
ふれあい遊びランド	全学年	老人クラブ 16名 近隣の保育園児	10/15

◆スポーツ文化交流活動（部活動、根城中学校区ジョイントスクール、地域文化活動への参加）

部 活 動	児 童	ボランティア	月 日
野球部（基本練習、大会へ向けての指導）	部 員	指導者 2名	通年
卓球部（ 〃 ）	部 員	指導者 2名	〃
バスケットボール部（ 〃 ）	部 員	指導者 3名	〃
吹奏楽部（ 〃 ）	部 員	指導者 1名	〃

活 動 内 容	児 童	ボランティア	月 日
根城田面木地区合同キャンプへの参加	4.5.6 学年 対象	P T A	8/9 ~ 8/10
田面木地区婦人会親睦会演芸会にて大黒舞を披露	郷土芸能 クラブ	教育ボランティア 6名	9/13
田面木地区敬老会にて大黒舞を披露	郷土芸能 クラブ	教育ボランティア 6名	9/15
史跡根城まつりにて根城中との合同演奏	吹奏楽部	P T A	10/11
特別養護老人ホーム「ほっとハウス」にて踊りを披露	郷土芸能 クラブ	教育ボランティア 6名	11/11
ネオホッケー大会への参加	ネオホッケークラブ	教育ボランティア 2名	11/30
根城中学校区ジョイントスクール事業 ・全職員による研修 ・6学年による根城中学校の授業参観と 根城小&江南小との交流会	全職員 6 学年		4/30 , 8/20, 11/21, 11/27, 3/24

◆学校評価活動（学校目標にかかわる評価）

評価委員会活動内容	ボランティア	月 日
第1回 学校評価についての説明、今後の説明	学校関係者評価委員 12名	7/1
第2回 自己評価の結果と改善方策について	学校関係者評価委員 10名	12/11
第3回 学校関係者評価委員の評価と意見のまとめ	学校関係者評価委員 13名	1/15

◆健康増進活動（子どもたちの健康増進を図る）

活 動 内 容	児 童	ボランティア	月 日
学校保健委員会（すこやか会議） 児童、保護者、地域の方が子どもたちの健康について話し合う	全学年	地域の方 4名	11/26

4 ボランティアの状況

- | | |
|---------------------|------------|
| (1) ボランティア登録現在数 | 37人（保護者含む） |
| (2) 今年度ボランティア保険加入者数 | 24人 |

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・年3回の協議会はスムーズに進められ、各事業等も円滑に行われている。地域の方や保護者の方から、直接ご意見を聞くことにより、教育活動に役立てられる。
- ・より多くのボランティアの方々にご協力いただき、子どもたちの活動の幅を広げている。
- ・コーディネーターの働きかけにより、今年度は図書ボランティアによる図書室整備を重点的に行うことができた。図書室が整備されたことにより、児童の図書室利用率・読書冊数も増加した。

(2) 課題

- ・地域密着型教育のねらいについて、保護者や地域へ周知していく必要がある。そのため、今年度は密着型通信を発行し、保護者への配布を実施したりHPへ掲載したりしているが、ボランティア登録者数が十分とはいえない。
- ・ボランティアの方々の高齢化に伴い、活動に無理が生じ、新たにボランティアの方々をお願いするか、活動を縮小するかなどの課題が残る。適時性や内容・地域連携協議会開催の時期など活動を見直す時期となっている。

◇活動の様子



大正琴クラブ



ふれあい遊びランド



第2回地域学校連携協議会



奥州菊づくり

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立下長小学校

校長 田 中 眞理恵

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回 ①平成26年 6月19日(木)
(委嘱状交付)
会則審議(会則に従い、会長、副会長の指名)
②(ア) 会長・校長あいさつ(学校経営方針)
(イ) 各専門部会の活動予定発表
(ウ) 事務連絡・今年度の予定
(エ) 指導助言(出貝指導主事)
- (2) 第2回 ①平成26年12月 5日(金)
②(ア) 会長・校長あいさつ
(イ) 各専門部会の取組状況報告
(ウ) 内部評価結果と学校関係者評価実施について
(エ) その他(要望等)
- (3) 第3回 ①平成27年 2月24日(火) <開催予定>
②(ア) 会長・校長あいさつ
(イ) 各専門部会今年度の反省と次年度の活動に向けて
(ウ) 学校評価について 結果説明
(エ) その他(情報交換)

2 上記以外の会議の実施状況(開催していない場合は必要なし)

3 具体的な取組状況

(1) 春の図書読み聞かせ(4月中の5日間実施)

地区町内会のボランティアによる新入学児童への読み聞かせ。担任教師が職員朝会時学級を離れるので、その時間帯にお願いしている。

(2) 図書活動支援部会による本の読み聞かせと補修作業

7月 9日(水)、11月17日(月)、1月16日(金)
※読み聞かせは昼休みの時間帯に実施。低学年対象で行った。



(3) 生活・安全活動部会による交通安全 マスコット配り



9月24日(水)、PTA交通安全委員会と地区交通安全協会の皆さんで行った。停止中のドライバーに子どもたちの書いた標語を付けたかわいいマスコットを配り、交通安全を呼びかけた。みな快く受け取ってくれたので、PTAのお母さん方もうれしそうだった。(当日は、天皇・皇后両陛下が来八のため、警察の都合がつかなかった。)

(4) 昔の遊び体験とふれあい給食会(10月30日)

・地域のお年寄りに学校に来ていただき、1年生に昔の遊びを教えていただいた。(26名参加)竹馬、お手玉、おはじき、竹とんぼなど、普段子どもたちがやっていない昔の遊びを教えてもらい、子どもたちは大喜びであった。その後、教室で一緒に給食を食べ楽しいひとときを過ごした。



(5) ほのぼのの交流(11月28日)

・下長地区のお年寄りのお宅を交流協力員と6年生児童が訪問し(16件)、自己紹介の後ゲームをしたり、お年寄りのお話を聞いたり、農作業をしたりして交流を深めた。
「6年生のあいさつや態度が立派でした。楽しく交流できました」と多くの方々からお褒めの言葉をいただいた。

4 ボランティアの状況

- | | |
|---------------------|----|
| (1) ボランティア登録現在数 | 0人 |
| (2) 今年度ボランティア保険加入者数 | 0人 |

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・学校、家庭、地域社会が自分たちの役割を自覚して、責任をもって子どもたちの教育に当たっていこう、という意識が高まった。
- ・公民館や地域関係団体との連携がさらに強まり、緊急保護者引き渡し時に、車両誘導をしていただく方を確保することができた。

(2) 課題

- ・学校、家庭、地域社会が同じ目的に向かって地域の子どもたちを育てていく意識をもっと高めるため、PTAと地域住民と一緒に活動できる場の設定をすること。
- ・子どもたちの学力向上のために、地域の教育力をさらに活用すること。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立城北小学校
校長 中野 聡

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回 ①実施日時 平成26年6月3日(火) 18:30~20:00
②協議内容
ア 委嘱状交付
イ 会則審議
ウ 会長・副会長の指名、あいさつ
エ 学校経営方針の説明
オ 地域学校連携協議会の方針及び事業計画の説明
カ 地区懇談会について
- (2) 第2回 ①実施日時 平成26年12月18日(木) 18:30~20:00
②協議内容
ア 今年度の学校評価結果の報告と協議
イ 今年度の学校経営の報告
ウ 来年度の教育課程編成方針の説明
エ 今年度の事業の報告
オ 質疑応答、情報交換
- (3) 第3回 ①実施日時 平成27年2月下旬に開催予定
②協議内容
ア 今年度の教育活動や事業活動を振り返って
イ 来年度の教育活動や事業活動の見通し
ウ 情報交換

2 具体的な取組状況

(1) 教育活動支援

①読み聞かせ

- ・読み聞かせボランティアが1年生対象に年11回実施(3名)

②学習支援

- ・1学年 生活科「小正月行事・ほがほが」…1日(10名)
体育「スケート教室ひも結び」…保護者数名
- ・2学年 生活科「町探検」…1日(13名)
体育「スケート教室ひも結び」…保護者数名
- ・3学年 総合「えんぶり学習会」…1日(1名)
社会「野菜づくり」…1日(1名)
- ・4学年 総合「地域を知ろう」…1日(1名)
- ・5学年 総合「安全マップづくり」…1日(12名)
- ・6学年 ボランティア活動「地域のごみ拾い」…1日(15名)
総合「地域学習」…1日(1名)

③クラブ活動ゲストティーチャー…茶道クラブ(1名)

④部活動指導…サッカー部(1名)、バスケットボール部(1名)

(2) 環境整備支援

- ①早朝奉仕作業…年2回実施、児童・保護者・地域住民・教職員（のべ710名）
- ②学校花壇整備…4～11月、3学年委員会保護者
- ③雛人形、五月人形の飾り付け…年2回、4学年委員会保護者

(3) 安全・安心支援

- ①夏休みプール監視…7/22～8/21、4・5学年委員会保護者
- ②夏休み中の校外巡視…7月下旬～8月下旬、6学年委員会保護者
- ③交通安全教室…2回、2学年保護者・下長交番・交通安全協会
- ④下長地区安全安心パトロール（青色回転灯車）

(4) 交流活動支援

- ①3学年 総合「高齢者とのふれあい」…デイケアセンターを訪問しての交流活動
- ②4学年 総合「保育園訪問」…保育園を訪問しての園児との交流活動（幼保小連携）

(5) 情報発信支援

- ①PTA広報紙「まど」発行…年3回、広報委員会保護者
- ②地域学校連携協議会だより「城北のそら」発行…第1号、コーディネーター
- ③地区懇談会…石堂地区、河原木団地地区の2回、町内会役員・民生委員・子ども会役員等との情報交換

3 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 30 人（保護者含む）
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 0 人

4 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- 地域学校連携協議会だよりを発行することができ、地域密着型教育の趣旨や本校での取組について地域や保護者に広く知らせることができるようになった。
- 教職員が、教育活動支援ボランティアを活用することの有効性を理解するようになり、ボランティアを活用した教育活動を計画するようになってきた。また、各担当者とコーディネーターとの打ち合わせをとおして、コーディネーターの役割や重要性について理解を深めることができてきている。
- ボランティアの方々に、1年間だけの協力という意識から、来年度以降も引き続き協力して子どもたちのために役立ちたいという意識が高まってきている。
- 地域の方々や保護者との学校内でのふれ合いが、子どもたちの地域での生活にも反映し、地域の方々へのあいさつや地域のごみ拾いなどにつながっている。

(2) 課題

- 企画推進部会の実施、ボランティア登録など、組織づくりについて再度見直す必要がある。
- 教育活動支援ボランティアを活用した教育活動を今一度整理し、年度の早い段階で計画を立てて、ボランティアの掘り起こしと効果的な活用を図っていく必要がある。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立高館小学校

校長 原 寿

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回 ①実施日時 平成26年5月22日(木)
②協議内容 ・校長挨拶 ・委嘱状交付 ・行政説明「地域密着型教育について」
・会則について ・方針及び組織について
・今年度の教育活動について ・事業日程計画 ・質疑応答
・情報交換
- (2) 第2回 ①実施日時 平成26年12月5日(金)
②協議内容 ・校長挨拶 ・校内一巡 ・参観日全体会参加 ・情報交換
- (3) 第3回 ①実施日時 平成27年2月12日(木)
②協議内容 ・校長挨拶 ・平成26年度の教育活動を振り返って
・平成27年度の教育活動の見通し ・情報交換

2 具体的な取組状況

- (1) 4月8日(火) 1年生交通安全教室
・交通安全協会、交通安全指導隊の方々に協力をお願いした。
- (2) 5月10日(土) 親子クリーン作戦
・保護者、児童、教職員、地域の方々に運動会前に校庭の清掃、学級園の整備を行った。
- (3) 6月6日(金) 安全マップ作り
・各町内会役員、交通安全協会、交通指導隊の方々と一緒に4年生児童が町内を回り、安全マップ作りを行った。
- (4) 7月13日(日) 子ども会夏祭り
・高館子ども会の主催で本校グラウンドを会場に夏祭りを行い、多くの子どもたちが参加した。
- (5) 10月4日(土) 親子クリーン作戦
・保護者、児童、教職員、地域の方々に学習発表会前に校内外の清掃をした。
・いわけんリフォームさんの支援の中で、保護者、教職員も加わり、玄関傘立てのペンキ塗り替え作業を行った。
- (6) 10月26日(日) 地域防災訓練
・高館地区連合町内会自主防災会主催の防災訓練の中で、災害時の児童引き渡しを想定して行ってみた。
- (7) 11月19日(水) 図書ボランティアうち合わせ会
・図書ボランティアに参加してくださる方々が集まり、初めてのうち合わせ会を行った。

(8) 11月30日(日) 子ども会収穫祭

- ・子ども会の学習田で収穫した餅米で餅つきを行った。学習田では、苗代作りから田植え、稲刈りと一年を通して活動を行った。

(9) その他

- ・保護者のボランティアの方が、朝の読書の時間に各教室で読み聞かせを行った。
- ・運動会、学習発表会に向けて、高館駒踊保存会の方々に指導していただいた。
- ・4年生の総合的な学習の中で地域の老人クラブの方々にわらそうり作りを指導していただいた。

3 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数 0人(保護者含む)

(2) 今年度ボランティア保険加入者数 0人

4 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・学校便りや地域学校連携協議会便りで、地域学校連携協議会の活動内容を地域や保護者の方に発信してきた。地域密着型教育の趣旨が地域や保護者に理解されてきている。
- ・情報交換の場では、地域での児童の様子を聞くことができ、また、学校の教育活動に対しての質問や意見が出されてきた。地域住民や保護者の考えを把握しやすくなった。
- ・参観日の授業を見ていただくことで、本校の教育活動の理解を進めることにつながった。授業改善の様子も評価していただいた。
- ・本校では、地域学校連携協議会委員に学校関係者評価委員をお願いしており、参観日での授業参観や教職員・保護者・児童アンケートの結果や学力テストなどの結果をもとに多くの意見をいただくことができた。
- ・学区で道路工事が行われたりする時には、工事の概要、進捗状況などの報告が行われ、交通安全対策について各団体でどのように取り組むかが話し合われ、地域で子どもたちの安全を守っていく体制づくりができた。
- ・今年度新たな取組として、図書ボランティアの会を立ち上げることができた。学校と連携をとりながら、活動を充実させていきたい。

(2) 課題

- ・今年度立ち上げた図書ボランティアの会の主体はPTA会員である。この活動をPTA会員以外の方にも参加していただけるように、活動の広がりに向けた方法を考えていかななくてはならない。
- ・今年度の地域防災訓練では、災害時の児童引き渡しを想定して行ってみた。このように学校と地域が協力して行えば効果的なものを今後も計画して行っていきたい。
- ・子ども会行事への参加が少なくなっていることに関して、学校の協力を求める声がある。どのように地域へ協力していけばよいかを考えていきたい。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立根岸小学校
校長 大浦 和典

1 地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第1回協議会

①実施日時

平成26年4月30日(水) 17:00~18:30

②協議内容

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| ア) 学区校長会長(北稜中学校長)あいさつ | イ) 正副会長指名及びあいさつ |
| ウ) 3校の学校経営方針等についての説明 | エ) ボランティア活用計画について |
| オ) 会則について | カ) 緊急時の対応について |
| キ) 評価分科会のメンバーについて | ク) 今後の予定について |

(2) 第2回協議会

①実施日時

平成26年9月4日(木) 17:00~18:30

②協議内容

- ア) いじめ防止に関する取り組みについて
○各校の「いじめ防止基本方針」といじめに対する具体的指導などの報告

(3) 第3回協議会

①実施日時

平成27年1月22日(木) 17:00~18:30

②協議内容

- ア) 学校目標評価について(概略の全体説明)
イ) 次年度の日程について
ウ) 分科会(北稜中部会, 根岸小部会, 日計ヶ丘小部会)
○学校評価について
・自己評価と児童生徒・保護者アンケートの分析結果の説明と考察
・質疑応答と学校関係者評価

2 上記以外の会議の実施状況

運営委員会の実施(学区校長会を兼ねる)

(1) 第1回平成26年 4月14日(月) 9:00~10:00

(2) 第2回平成26年 8月25日(月) 15:00~16:00

(3) 第3回平成27年 1月15日(木) 14:00~15:00

3 具体的な取組状況

(1) 教育活動・学校行事・文化関連事業

- ①学習支援…朝の読み聞かせ, 夏休み読み聞かせ教室, 昔の遊びの指導, 豆しとぎ作りの指導, 田植え・稲刈り・脱穀・しめ縄作り・餅つきの指導, 町探検・八戸探検の引率補助, クラブ活動指導, 部活動後援, スケート教室紐結び
- ②行事支援…根岸音頭(運動会で踊る)の指導, 入学式・運動会・音楽会・卒業式等の接待

(2) 環境整備事業

花壇整備(花植え・草取り), 教材園及び教材田の整備, 小川の泥上げ, プルタブ回収, 校庭整備, 窓拭き清掃作業, 図書室の整備と書架整理, 郷土資料室の整備, 鯉のぼり設置, 入場門設置

(3) 安全対策事業

プール監視, 安全マップづくり, 交通安全教室, 自転車教室, 朝のあいさつ運動, 防犯パトロール, 通学路点検

(4) 交流連携事業

クリーン作戦(地域のごみ拾い)・えんぶり鑑賞会・地区敬老会・子ども会サマーキャンプ・子ども会ウォークラリー・区民運動会・公民館子ども教室・子ども会行事等への参加, 小・中学校ジョイントスクール事業(6年生の中学校見学・グッジョブの受け入れ)

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 432人(保護者含む)
(2) 今年度ボランティア保険加入者数 75人(保護者以外の北稜中学校区住民)

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

根岸地区の方々は、「地域の子どもは地域で育てる」という考えの下、三校(根岸小学校・日計ヶ丘小学校・北稜中学校)を「根岸の学校」として分け隔てすることなく支援や協力をしてくれる。特に、平成11年3月16日発足のボランティアネットワーク「アスネットねぎし」は、平成20年からスタートした学校支援地域本部事業でコーディネーターが設置されたことにより、さらに学校支援ボランティア活動が充実し、本事業に至っている。

このように、根岸地域の諸団体は結びつきが強く、今年度も地域が一体となって子どもの育成に取り組むことができた。また、地域の人材を子どもたちの教育に活かすことにより、子どもたちは地域の方々に対して尊敬や感謝の念をもち、一方地域のボランティアの方々にとっては、自分の特技を活かすことにより、生きがいや活力となった。さらに、緊急時への対応(避難訓練を含む)やいじめ防止対策推進法などの共通理解も図ることができた。

その他の具体的な成果としては、下記が挙げられる。

- 地域ボランティアの方々が、昔ながらの知恵や技能を生かして熱心に指導してくださるお陰で、内容的に大変充実した体験学習が行われた。例えば、1年生の「昔の遊び体験」や3年生の「豆しとぎ作り」等は、お年寄りの方とふれあうよい機会にもなり、思いやりと感謝の心を育む場になっている。また、ボランティアの方も孫のような子どもたちとのふれあいを楽しみにしており、生きがいを感じてくださる方もいる。
- 土曜・日曜や夏休みなど学校が休みの日に、公民館子ども教室や子ども会の行事がたくさん行われ、多くの子どもたちが参加した。「地域の子どもは、地域で育てる。」という気概を持った大人たちの頑張りによって、子どもたちの健全育成が図られている。

(2) 課題

今後、さらに活動を発展させていくためには、後継者を含め、より多くの人材を発掘していかなければならない。すでに根岸地区も世代交代が必要な時期に来ている。広報活動や日常的な教育活動を通して、保護者や地域住民が学校運営、児童生徒の教育活動に参画するという意識を醸成したい。

そこで、保護者をアスネットねぎしの後継者として育成する一つの方法として、豆しとぎ作り等の活動を「親子で学ぶ体験学習」として計画し直し、参加した保護者にも一緒に作り方を覚えてもらったり、アスネットの方々の指導の補助をしてもらったりする形で実施することも考えている。

最後に、アスネットねぎしという「横の連携」とともに、幼保小中の「縦の連携」の充実にも努めていきたい。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立日計ヶ丘小学校
校長 西久保 雅庸

1 地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第1回協議会

①実施日時

平成26年4月30日(水) 17:00~18:30

②協議内容

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| ア) 学区校長会長(北稜中学校長)あいさつ | イ) 正副会長指名及びあいさつ |
| ウ) 3校の学校経営方針等についての説明 | エ) ボランティア活用計画について |
| オ) 会則について | カ) 緊急時の対応について |
| キ) 評価分科会のメンバーについて | ク) 今後の予定について |

(2) 第2回協議会

①実施日時

平成26年9月4日(木) 17:00~18:30

②協議内容

- ア) いじめ防止に関する取り組みについて
○各校の「いじめ防止基本方針」といじめに対する具体的指導などの報告

(3) 第3回協議会

①実施日時

平成27年1月22日(木) 17:00~18:30

②協議内容

- ア) 学校目標評価について(概略の全体説明)
イ) 次年度の日程について
ウ) 分科会(北稜中部会, 根岸小部会, 日計ヶ丘小部会)
○学校評価について
・自己評価と児童生徒・保護者アンケートの分析結果の説明と考察
・質疑応答と学校関係者評価

2 上記以外の会議の実施状況

運営委員会の実施(学区校長会を兼ねる)

- (1) 第1回平成26年 4月14日(月) 9:00~10:00
(2) 第2回平成26年 8月25日(月) 15:00~16:00
(3) 第3回平成27年 1月15日(木) 14:00~15:00

3 具体的な取組状況

(1) 図書室整備

- ・内容: 破損図書の修理、貸出、返却業務

(2) 読み聞かせ

- ・内容: 読み聞かせ

(3) 行事、学習の指導補助

- ・内容: 遠足補助、水泳教室指導補助、スケート教室の指導補助、豆しとぎつくり体験指導、町探検指導補助

(4) クラブ活動の指導補助

- ・内容：バドミントンクラブ、料理クラブ、昔の遊びクラブ

(5) 環境整備

- ・内容：花壇除草、校庭整備、通学路除草、枝切など

(6) 安全対策

- ・内容：交通安全教室補助、自転車教室補助、挨拶運動見守り、防犯パトロール
登下校の見守り、通学路点検

(7) 交流事業

- ・内容：えんぶり鑑賞会、地区敬老会参加応援、子供会行事への協力、地区民運動会への協力
小中ジョイントスクール事業協力

4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数

112人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数

0人（アスネットねぎし登録者を除く）

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

北稜中学校区の方々は、「地域の子どもは地域で育てる」という考えの下、三校（根岸小学校・日計ヶ丘小学校・北稜中学校）を「根岸の学校」として分け隔てすることなく支援や協力をしてくれる。特に、平成11年3月16日発足のボランティアネットワーク「アスネットねぎし」は、平成20年からスタートした学校支援地域本部事業でコーディネーターが設置されたことにより、さらに学校支援ボランティア活動が充実し、本事業に至っている。

このように、根岸地域の諸団体は結びつきが強く、今年度も地域と一体となって子どもの育成に取り組むことができた。また、地域の人材を子どもたちの教育に活かすことにより、子どもたちは地域の方々に対して尊敬や感謝の念をもち、一方地域のボランティアの方々にとっては、自分の特技を活かし、生き甲斐や活力となったと思われる。

さらに、重点的 school 課題「学校目標」の説明と評価、緊急時への対応（避難訓練を含む）、いじめ防止基本方針といじめへの具体的指導などの共通理解も図ることができた。

日計ヶ丘小学校は、規模が小さいながらも、地域の中で沢山の方々の協力をいただいて円滑な教育活動ができています。これは、子どもたちのために、学校のためになんとか力になってあげたいと考えている人たちが実際に必要な面で積極的に協力する土壌が醸成されており、更に、常に根岸小学校や北稜中学校との連携も保ちながら、不公平が無いように地域で（アスネットねぎし、老人会、青少協、安教など）配慮していただいているからである。これまで先人が培ってきた3校協力という良き伝統を大切な成果としてこれからも大切にして、守り引き継いでいきたい。

(2) 課題

北稜中学校区地域学校連携協議会は、地域の有識者の立場から広く情報交換をして、ご意見を伺う体制はあるが、創立当初よりその構成メンバーはほとんど変わっていない。実際に今年度「もっと、若い世代を、、、」という意見も出された。今後、さらに活動を発展させていくためには、後継者を含め、より多くの人材を発掘していかなければならないが、広報活動や日常的な教育活動を通して、保護者や地域住民が学校運営、児童生徒の教育活動に参画するという意識を醸成したい。

また、協力的な保護者と無関心、非協力的な保護者のギャップもまだまだ大きい。お便りなどの啓蒙活動や根気強い働きかけを継続していく必要があると考えている。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立是川小学校

校長 田村 滋子

1 地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第1回

①実施日時 平成26年5月26日(月)

②協議内容

- ・委嘱状交付
- ・役員選出
- ・学校経営方針について
- ・今年度の予定について

(2) 第2回

①実施日時 平成26年9月18日(木)

②協議内容

- ・教育課程実施状況について
- ・清掃活動について

(3) 第3回

①実施日時 平成27年1月23日(金)

②協議内容

- ・学校評価に関する説明及び審議

(4) 第4回

①実施日時 平成27年3月2日(月)

②協議内容

- ・今年度の成果と課題について
- ・来年度の教育計画について

2 具体的な取組状況

(1) 学習支援

①「柿の木クラブ」丸付けボランティア 17名

- ・3～6年「柿の木クラブ」における計算学習の丸付け支援
- ・通年 毎週火曜日 15:30～16:10

②読み聞かせボランティア 5名

- ・朝の読書活動における読み聞かせ活動
- ・通年 毎週水曜日 8:05～8:25

- ③生活科・社会科学習支援ボランティア 41名（保護者を含む）
 - ・1年昔の遊び、2年干し柿づくり、2年・3年校外学習の支援
 - ・11月～12月
- ④稲作活動支援ボランティア 1名
 - ・5年総合的な学習の時間における稲作活動支援
 - ・5月～11月
- ⑤琴の演奏活動支援ボランティア 1名
 - ・日本文化クラブにおける琴の演奏活動支援
 - ・5月～2月

(2) 環境整備支援

- ・ボランティア（保護者を含む）のべ260名
- ・タイルはり、草刈り、樹木剪定
- ・年3回

(3) 行事支援

- ・運動会における会場設営・後始末、校庭水撒き支援 30名
- ・5月30日、31日

3 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 24人
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 24人

4 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- 地域ボランティアの方々から学習支援をいただくことで、児童一人一人にきめ細かな指導や声かけをすることができ、児童の学習意欲が喚起され、学ぶ喜びが育まれつつある。
- 丸付け支援や生活科・社会科支援などの学習支援が行われることで、教職員の保護者・地域とともに児童を育む意識が高まってきた。
- 地域の方が学校に関心を抱くようになり、学校行事への支援をいただくなど学校や子どもたちのことを温かく見守ってくださっていることを実感できた。
- 地域学校連携協議会では、学校の教育活動について建設的な意見を伺うことができ、学校運営の改善に生かすことができた。

(2) 課題

- よりよい教育環境と支援体制の整備として、これまで主に地域住民より学習支援をいただいていた。今後は、校舎内外の環境美化支援について、保護者の意識を高めていきたい。
- 保護者、地域住民の地域密着型教育に対する理解をさらに深めていただくよう、情報発信のあり方を考えていきたい。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立是川東小学校
校長 白石 哲 志

1 地域学校連携協議会の実施状況

- | | | |
|---------|-------|---|
| (1) 第1回 | ①実施日時 | 平成26年 5月 8日 (木) 18:00～ |
| | ②協議内容 | ・委嘱状交付
・会則の審議
・運営組織について
・学校教育方針の説明、今年度の教育計画についての確認 |
| (2) 第2回 | ①実施日時 | 平成26年12月13日 (土) 18:30～ |
| | ②協議内容 | ・学校の現状と課題について
・学校評価等の結果について
・委員からの学校評価や学校運営に係る意見や要望 |
| (3) 第3回 | ①実施日時 | 平成27年 2月 9日 (月) 18:30～ |
| | ②協議内容 | ・学校評価実施報告書についての説明 (成果と課題) |

2 具体的な取組状況

(1) 広報研修委員会

- ・ 6月17日 (火) 年間活動計画作成、研修旅行打ち合わせ
- ・ 7月16日 (水) 第1回本の読み聞かせボランティア 6名参加
- ・ 12月17日 (水) 第2回本の読み聞かせボランティア 7名参加
- ・ 2月 1日 (日) P T A研修旅行：三沢方面 24名参加
- ・ 3月中旬：予定 第3回本の読み聞かせボランティア



(2) 保健環境委員会

- ・ 5月 2日 (金) 「ひがしっ子農園」開き協力
- ・ 6月25日 (水) ～9月24日 (水) 花壇整備作業 5回



(3) 交通安全母の会

- ・ 4月 9日 (水) 安全教室 (歩行) への参加と指導
- ・ 4月17日 (木) 安全教室 (自転車) への参加と指導
- ・ 9月18日 (木) 交通安全マスコットづくり

- 9月28日(日) 交通安全マスコット配布
是川駐在所・是川地区指導隊・保護等 11名参加
是川東小リトル JUMP チームも、ドライバーへのマスコット配付に参加した。



- (4) 地域の方々の協力を得て
- グラウンド環境整備** 5月18日(日) 36名参加
運動会に向け早朝奉仕作業を行った。
 - 学区大運動会** 5月25日(日) 80名参加
学区民と学校が協力して行う最後の運動会となった。創立120周年を祝い、120の数字にこだわった競技を多数行った。
 - 学習発表会** 10月19日(日) 35名参加
児童の発表の他に、保護者や地域の方、老人クラブの方々も練習を重ねて演技を披露した。また、映画上映も行い、共に鑑賞した。
 - 校舎内大清掃** 10月26日(日) 32名参加
11月の閉校記念・120周年記念式典に向け、体育館床の水拭き・ワックスがけ、窓ふきを行った。式典に向けての協力体制を強く感じた。
 - 三世代ふれあい会** 12月14日(日) 30名参加
保護者と地域の方、そして老人クラブの協力を得ながら、餅つきやくるみ割り、子ども達が考えたゲームなどを通して触れ合い、地域や家族に対する思いを深めた。
 - 第5～10回統合準備委員会** 6月17日(火)～12月13日(土)
毎回20～30名程度参加
閉校記念・120周年記念式典に向け会議を重ねた。また、記念誌の作成作業、式典の運営準備、必要物品の運搬作業等を行った。



3 ボランティアの状況

- ボランティア登録現在数 45人(保護者と学区民を含めたPTA全会員数)
- 今年度ボランティア保険加入者数 0人

4 地域密着型教育の成果と課題

- 成果
 - 保護者や地域の方々の協力を得ながら、各種行事や体験的な活動に数多く取り組むことができた。地域や家族を大切にする心が醸成されていると感じる。
 - 保護者や地域の方々ともに、閉校・統合に向けてたくさんの協力をいただき感謝している。また、是川小学校への交流週間など、たくさんの交流機会を設け、不安を取り除くよう努めている取組に対して、高く評価していただいた。
- 課題
 - 第2回地域学校連携協議会では、学校評価及び8Dプランの結果報告において、読書指導についての評価が低いことが指摘された。3学期の残りの期間で、子ども達が読書できる時間を確保するよう努めていく。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立三条小学校
校長 山内 均

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回 ①実施日時 平成26年6月12日 18:00～
②協議内容
・委嘱状交付式
・会則の承認
・会長、副会長の指名、挨拶
・小学校からの説明
・意見交換
・その他
- (2) 第2回 ①実施日時 平成26年10月16日 18:00～
②協議内容
・学力検査の結果報告（教務主任）
・安全情報配信システムについて（教頭）
・「あすなろ活動」等について（校長）
・中間活動報告（コーディネーター）
・意見交換
・その他
- (3) 第3回 ①実施日時 平成27年1月22日 18:00～
②協議内容
・今年度の活動報告
・「学校評価」について報告（教務主任）
・意見交換
・その他

2 上記以外の会議の実施状況

コーディネーターとの会議・打ち合わせを必要ときに随時行っている。

3 具体的な取組状況

(1) 安全安心活動支援

○交通安全指導	4月～3月	1人	交差点での見守り
○新入学児見守り指導	4月8日～11日	28人	危険箇所での見守り
○交通安全教室指導	4月15日	8人	交通安全教室の見守り
○校外巡回指導	7月～2月	124人	地域の危険箇所の確認
○プール監視指導	夏休み中	145人	プールでの見守り

(2) 教育活動支援

○読み聞かせ	5月～3月	6人	1・2年生への読み聞かせ（年間25回）
○神楽クラブ指導	5月～2月	4人	神楽クラブ児童への指導 （年間12回＋休業日3回）
○運動会準備	5月24日	15人	テント及び万国旗設営
○三世代交流	6月13日	91人	1・2年生昔の遊びの指導
○三世代交流	9月10日	85人	3年生 ふるさとの食
○三世代交流	9月12日	92人	4年生 昔の暮らし

○地域安全マップ	11月6日	7人	5年生の学習 引率補助
○総合的な学習の時間支援			
	11月17日	1人	5年生へ「三条の今と昔」の指導
○町探検	11月12日	8人	2年生 町探検児童引率
○読書指導	7月7日	5人	八戸市図書情報センターによる
	12月9日		全学年 ブックトーク・読み聞かせ
	3月12日		
○米を育てる（5・6年生の活動）			
・田植え	5月27日	12人	田植え指導
・草取り	7月14日	4人	田んぼの雑草駆除
・稲刈り	10月1日	15人	稲刈り指導
・脱穀	10月16日	4人	脱穀指導
・餅つき	12月2日	32人	餅つき準備等
・注連飾り	12月16日	80人	三世代交流

(3) 部活動支援

・野球部指導	4月～3月	2人	児童への指導，安全の見守り
・バレー部指導	4月～3月	1人	児童への指導，安全の見守り（週2回）
・バレー部指導	4月～3月	1人	児童への指導，安全の見守り（土曜の練習日）

(4) 環境整備活動支援

・運動会の環境整備	5月18日	280人	運動会に向けて草取り木の伐採
・草取り交流会	8月28日	46名	老人クラブの方々と一緒に校庭の除草活動

(5) 交流連携活動

・養護老人ホームでの演奏	8月24日		地域にある浄信館で吹奏楽部が演奏
・養護老人ホームでの演奏	9月20日		地域にあるほっとハウスで吹奏楽部が演奏
・上長地区敬老会での演奏	9月15日		敬老会に参加し「きざん八戸」で吹奏楽部演奏
・まちづくり大会での演奏	10月13日		吹奏楽部が上長地区の集會に参加
・まちづくり大会での演奏	10月13日		リトルジャンプチームが上長地区の集會に参加
・神楽の演舞	2月15日		一人暮らしの老人の方々に披露

4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数	16人（保護者含む）
(2) 今年度ボランティア保険加入者数	0人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・地域の町内会，公民館，老人クラブ，幼稚園・保育園，子供会，学校など子どもに関わる代表者が一同に集まり，互いの考えを理解し，共に子どもたちやこの地域をよくしていくための活動を考える貴重な場となっている。
- ・地域の方々を知り身近に感じてきている。そして，子どもたちに地域を大切にしようという心が育ってきている。
- ・学校から地域へ出での活動も取り入れることができ，地域からも評価された。

(2) 課題

- ・ボランティアをしたい方はいるのかもしれないので，共に相互利益になるような取組を考え，積極的に募集を進め少しでも多くの方の協力を仰いでいきたい。
- ・学校の教育活動をもっと積極的に，地域へ知らせていく必要がある。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立西園小学校

校長 齋藤 和香美

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回
- ①実施日時 6月4日
 - ②協議内容
 - 経営方針・学校目標等の説明
 - 学校支援ボランティアの活動状況
 - 児童の様子
 - 市教委指導課佐々木指導主事から
- (2) 第2回
- ①実施日時 9月10日
 - ②協議内容
 - 校内研究提案授業（6年1組算数）
 - ・授業参観
 - ・研究協議会参加
- (3) 第3回
- ①実施日時 1月21日
 - ②協議内容
 - 学校目標重点施策の実施状況，成果と課題
 - 学校評価アンケートの結果と分析
 - 学校ボランティアの活動状況
 - 冬期間における児童の安全な登下校
 - 来年度の予定 地域学校連携協議会年間計画
学校創立30周年行事

「第3回協議会」



「読み聞かせボランティア」



2 具体的な取組状況

(1) 本の読み聞かせ

2名、年間各学級3～4回（年間40回程度）、朝自習の時間帯（8：00～15）

(2) 図書環境整備

6～7名、定期（水曜日の10時～12時 年間30回程度）

本の修理・カバー装着・ラベル張り

(3) 授業、引率補助

給食配膳（1年生） 4月・・・3回

動物ふれあい指導補助 9月・・・1回

安全マップ作成引率 11月・・・1回

ミシン指導補助 11月～12月・・・4回

調理実習補助 12月・・・1回

「図書ボランティア」



3 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数 26人

(2) 今年度ボランティア保険加入者数 17人

※地域密着型教育予算による保険加入者数 17人

「ミシン指導補助」



4 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・ボランティアとして学校に来る機会が多い方ほど学校に対する理解が深まり、教員の努力や苦勞を理解し、より協力的になっている。
- ・図書ボランティアが自主的に、季節にあった図書室の環境作りに関わるなど、積極的な動きが出てきている。
- ・ボランティアの補助が入ったことにより、効果的で安全な指導を行うことができた。

(2) 課題

- ・ボランティアメンバーの固定化が見られ、新規の募集をコーディネーターが働きかけても、なかなか増加しない。そのため、コーディネーター自らが、ボランティアのメンバーとして度々参加することになった。ボランティアとして活動した方は、おしなべて「楽しかった」「また声をかけてほしい」など、好印象をもって次回も手伝いに来てくれている。活動の楽しさを何とかして伝えていき、ボランティアの獲得につなげたい。

「老人クラブ指導によるしめ飾り作り」



平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立明治小学校

校長 田 中 利 男

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回 実施日時 平成26年6月3日(火)
 協議内容
- ・委嘱状交付式
 - ・八戸市立明治小中学校地域学校連携協議会会則審議
 - ・会長、副会長の指名
 - ・明治小学校、明治中学校の学校経営方針説明(学校目標を含む)
 - ・今年度の計画審議
- (2) 第2回 実施日時 平成26年12月1日(月)
 協議内容
- ・明治小学校、明治中学校の学校評価の説明及び審議
 - ・明治小学校、明治中学校の学校支援進捗状況の説明及び審議
 - ・教育委員会挨拶
- (3) 第3回 実施日時 平成27年2月24日(火) 予定
 協議内容
- ・明治小学校、明治中学校の成果と課題の説明及び審議
 - ・明治小学校、明治中学校の学校支援の成果と課題の説明及び審議
 - ・来年度の協議委員について

2 具体的な取組状況

(1) 教育活動

- 学習活動支援.....学級担任や行事担当者からの依頼を受けて随時活動。給食配膳補助8人、学校園畑畝づくりに老人クラブ15人、保護者ボランティア2人、八幡馬踊り指導に老人クラブ5名、保護者ボランティア2名、学年の体験活動への補助に保護者ボランティア13名で活動を行った。
- 図書館整備支援.....4月に5人で名簿の更新作業・図書登録・本の整備を行った。
- 読み聞かせ支援.....7月から3月までの毎週月曜日の朝に1~3人のボランティアが学級を訪問し、本の読み聞かせを行った。
- 習字仮巻き支援.....9月と2月に3人ずつのボランティアにより、校内展示用の習字の画仙紙作品を仮巻きに貼り付け、展示を行った。

(2) 部活動

- 部活動指導支援.....野球部1人・サッカー部2人・ミニバス部2人・スケート部2人が指導者として活動している。(毎年4月に委嘱状を交付)
- 引率支援.....陸上競技会とスケート競技会への参加にあたって、引率支援ボランティアを配置し、児童の安全確保に協力している。
- 部活動見守支援.....指導者が練習に入るまでの間、ボランティアが練習を見守っている。コーディネーターがアンケートを実施して予定表(一覧表)を作成している。

(3) 安全安心活動

- 交通安全支援.....4月23日(水)交通安全教室に10人のボランティアが自転車の乗り方指導補助として参加。地域からも駐在所所長、交通指導隊4名、安全パトロール隊6名、交通安全母の会の方々が支援に参加した。
- 防犯パトロール.....全校児童が5時間授業で下校する水曜日の放課後に、10人の安全パトロール会のスタッフが学区内巡回を行っている。
- 朝の立哨支援.....春休み、夏休み、冬休み明けに通学路の3箇所全保護者が登校の街頭指導を行った。

- 地域総合防災訓練... 9月28日(日)の地域総合防災訓練に参加。DVD視聴「災害による犠牲者ゼロを目指して」や講話「風災害、土嚢積み等」、応急手当訓練「骨折等への対応」、水道企業団給水訓練なども実施された。

(4) 環境整備活動

- 奉仕作業..... 5月18日(日)と8月24日(日)に除草や花壇整備、側溝泥上げを中心とした奉仕作業を実施した。どちらの回も、児童と100名を超えるボランティアが参加した。
- 資源回収..... 5月～10月に6回の資源回収を実施した。回毎に担当学年を分担したことによって、毎回10名前後のボランティアの協力を得ることができた。
- 校内清掃..... 3月にボランティアによる清掃活動を計画している。

(5) 交流連携活動

- 八幡宮大祭参加..... 相撲大会の運営・まわし付け補助に30人、流鏝馬の着替え補助に5人のボランティアが参加した。また、大祭期間は延べ20人が巡視を行った。
- 学区民体育祭参加... 8月31日(日)中学校を会場とした学区民体育祭が行われた。中学生の活躍のおかげで小学生は保護者と共に大いに楽しむことができた。

3 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 19人(保護者含む)
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 19人 ※学校支援地域本部事業の予算による加入者数

4 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・地域密着型教育への取組は4年目となるが、地域関係者・学校職員・学校支援コーディネーター・PTA役員等には地域全体で子どもを育てようという意識が定着している。
- ・小中学校が合同で本事業に取り組むことによって、学校間の情報交換が密になり、ジョイントスクールやグッジョブ事業での連携がスムーズになった。
- ・ボランティアの方々に協力いただくことで教育活動が充実し、基礎学力の定着や豊かな心の育成などの「生きる力」の育成に役立っている。
- ・地域総合防災訓練は、フリー参観日と抱き合わせて実施することにより、例年より保護者の参加数を伸ばすことができた。
- ・学校支援ボランティア募集案内を見直して発行し、応募者は19名に伸びた。

(2) 課題

- ・学校支援ボランティアの登録数は伸びたが、保護者中心に呼びかけていたため、図書ボランティアの読み聞かせなど人員を必要としている。地域へもさらに募集を広げ、人材登録のデータベースを充実させていきたい。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立桔梗野小学校
校長 四戸慶子

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回 ①実施日時 平成26年6月3日(火) 18:30～
②協議内容 ・委嘱状交付
・会則、組織に関する審議
・学校経営方針、重点施策等の説明および審議
- (2) 第2回 ①実施日時 平成27年1月16日(金) 18:30～
②協議内容 ・今年度の活動報告
・学校評価に関する説明および審議
・ボランティア活動の報告
- (3) 第3回 ①実施日時 平成27年2月24日(火) 18:30～
②協議内容 ・今年度の成果と課題の説明および審議
・来年度の教育計画についての説明

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) ボランティア集会 ①実施回数 2回
②構成メンバー ボランティア登録者・コーディネーター
校長・教頭・教務主任
③検討内容 ・活動についての打ち合わせ
・反省・改善点等の話し合い



12月16日、本校会議室で、21名の皆さんが参加してボランティア集会を行いました。「今年は、とっても学校に来やすい。」「学校に来るたびに子どもたちから元気ももらおう。10歳も若返った。」「学校に来る日をいつもとっても楽しみにしている。」等、温かい感想をいただきました。
今後も、桔梗野小応援隊としてお力添えをいただきたいです。

3 具体的な取組状況

○学習支援

校外学習引率(2・3・5年)	9月～12月 5回	各4人～7人
水泳学習見守り補助・着衣水泳参加	7月～9月 5回	1人
イラストクラブ活動補助	8/28	1人
1年生昔遊び支援	1/20	9人
音楽器楽指導補助	10月 6回	4人
すこやか会議参加	8/29	15人

5・6年生家庭科ミシン学習補助	10月～12月 9回	3～6人
5・6年生習字学習指導補助	1 / 16	6人
4年生安全マップづくり	11 / 11	9人
習熟度別学習丸つけ支援(4～6年)	1月～3月 5回	10人
5年生総合学習支援(郷土料理)	2 / 2・5・6	14人
百人一首暗誦の聞きとり	随時	6人

○環境整備支援

校舎周辺草刈り	6月～9月 2回	2人
雑巾づくり支援	8月 4回	1人
花壇の整備	4月～10月 随時	4人
コンクリート研り	11 / 11	1人
落ち葉はき・除雪	(随時)	3人

○行事支援

交通安全教室・学校行事受付接待(3人)・避難訓練参加(6人)

○安全支援

登・下校時の安全指導(毎日2人)・休み時間の児童見守り(随時)

○図書支援

毎週金曜日 本の読み聞かせ(6人)・11/28全校児童・地域園児対象「お話し会」(6人)

毎週月曜日 本の貸し出し(3人)・図書室整備(随時)

○部活動

部活動児童見守り(随時)

○その他

賞状名前書き(随時)・配布物仕分け(随時)

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 32人(保護者含む)
(2) 今年度ボランティア保険加入者数 7人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・地域密着型教育実施2年目。地域の方々から直接意見を聞くことにより、学校で把握しきれない子どもたちの様子や、子どもたちを見守る地域の組織について情報を得られるようになった。それぞれの立場で改善策を話し合うことにより、「学校・家庭・地域」がともに力を合わせて子どもたちを育てていこうという意識を高めることができた。
- ・ボランティアの方々のご協力により、子どもたちの学習や活動、教育環境などさらに充実してきている。
- ・「ボランティア依頼記入用紙」を作成したことで、コーディネーターが不在でも必要に応じてボランティアを依頼できるようになった。また、支援して下さったボランティアの方々の情報を記録しておくことで来年度の計画に生かすことができる。
- ・学校だよりやブログだけでなく、コーディネーター作成の「ボランティアカレンダー」や「ボランティアだより～ききょうの輪」の発行により、新規ボランティアの人数が増えつつある。また、ボランティアだけでなく、教職員の感想をボランティアだよりに載せたことで、お互いの感謝の気持ちを深めることができた。

(2) 課題

- ・今後もたくさんの方々の地域の方々や保護者から大きな力をいただけるように、わかりやすい説明と情報発信を継続し、さらに周知を図る。
- ・コーディネーターを複数体制にし、年度初めに大まかな活動計画を知らせることで、さらに活動の充実を図っていく。
- ・ボランティア登録メンバー同士が顔を合わせて親睦を深める機会を大切に、楽しみながら活動できる雰囲気づくりに努める。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立轟木小学校

校長 木田 邦彦

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回
- ① 実施日時 平成26年7月29日(火)
 - ② 協議内容 ア 委嘱状交付
イ 議事
 - ・ 会則の確認
 - ・ 会長・副会長指名, 挨拶
 - ・ 学校経営方針等について説明
 - ・ 審議
- (2) 第2回
- ① 実施日時 平成26年10月18日(土)
 - ② 協議内容 ア 議事
 - ・ ボランティア等による連携活動について説明
 - ・ 審議
- (3) 第3回
- ① 実施日時 平成27年1月14日(水)
 - ② 協議内容 ア 議事
 - ・ 学校評価の説明
 - ・ 連携活動の現状と課題の説明
 - ・ 次年度の予定に関する説明
 - ・ 審議

2 具体的な取組状況

(1) 部活動支援

- ・ 野球部, ソフトボール部に各2名のコーチを依頼。主にシーズン中の技術指導や大会参加の際の学校指導者の補助
- ・ 太鼓部に4名の指導者を依頼。月に1~2回程度, 土曜日又は日曜日に太鼓の演奏について技術指導

(2) 生産活動への支援

① 学校田での米づくり支援

5月~11月にかけて耕起, 代掻き, 田植え, 草取り, 稲刈り, 脱穀作業 約20名
その他に随時, 水管理や畦の草刈り

② 学校畑での作物栽培支援

5月～11月にかけて、畑の耕起、栽培している作物の栽培方法についての助言や各種作業の補助を主に児童の祖母1名に依頼

(3) 環境整備

① 5月18日(日)校地内草刈り・校庭整地作業・運動会準備 50名

(4) 夏休みプール監視

- ・市川中学校プール運営委員会として、プール開放の際の本校割当分の14回のプール監視
PTA会員48名全員及び職員9名

(5) 学習及び学校行事・PTA行事の支援

① 11月9日(日)「とどろきまつり」

- ・昔の遊びを通しての祖父母との交流活動に地域の祖父母 20名
餅つきの手伝いに保護者、祖父母 20名

- ・同日午後開催のPTAバザーは学年毎に出店を担当し、ほぼ全員の保護者が参加

② その他、交通安全教室やマラソン記録会、スケート教室などの補助として保護者が多数参加

3 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数 25人(保護者含む)

(2) 今年度ボランティア保険加入者数 24人

4 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・地域学校連携協議会の開催により、学校の運営方針や教育活動の状況を説明する機会が明確になり、地域関係団体との情報の共有が図られるようになった。
- ・地域の方々の学校への関心が高まり、協力・支援を得やすい状況が生まれてきた。
- ・地域の方々の支援をいただく中で、児童と地域の方の交流が図られ、児童の地域理解がより深まった。

(2) 課題

- ・児童数の減少、PTA会員の減少に伴い、地域民の教育活動への支援の必要性が高まること
が予想され、ボランティアの登録増を進める必要がある。特に、学習支援及び児童の安心・
安全に関わるボランティアの充実を図りたい。
- ・今年度は主に学校での活動への支援が主であった。次年度以降、地域の諸活動に子どもたち
がどのように関わっていけばよいか検討する必要がある。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立多賀小学校
校長 田名部 喜 郎

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回
- ①実施日時 平成26年5月22日(木) 11名参加
 - ②協議内容
 - ・委嘱状交付式(委嘱状交付, 校長あいさつ)
 - ・趣旨説明(校長)
 - ・会長, 副会長の指名, 会則承認, 会長, 副会長あいさつ
 - ・今年度の学校経営について(校長), 組織及び計画について(教頭)
 - ・協議(質問, ご意見)
 - ・市教委あいさつ(教育指導課指導主事 松橋祐哉先生)
- (2) 第2回
- ①実施日時 平成26年11月20日(木) 9名参加
 - ②協議内容
 - ・会長あいさつ, 校長あいさつ
 - ・平成26年度の現状について(校長), 第1回学校評価の結果等について, 第2回学校評価について(教頭)
 - ・協議(質問, ご意見, ご助言)
- (3) 第3回
- ①実施日時 平成27年1月27日(火) 9名参加
 - ②協議内容
 - ・会長あいさつ, 校長あいさつ
 - ・第2回学校評価の結果について(教頭)
 - ・協議(質問, ご意見, ご助言)

2 上記以外の会議の実施状況 開催はなし

3 具体的な取組状況

(1) 環境整備

- ①校地内の環境整備 平成26年5月18日(日)(PTA, 教職員, 児童約140名)
 - ・校地内の草刈り, 草取りや花壇の整備等
- ②学校田の管理・世話 平成26年5月~10月(保護者, 地域の指導者の方々)
 - ・学校田の日常的な管理(田おこし, 代かき, 肥料まき, 草刈り, 水管理, 薬剤散布等)

(2) 学習支援

- ①田植え体験学習 平成26年5月27日(火)(保護者10名, 児童100名, 教職員10名)
 - ・児童による学校田の田植え体験学習の補助
- ②稲刈り体験学習 平成26年10月21日(火)(地域の指導者1名, 保護者15名, 児童100名, 教職員10名)
 - ・児童による学校田の稲刈りの補助及び機械による稲刈り
- ③6年生鮭学習 平成26年10月より3月まで4回(市川漁協, 八戸水産事務所の指導)
 - ・6年生へ鮭の生態, 飼育, 放流, 食の指導・補助, 鮭学習会
- ④5年生しめ飾り体験学習 11月25日(火)(橋向生活改善グループ6名, 5年児童13名, 教職員3名)
 - ・5年生の稲わらを使ったしめ飾りづくり体験学習での制作指導



(5年生しめ飾りづくり)



(環境奉仕作業)



(稲刈り補助・機械刈り)

- ⑤計算スキルアップボランティア 平成27年1月21日～23日 (保護者4名)
 - ・計算練習の丸付けの補助
- ⑥読み聞かせボランティア 平成26年7月～27年2月(読み聞かせボランティア1名)
 - ・各学級ごとに朝学習の時間に読み聞かせを行う。(原則, 隔週で行う。)
- ⑦いちご学習 平成26年6月～11月 (地域の指導者1名)
 - ・いちごジャムづくり, いちご栽培体験, いちごハウス見学, いちごの収穫体験

(3)行事等補助

- ①津波対応校外避難訓練 平成26年6月4日(水) (警察, 地域諸団体9名, 保護者4名, 児童100名, 教職員10名)
 - ・大津波警報時に対応した八戸工科学院までの校外避難訓練の見守り, 歩行指導等
- ②校内マラソン大会 平成26年10月29日(水) (交通指導隊4名, 児童100名, 教職員10名)
 - ・マラソン大会時の交通整理, 安全確保・指導
- ③PTAバザーでの児童活動補助 平成26年11月9日(日) (保護者8名, 地域指導者5名)
 - ・餅つきの補助, 神楽演奏の補助

(4)地域とのかかわり(地域行事・伝統芸能継承・施設訪問)

- ①地域の行事である白髭神社例大祭相撲大会, 市川神楽奉納に参加している。地域の相撲愛好会や町内会の方のお世話いただいている。
- ②地域に伝わる伝統芸能「市川神楽」を地域と共に継承する活動を行っている。地域の方から指導を受けている。白髭神社例大祭, PTAバザーのおり披露する。
- ③毎年地域の高齢者対象の介護施設を4年生が訪問し, お年寄りとの交流を行っている。(学習発表会の劇, 手品, ダンス, 肩もみ)



(校内マラソン大会)



(読み聞かせ)



(市川神楽演奏)

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 6人(保護者含む)
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 0人(PTA安全互助会賛助会員に加入)

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・今年度の地域学校連携協議会は年3回実施することができた。町内会をはじめとする関係諸団体や保護者の代表の方から色々なご意見やご助言を伺うことができた。また, 委員の方からの学校関係者評価(数値での評価)をしていただくことができた。
- ・地域学校連携協議会の中で, 地域行事や安全・防犯, 防災, 保小連携等について話し合いを進め, 学校の教育活動に生かすことができた。
- ・コーディネーターの方からの地域の情報を得ることができた。

(2) 課題

- ・地域の様子や考えについて, 教職員が理解するために, 地域学校連携協議会と教職員との関わり方を工夫していく必要がある。
- ・教育ボランティアの活用を充実させていきたい。(活動内容, 活動範囲及びボランティアの方の確保)
- ・委員の方が協議会の日だけでなく, 色々な行事や活動場面で学校や子どもたちを見ていただけるよう働きかけを今後も続けていきたい。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立多賀台小学校

校長 八戸 邦彦

1 地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第1回 ①実施日時 平成26年 6月6日(金) 18:00~19:30

②協議内容

- ・委嘱状交付
- ・会則審議
- ・会長・副会長選任、あいさつ
- ・学校経営の説明
- ・今年度の協議会計画
- ・学校評価について



(2) 第2回 ①実施日時 平成26年10月24日(金) 18:00~19:30

②協議内容

- ・学校評価について(中間評価)
- ・今年度事業の状況

(3) 第3回 ①実施日時 平成27年1月21日(水) 18:00~19:30

②協議内容

- ・今年度活動お礼
- ・学校評価について
- ・今年度学校支援の成果と今後
- ・来年度の予定

2 上記以外の会議の実施状況

なし

3 具体的な取組状況

(1) 教育活動部会

① 学習活動支援

1年給食試食会・・・9/29 1回 保護者と給食センター見学後、給食試食 30人

2年親子料理体験・・・12/16 1回 親子でさつまいも料理 23人

3年地域安全マップ・・・9/26 1回 班ごとに危険箇所のフィールドワーク
地区防犯協会・保護者 10人

4年いのちのプロジェクト・・・9/26 1回 親子で命の誕生と命の大切さについて学ぶ
32人

5年学校田・・・田植え5/29 稲刈り10/10 庭じまい11/21
縄ない12/12

高屋敷町内・老人クラブ、保護者 延べ80人

6年縄文土器作り・・・10/28 1回 親子で縄文土器作り 22人

② 図書館整備・読み聞かせ

毎月2~3回 くまの会による朝の読み聞かせ(各学年) 5人

月1回 くまの会による昼休みの読み聞かせ 5人

ブックトーク くまの会 各学年1回 計6回 3人

随時、図書室整備 4人

③学校保健委員会

9 / 3 1回 姿勢について、市内校長による講演

児童163名 職員13名 保護者30名

④クラブ活動ゲストティーチャー

華道体験 茶道体験 1名

手芸指導 1名

(2)環境整備部会

花壇苗植え6 / 5 三丁目老人クラブ21名

運動会前環境奉仕 5 / 20 校庭・中庭等の草取り 40人

バザー前環境奉仕 11 / 1 1階窓ふき 50人

(3)安全安心部会

①交通安全指導

交通安全教室 4 / 9 1回 歩行訓練の安全指導、補助

交通安全協会・P交通安全母の会10名

②朝の立哨指導

毎朝 交通安全協会・交通指導隊 10名

③防犯パトロール

火・木 地区防犯協会 10名

④下校見守り

6月～11月 水曜日 下校時に見守る 保護者120名

⑤夏休みプール監視

夏休みプール開放日 120人

(4)部活動部会

部活動指導者 野球部8名 バスケ部3名

部活動下校見守り、試合引率、部活動親の会活動・会計

(5)交流連携部会

学区大運動会 5 / 25 多賀台地区夏祭り 7 / 20

地区防犯スポーツ大会 8 / 3 地区敬老会 9 / 8

市川地区ふれあい運動会 9 / 28

ニュースポーツ講習会 11 / 16 どんと焼き祭 1 / 12



4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数 150人 (全保護者含む)

(2) 今年度ボランティア保険加入者数 0人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

○従来からの取組がより軌道にのり、地域全体での見守りが行き届いている。児童は事故や犯罪に巻き込まれることがなく、安心・安全に過ごすことができた。

○各方面の方に委員になっていただいたことで、多くの意見を生の声で聞くことができ、学校への支援や応援を強く感じるようになった。

○新しい地域の取組を実施したり、地域の取組をPTAが引き継いだりと、地域とPTAの動きがより活発になった。

○学校が把握できていない学区の情報を得ることができた。

(2) 課題

○コーディネーターの人員を増やし、協力体制をより充実させたい。

○地域の教育資源や新たなボランティアを開拓する必要がある。

○外部人材の部活動指導者の不足により、教員の部活指導の負担が増している。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立豊崎小学校

校長 金 谷 誠

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回 ①実施日時 平成26年6月12日(木) 19:00～
②協議内容
・委嘱状交付
・会則及び組織に関する審議
・学校経営方針、重点施策の説明及び審議 等
- (2) 第2回 ①実施日時 平成26年12月16日(火) 19:00～
②協議内容
・学校の現状と課題の説明及び審議
・学校評価に関する説明及び審議
・情報交換 等
- (3) 第3回 ①実施日時 平成27年2月9日(月) 実施予定
②協議内容
・今年度の地域学校連携協議会の成果と課題の説明及び審議
・来年度の教育計画についての説明 等

2 具体的な取組状況

(1) 安全・安心活動

- | | | |
|-------------|----------------|--------|
| ・地区の巡回指導 | 毎週木曜日(6月～10月) | 毎回4～6名 |
| ・登校時の交通安全指導 | 4月8日～10日(火～木) | 約40名 |
| | 9月10日～12日(水～金) | 約40名 |

(2) 環境整備活動

- | | | |
|-----------------|----------|------|
| ・校庭整地 | 4月22日(火) | 1名 |
| ・運動会前の校庭の草取り | 5月11日(日) | 約50名 |
| 側溝の泥あげ | | |
| ・相撲大会前の土俵周辺の草刈り | 8月24日(日) | 約90名 |
| 土俵整備、校庭の草刈り | | |
| ・校庭の雪山づくり | 2月 | 2名 |
| ・駐車場の除雪 | 2月 | 2名 |

(3) 教育支援活動

- | | | |
|----------------|--------|----|
| ・田植えから精米までの米作り | 4月～11月 | 1名 |
|----------------|--------|----|

畑作物の栽培に関する活動支援

・七崎音頭指導	5月9日(金)	1名
・郷土学習会 JS 研修会	8月6日(水)	1名
・郷土学習 地域の方のお話	11月18日(火)	1名
・収穫祭(餅つき)活動支援	12月2日(火)	20名

(4)行事支援活動

・相撲の作法指導	8月29日(金)	1名
・相撲大会準備、運営、審判 後片付け	9月7日(日)	約40名
・相撲大会用のシート片付け	9月15日(月)	約30名
・マラソン大会巡視	5月17日(土)、10月28日(火)	各15名
・学習発表会後の後片付け	10月18日(土)	約30名

3 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 77人(全保護者を含む)
(2) 今年度ボランティア保険加入者数 0人

4 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・地域の歴史や文化に詳しい方を講師に、豊崎の歴史や伝説について講演していただいた。この研修は小・中ジョイントスクール事業でもあり、小・中の教職員と一緒に豊崎について学ぶ機会が持てたことは小・中の連携を深める上でも大変有意義であった。このことから教師の地域理解が深められ地域の良さに気づくことができたように思う。
- ・全校朝会で子どもたちに地域の方から、お話をしていただいた。「学校で、今学んでいることが将来の夢につながるから、今を大切にしてください」というメッセージは、子どもたちには改めて勉強することの大切さを気づかせ、子どもたちの心に強く残ったと思われる。
- ・収穫祭でもある「餅つき」には保護者を始め祖父母や地域のお年寄りも手伝いに来てくれている。つき方や餅ののし方を教えたり一緒に雑煮を作ったりと伝統食の継承と世代の異なる人たちの交流の機会となっている。

(2) 課題

- ・PTA 主催のバザーは地域の人もととても楽しみにしていることから、多くの人が参加・交流できるように持ち方・内容を工夫・検討していきたい。
- ・協議会は本校の教育活動を理解していただいたり貴重な意見をいただいたりできる場ととらえ、会議の持ち方や進め方を工夫していきたい。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立新井田小学校
校長 寺地 義道

1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- (1) 第1回 ①実施日時 平成26年 5月30日（金）18:00～19:30
②協議内容 ア 委嘱状交付
イ 会則の審議
ウ 正副会長の選任
エ 学校経営方針，児童生徒の現状等についての説明
オ 意見交換
- (2) 第2回 ①実施日時 平成26年12月16日（火）18:30～19:30
②協議内容 ア 学校運営状況の説明
イ 学校運営に対する質疑応答、意見交換
ウ 意見交換
エ 八戸市教育委員会から
- (3) 第3回 ①実施日時 平成27年 2月24日（火）18:30～19:30
②協議内容 ア 学校評価の総括
イ 次年度の計画の確認
ウ 意見交換

2 上記以外の会議の実施状況

コーディネーターの交代に向けて、校長・教頭とPTA三役で検討委員会を開いた。

3 具体的な取組状況

- (1) 図書支援 活動内容・・・本の貸出し・修理，図書室の環境整備，学級図書の入替え
期日，回数・・・毎週金曜日を基本（4月～1月末まで 計28回）
参加人数・・・登録者13名のうち1回3～5名参加
- (2) 環境整備 活動内容・・・校地内の草刈り・草取り
期日，回数・・・5月18日・8月24日 計2回
参加人数・・・累計65名参加
- (3) 安全指導 活動内容・・・登下校の安全指導
期日，回数・・・4月8日～11日（新入生下校時）、毎日登校時
参加人数・・・4月8日～11日 累計91名、登校時3名

- (4) 部活動指導 活動内容・・・卓球部の指導
期日，回数・・・週に1～2回程度
参加人数・・・登録者1名
- (5) 学習指導 活動内容・・・5学年総合的な学習の時間の指導
期日，回数・・・12月11日・15日 計2回
参加人数・・・累計7名参加
- (6) その他 コーディネーターによる地域学校連携協議会だよりの作成、発行

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 55人（保護者含む）
(2) 今年度ボランティア保険加入者数 40人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ①各学校の教育活動や児童生徒の状況等について、直接説明する機会を得たことで、情報交換の透明性を高め、双方の距離が縮まっていると受け止めている。
- ②地域の関係団体や保護者等の代表から、学校運営に対する意見を改めて聞く機会を得たことにより、自校の取組みを振り返り学校評価に活かせるようになってきている。
- ③コーディネーターの負担が大きくなるようにするとともに、各学校間やボランティアの人材確保及び連絡調整が円滑に進むように、公民館の主事を含むコーディネーターの複数体制が実現した。

(2) 課題

- ①教職員の校務分掌組織やPTA組織、PTA活動との関連性を図ることによって、より実質的な協働態勢づくりを推進していくことが重要である。そのために、企画推進部会並びに専門部会等の必要性や編成方法について引き続き検討する必要がある。
- ②児童会・生徒会活動等との関連性を図ることによって、児童生徒の意識を高めるとともに、地域の一員として、地域のために活動する機会を積極的に作りだしていくことが重要である。
- ③地域と連携した防災体制づくりや防災訓練の実施に向けて具体的に協議していく必要がある。

平成 26 年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立松館小学校

校長 田 村 元

1 地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第 1 回

- ①実施日時 平成26年5月30日(金) 18:00～19:30
- ②協議内容
- あ)委嘱状交付
 - い)会長挨拶(大瀧会長)
 - う)校長挨拶(大館中 高橋校長)
 - え)議事
 - ア)会則について
 - イ)正副会長選出
 - ウ)学校経営方針、児童生徒の現状等についての説明
 - エ)今後の予定について確認(新井田小→松館小→大館中)
 - お)校長挨拶

(2) 第 2 回

- ①実施日時 平成26年12月11日(木) 18:30～19:30
- ②協議内容
- あ)会長挨拶(大瀧会長)
 - い)校長挨拶(大館中 高橋校長)
 - う)議事
 - ア)学校評価の状況説明(新井田小→松館小→大館中)
 - イ)学校評価状況についての意見交換
 - ウ)今後の予定の確認
 - え)教育委員会講評
 - お)校長あいさつ

(3) 第 3 回

- ①実施日時 平成27年2月24日(火) 18:30～19:30

2 上記以外の会議の実施状況

特記事項なし

3 具体的な取組状況

事柄	期日	回数	参加人数	主な内容
クラブ活動 支援	8.28(木)、9.4(木)	2	2名	陸上競技指導
	9.18(木)	1	2名	県発明協会科学実験指導
	10.29(水)	1	1名	南部裂織体験

	1. 26 (月) 、 2. 9 (月)	2	4名	ネオホッケー指導
お話会	5. 9(金) 、 6. 16(月) 9. 1 (月) 、 11. 11(火) 3. 3(火)	5	16名	「紙風船」によるお話会、読み聞かせ
登校指導	4. 7(月) ～14(月) 9. 22(月) ～30(火) 12. 11(木) ～22(月)	19	保護者 延べ30名	交通安全母の会並びに保護者による朝の交通安全指導
米づくり 体験学習	6. 5(木)	1	10名	田植え体験
	10. 1(水)	1	20名	稲刈り体験
	10. 27(月)	1	12名	脱穀体験
行事支援	4. 30(水)	1	2名	臥龍梅の会
	6. 1(日)	1	約20名	運動会
	7. 9(水)	1	1名	短歌教室
	9. 5(金)	1	2名	陸上競技大会補助
	11. 25(火)	1	25名	閉校式典準備
	11. 29(土)	1	30名	閉校式典運営
	12. 12(金) 12. 22(月)	1 1	15名 20名	閉校式典片付け ありがとう収穫祭餅つき補助
環境整備	5. 18 (日)	1	90名	校庭整備

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 2 人 (保護者含む)
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 2 人
- ※地域密着型教育予算による保険加入者数

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ①本校の教育活動は、学校の特性から保護者及び地域の方々から様々な方面で支援を受けて成立している。多くの協力的な方々とかかわり合いの中で教育活動を展開していくことにより、子どもたちには安心感が生まれ、落ち着いた学校生活を送ることができた。
- ②今年度での閉校が決まり、児童、保護者への心の汲み取りに対して、多くの方々がかかわり合いをもつことで役に立とう、喜んでもらおうという取組を行ってくれた。児童は例年と同じく前向きに取り組むことができた。
- ③本校と新井田小との統合を大館地区全体で温かく見てくれたことに感謝したい。挨拶、言葉遣い、家庭学習など地域の課題に対して、子どもたちに力をつけることを念頭に指導してきた。学校評価でも地域との連携については高い評価を得ることができた。

(2) 課題

新年度から新井田小へ統合することにより、松館地区から新井田小への児童の安全な登校、大館学区が広がることで危険箇所等の再確認、松館地区の文化的人的財産の生かし方が課題であると考えます。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立旭ヶ丘小学校

校長 今井 裕一

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回 ①実施日時 平成26年 6月 3日(火) 18:30~20:00
②協議内容 委嘱状交付 会則の承認 会長・副会長の指名と挨拶
学校経営方針の説明 組織について
今年度事業計画 各支部・協会・子ども会の報告
- (2) 第2回 ①実施日時 平成26年10月 7日(火) 18:30~20:00
②協議内容 前期学校の様子 アンケートの結果説明 八戸市教育委員会から
教育支援ボランティアについて 地域での児童の様子
- (3) 臨時 ①実施日時 平成26年11月18日(火) 14:00~15:30
②協議内容 創立50周年記念事業について
- (4) 第3回 ①実施日時 平成27年 1月27日(火) 18:30~20:00
②協議内容 学校評価に関する報告と意見交換 地域密着型教育の活動報告
情報交換

2 上記以外の会議の実施状況

- ・特に開催していない

3 具体的な取組状況

(1) 教育活動部会

- ・平成26年 7月 2日 学校保健委員会主催「すこやか会議」
テーマ「読書で脳や心を元気に ～家での時間の使い方を考えよう～」
講師 大館公民館館長 高橋芳久 氏
- ・平成26年 9月17日 2学年 町探検
(ボランティア17名)
- ・平成26年11月14日 3学年「地域の名人発見」
(名人協力者8名 ボランティア8名)
- ・平成26年11月17日 4学年「地域安全マップづくり」
(ボランティア9名)
- ・平成26年11月20日 21日
6学年「職業体験学習」(協力事業所16か所 ボランティア5名)



保護者引率ボランティア

(2) 安心・安全部会（安全づくり）

- ・平成26年 4月14日 交通安全教室
〔地域住民ボランティア・保護者15名〕
- ・平成26年 5月 8日緊急時引渡し訓練
〔地域住民ボランティア8名〕
- ・平成26年 8月 9日 旭ヶ丘まつり
〔山車引き引率と夜間巡回に教職員参加〕



交通安全教室 地域・保護者指導支援

(3) 環境整備部会（環境づくり）

- ・平成26年 5月11日 校庭除草作業
〔児童・保護者・地域住民・教職員 計200名〕
- ・プールのトイレ手洗い場・管理人室屋根修繕〔保護者2名〕
- ・一輪車置場修繕〔保護者 5名〕



保護者 校庭除草作業

(4) 図書部会（心づくり）：読み聞かせ・本の修理・図書室整備

- ・平成26年 6月15日 〔保護者10名〕
- ・平成26年 8月26～28日〔保護者15名〕
- ・平成26年11月14日 〔保護者 9名〕
- ・平成27年 1月29日 〔保護者10名〕



八戸市図書館職員を講師に本の修理講習会

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 120人（保護者含む）
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 0人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・連携協議会理事会や学校保健委員会「すこやか会議」において、学校評価の中で比較的達成状況の低い読書について、話題に上げることとおして、学校・家庭・地域で読書の啓発を図る機会となった。
- ・安全マップ作りや職業体験など、校外学習を実施する際には、コーディネーターが窓口になり、地域事業所や引率補助者への連絡を密に行った。そのことにより、活動が安全に実施され、教育効果も上がった。

(2) 課題

- ・理事会での連合町内会長や地区安全協会、防犯協会などの責任者による話合いから、「地域の子どもは地域で育てる」という思いを強く感じる。地域全体による子どもの育ちへの支援や教育の振興による地域の活性化という点について、学校からの発信を継続し、信頼される学校づくりのための地域密着型教育を進めていかなければならない。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立市野沢小学校

校長 佐々木 典子

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回 ①開催日時 平成26年7月2日(水) 15:50～16:30
②主な内容 ・13:15～ 授業参観 ・14:10～ 全体会
・14:40～ 教育講演会 ・15:50～ 地域学校連携協議会

<協議内容>

- ア) 学校経営方針・重点施策について
- イ) 地域密着型教育の推進について・スケジュールについて
- ウ) 参観などされての感想・ご助言
- エ) 教育委員会からのご助言

- (2) 第2回 ①開催日時 平成26年12月2日(火) 15:40～16:30
②主な内容 ・13:55～ 授業参観 ・15:00～ 全体会
・15:40～ 地域学校連携協議会

<協議内容>

- ア) 前期の教育活動の進捗状況について
- イ) 学校支援ボランティア・地域連携について
- ウ) 子ども冬祭り・バザーについて
- エ) ご助言・情報交換など

- (3) 第3回 ①開催日時 平成27年2月13日(金) 18:30～
②主な内容 ・18:30～ 地域学校連携協議会

- ア) 今年度地域密着型教育取組状況について
- イ) 今年度の教育活動について
- ウ) 学校評価に関する説明及び審議について
 - ・学校目標達成状況について
 - ・評価報告書について
- エ) 平成27年度行事予定・理事について

2 上記以外の会議の実施状況

準備委員会・企画推進部会・専門部会等の開催はなし

3 具体的な取組状況

(1) 環境整備活動 (PTAや地域ボランティアで実施)

- ① 4月 6日(日) 学校横階段整備 (お父ちゃん会ボランティア)
- ② 4月20・22日 学校農園整地 (お父ちゃん会ボランティア)
- ③ 5月11日(日) 敷地内の草取り・側溝の泥あげ・ペンキ塗り (PTAボランティア)
- ④ 5月17日(土) 親子農園・運動会グラウンド整備 (PTAボランティア)
- ⑤ 6月29日(日) 敷地内の草取り・側溝の泥あげ (PTAボランティア)
- ⑥ 7月 8日(火) 花壇の花苗植え作業 (地域ボランティア)
- ⑦ 7月10日(木) 敷地内の草刈り (地域ボランティア)

- ⑧ 8月17日(日) 敷地内の草刈り(地域ボランティア)
 - ⑨ 9月7日(日) 校舎前の草取り(地域ボランティア)
 - ⑩ 9月9日(火) 敷地内の草刈り(地域ボランティア)
 - ⑪ 9月14日(日) 敷地内の草取り、木の剪定、側溝の泥あげ(P T Aボランティア)
 - ⑫ 10月16日(木) 花壇の花苗植え作業(地域ボランティア)
 - ⑬ 11月5日(水) 外灯増設作業(お父ちゃん会ボランティア)
 - ⑭ 11月16日(日) 校内の窓ふき・木の剪定・木の廃棄処理(P T Aボランティア)
- *その他、地域の方々による除雪作業

(2) 学習支援活動(地域ボランティアや地域施設との連携で実施)

- ① 4・5・9・10月 南中ソーラン・南郷音頭指導(地域ボランティア)
- ② 5月～11月 各学年の親子農園活動(P T Aボランティア)
- ③ 5月18日 運動会用具係補助(お父ちゃん会ボランティア)
- ④ 6月 3・5年ヒップホップダンス教室(公民館との連携)
- ⑤ 7月～11月 4年そばの学習指導(「山の楽校」との連携)
- ⑥ 9月 3年ブルーベリー料理についての学習指導(公民館との連携)
- ⑦ 9月 赤ちゃんふれあい教室(保健センターとの連携 地域ボランティア)
- ⑧ 11月～2月 読み聞かせ(南郷図書館との連携)
- ⑨ 12・1月 スケート補助(P T Aボランティア)
- ⑩ 1月 1・2・4年コンテンポラリーダンス教室(南郷文化ホールとの連携)
- ⑪ 2月 1年生昔遊び教室(老人クラブとの連携)

(3) 安全支援活動(地域ボランティアとP T Aボランティアの活動)

- ① 4月・9月 交通安全指導・安全教室補助(地域ボランティア・P T Aボランティア)

(4) 地域行事との連携(P T Aボランティアとお父ちゃん会・地域諸団体との連携)

- ① 1月 子供会冬祭り・バザー
(子供会・老人クラブとの連携・P T Aボランティア)

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 22人(保護者含む)
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 0人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ① 「ふるさと学習」を柱に地域機関や地域人材を広げ、連携して取り組むことができた。
- ② コーディネーターが地学連だよりを発行し、地学連の活動や学校での様子を地域に発信しているので、地域とのつながりをもつことができた。
- ③ 地域への活動として、クローバーズ・ピアへの慰問、全校のクリーン作戦(ゴミ拾い)の活動をすることができた。
- ④ 理事会を参観日に開催することで、学校での様々な活動を見ていただき、たくさんのご意見やご助言をいただくことができた。

(2) 課題

- ① 地域密着型教育コーディネーターの方が仕事のご都合で役を続けにくくなってしまったので、新しくご協力いただける方を見つけなければならない。
- ② ボランティアの登録と保険について、ボランティアの方を早めに把握する必要がある。
- ③ 統合に関わり、今後のあり方やメンバーなども考えていく必要がある。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立中野小学校

校長 佐々木 智子

1 地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第1回 ①実施日時 平成26年6月18日(水) 18時30分～19時30分

②協議内容

- ・委嘱状交付
- ・学校経営方針、今年度の学校目標の説明
- ・学校評価に関わる説明
- ・年間事業計画及び会則等の確認
- ・その他 情報交換など

(2) 第2回 ①実施日時 平成26年11月21日(金) 13時40分～15時00分

②協議内容

- ・学校評価アンケート結果及び説明
- ・本校教育活動に関する御意見・御要望等
- ・閉校、統合に関する意見交換
- ・その他 情報交換など

(3) 第3回 ①実施日時 平成27年1月28日(水) 18時30分～19時30分

②協議内容

- ・学校評価に関する報告、次年度の方向性及び意見交換
- ・次年度の事業計画の確認
- ・次年度の理事についての確認
- ・閉校、統合に関する意見交換
- ・その他 情報交換など

2 上記以外の会議の実施状況

(なし)

3 具体的な取組状況

(1) 行事等への支援 (PTA 及び地域諸団体)

- ① 学区合同運動会 H.26.5月 中野づくりの会…会場準備, 用具係, 各種競技等
- ② 学習発表会 H.26.10月 中野神楽保存会…中野神楽の指導(計15回)
- ③ 収穫感謝祭 H.26.11月 中野そばの会…そば打ち体験

(2) 農業生産活動への支援 (PTA 及び地域の有志)

- ① 学校農園整備 H.26.5 月 畑の耕耘, マルチがけ, 草刈り
- ② もち米づくり H.26.5 月～11 月 代掻き, 田植え, 管理, 稲刈り, 脱穀, 精米
※もち苗提供…中野稲作地域資源保全隊
- ③ そばづくり H.26.7 月～11 月 畑の耕耘, 種まき, そば刈り, 脱穀, 製粉

(3) 環境整備への協力 (PTA 及び学区住民 5 月, 8 月年 2 回, 延べ約 150 名参加)

- ① 奉仕作業
 - ・校地内草刈り, グランド整備等
 - ・花壇整備 ※花苗提供…なかの地域資源保全隊
- ② 清掃活動
 - ・体育館ギャラリー及び 1 階廊下大掃除, 窓ふき

(4) 安全・安心に関わる活動 (PTA 及び交通指導隊)

- ① 学区内巡視 夕方～夜間の巡回指導, 年 6 回
- ② 街頭指導 通学路交差点, 校門前における安全指導, 年 3 回 (4 月, 9 月, 12 月)

(5) 地域交流活動

- ① よさこいの出演…ピアドゥ祭り, 中野夏祭り
- ② PTA 主催レク…バス旅行 (7 月, おおのキャンパス, 約 50 名参加)
- ③ JS 事業…J S 講演会, J S 合同発表会, J S 授業研究会, いじめ根絶活動等
- ④ 収穫感謝祭…そば打ち, もちつき, 交流会, 会食, バザー
- ⑤ 中野神楽の披露…学習発表会, JS 合同発表会, 南郷区芸能発表会
- ⑥ 南郷アートプロジェクト…ダンス映画「あなたとわたし、ワルツ」製作, 上映会

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 0 人 (保護者含む) ※登録はしていない。
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 18 人 ※地域密着型教育予算による加入者数

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・保護者や地域と連携した農業生産的活動や奉仕活動, 伝統芸能の取組等, 様々な体験・交流活動は, 子どもの主体的な学びや豊かな情操に結びついている。
- ・地域学校連携協議会理事会における意見交換や情報交換等を通して, 学校と地域との意思疎通及び子どもの健全育成に関わる願い等の共有を図ることができた。

(2) 課題

- ・体験・交流活動等における地域協力者の高齢化への対応
- ・教職員の負担解消への対策
- ・閉校及び 3 校統合に関わる様々な課題への対応

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立鳩田小学校
校長 今 井 昇

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回 ①実施日時 平成26年6月26日(木) 14:00～
②協議内容 ○委嘱状交付式
○協議会
・趣旨説明
・議事(会長・副会長指名、会則、組織、学校経営)
- (2) 第2回 ※実施日程の都合上、統合準備委員会を協議会に代替え
平成26年11月13日(木) 18:30～
- (3) 第3回 ①実施日時 平成27年2月26日(木) 13:55～ 予定
②協議内容 ○学校評価について
・各アンケート結果から
・学校評価結果を受けての成果、課題、改善策等について
○来年度の教育課程について

2 上記以外の会議の実施状況

企画推進部会、専門部会、その他の部会とも開催実績なし

3 具体的な取組状況

- (1) 環境奉仕作業
・5月11日(日)と10月5日(日)の春秋2回
・各回とも約120名(保護者、学区民、児童、教職員)
・学校敷地内の環境整備(草刈、草取り、校庭整備、樹木剪定、校舎内窓拭き、校内照明清掃、スキー用ロープトウ設置及び撤去等)
- (2) 小学校・学区合同運動会
・5月18日(日) ・約200名(児童、教職員、保護者、学区民)
・鳩田学区推進協議会との共催。運営を学校と協議会(学区民)が分担し合い、お互い協力して行う。
- (3) 親子レクキャンプ
・7月19日(土)・20日(日)
・約90名(児童、中学生、保護者、学区民、教職員)
・親子で協力しながらテントを設営したり、夕食づくりをしたりする。また、キャンプファイヤーや花火、肝試し、スイカ割り、流しそうめん等の活動も行う。
- (4) 学校農園活動
・4月14日(月) 籾植え、5月1日(木) 農園(畑)開き、5月23日(金) 田植え、
9月19日(金) 稲刈り、10月16日(木) 脱穀
・約60名(児童、保護者、教職員、老人クラブ、サポートセンター虹、学校田・畑地主、水管理者)

・米づくりに関わる作業や畑の準備を保護者や学区民等の協力を得て行う。日常の水田管理は、PTA農園活動実行委員長さんや学区の方に協力をお願いしている。

(5) さわやかグラウンドゴルフ大会

- ・9月18日(木) ・約60名(児童、老人クラブ、保護者、教職員)
- ・鳩田学区推進協議会との共催で実施し、グラウンドゴルフを通してお年寄りとの交流を図る。子どもとお年寄りがチームを組み、教えていただきながら競い合う。

(6) 図書読み聞かせボランティア

- ・木曜日または金曜日の朝自習の時間(月2回程度)
- ・15名(児童、読み聞かせボランティア、教員)
- ・低学年を対象に読み聞かせを行っている。また、全校児童を対象に3回実施した。

(7) 収穫感謝祭

- ・12月5日(金)
- ・約80名(児童、保護者、地区えんぶり指導者、老人クラブ、学区民、サポートセンター虹、教職員)
- ・収穫したもち米を利用した料理を作り、学校農園活動でお世話になった方々に食べていただき、感謝の気持ちを表す。また、指導してくださった方や水田等を管理していただいた方に感謝状を贈る。

(8) 鳩田学区子どもえんぶり組の活動

- ・9月~2月 ・約60名(児童、中学生、地区えんぶり指導者、保護者、教職員)
- ・地区のえんぶり指導者や保護者の協力を得て、地区に伝わるえんぶりを練習し、学習発表会や中沢中学校区合同発表会、地域伝統芸能まつり等で発表している。

(9) ふるさとの味交歓会(予定)

- ・2月20日(金) ・約130名(児童、学区民、保護者、教職員)
- ・鳩田学区推進協議会主催の「ふるさとの味交歓会」へ全校で参加している。そば打ち体験をしたり、そば料理を食べたりしながら学区民のみなさんと交流を図っている。

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 6 人(保護者含む)
 - (2) 今年度のボランティア保険加入者数 0 人
- ※地域密着型教育予算による保険加入者数 0

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

鳩田小学校区には、以前より鳩田学区推進協議会があり、その中に学校やPTA(教職員、保護者)も位置付けられている。よって、学校と地区諸団体との連携が確立されており、学校の求めに対して地域の協力が得られやすい状況にある。また、それが自然な形で行われている。

(2) 課題

自然な形で行われているだけに、場合によっては学校側が状況をつかめずに戸惑う場面もある。特にポイントとなる行事については事前の打ち合わせを密にしていきたい。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立島守小学校
校長 荒内 信一

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回 ① 7月11日(金) 18:30~20:30 於: 島守中(26年度事務局校)
②【協議内容】
・委嘱状交付式(教育委員会)
・今年度の計画及び地域との連携事業についての説明(小・中教頭)
・今年度の教育方針についての説明(小・中校長)
・学校関係者評価についてのお願(事務局)
- (2) 第2回 ① 11月25日(火) 19:00~20:30 於: 島守中
②【協議内容】
・地域との連携事業についての中間報告(小・中教頭)
・1学期の児童・生徒・保護者・教職員アンケートの結果報告(小・中校長)
・アンケート結果等をもとにした話し合い
- (3) 第3回 ① 1月22日(木) 18:30~20:30 於: 島守中
②【協議内容】
・児童・生徒・保護者・教職員アンケートの成果と課題について(小・中校長)
・地域との連携事業について成果と課題(小・中教頭)
事前に「小・中学校学校目標の重点」についてのアンケート結果の資料を送付し、ご意見・助言をいただいた。

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) 企画推進部会 6月11日(水) 於: 島守中 19:00~
・小・中学校PTA会長・副会長(企画推進委員), 小・中学校長と教頭
・昨年度の振り返りと今年度の地域学校連携委員会のもち方
・昨年度の自己評価と学校関係者評価をもとにした改善の検討
・新委員の改選について

3 具体的な取組状況

(1) 教育関連事業

①生活科・総合的な学習の時間の支援

ア 生活科

- ・1年: 育てようさつまいもと野菜(地域の農業ボランティア のべ24名)
- ・2年: 町たんけん(菓子店・食料品店・自動車販売店・駐在所・郵便局・クリーニング店他)

イ 総合的な学習の時間(地域ボランティア・保護者 9回 のべ60人)

- ・3年: ソバひき(石臼)体験・ソバ打ち体験
- ・4・5年: 鮭の稚魚の飼育, 無農薬の米作り(地域の米作り名人と保護者)
- ・6年: 炭焼きの原理と技法, 炭焼き体験(炭焼き名人)

②学校行事への支援 (のべ65名)

- ・収穫感謝祭(餅つき等)
- ・学校田の管理(PTA5学年委員会を中心に)

(2) 環境整備事業 (のべ170名)

- ①奉仕活動(草刈り, 窓ふき作業)
- ②小川と池の清掃作業
- ③水車小屋, ミニ発電所の管理

(3) 文化事業

- ①島守小学校神楽クラブ(神楽保存会の皆様・教職員)(15回程度 各6名)
春まつり, 生き生きまつり, 南郷地域伝統まつり 練習と出演(演目は番楽と剣舞)
- ②えんぶり鑑賞会 (1団体 1回)
- ③ひなまつり会 (1回)

(4) 交流・連携事業

- ①小・中学校ジョイントスクール事業(相互の授業参観, 情報交換, 懇親会, 行事の相互参観)
- ②小・中合同の運動会の開催ならびに島守音頭での交流(1人×3回)

- ③保育所との連携事業（情報交換，行事参観）
- ④民生委員・児童委員との情報交換
- ⑤地域学校連携協議会及び小・中学校ジョイントスクール授業公開・研修会
- ⑥PTA研修旅行〈PTA，OB，小・中学校教職員〉
- ⑦子供会育成会バス遠足への参加
- ⑧各学年の親子学習会，校外学習への保護者のご協力

(5) 安全対策事業

- ①登下校時の指導と見守り（防犯協会，子供会世話人，駐在所長，交通指導隊，交母会）
- ②交通安全教室，交通安全キャンペーン（駐在所長，安協，交通指導隊，交通安全母の会）
- ③防犯教室（駐在所長）
- ④緊急時（猿の出没等）の安全見守り（駐在所長，交通指導隊，防犯協会）

4 ボランティアの状況

- (1) 保護者と地域の関係者全員が応援隊となっている。

※ 地域密着型教育予算による保険加入者数については，本年度はなし。

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ① 今年度は中学校が主担当であった。地域学校連携協議会開催の前に具体的な打ち合わせを行い，双方が共通理解した上で協議会に臨んだ。協議会（委員）がリードする部分と，学校側がお願いする内容を吟味した。
- ② 1回目の地域学校連携協議会の前に企画推進部会を開催し，組織・会則の見直し，委員の選定，今後の事業計画や運営のあり方について打ち合わせを行った。一昨年度から，オブザーバーとして企画推進部委員（小・中PTA副会長）にも声をかけ，協議会の内容を把握していただいた。
- ③ 協議会委員の方々には，学校行事の他，参観日，小中連携の学校公開日にも案内を差し上げている。今年度は，全員というわけにはいかなかったが，来校くださり，ふだんの授業のようすもご覧いただき，貴重なご意見をうかがうことができた。今後も，日常の児童の様子を理解いただいた上で，協議会の際の話合いにつなげていきたい。
- ④ 新委員の選定については，地域団体の役職に基づいて選任しているため，ほぼ半数が新たな委員となった。発足当時から委員がこれまでの経緯を説明するとともに，新たな委員がこれまでとは別の視点からご助言くださり，協議会の活性化につながった。
- ⑤ 3回目の協議会では，「学校目標に関する評価」についてコメントをいただいた。
 - ・参観した授業で複式学級の様子を見ると以前よりも落ち着いて取り組んでいる。他学年に先生がついていても，集中して課題を解いている様子をうかがえた。
 - ・めあての時間内に終わる習慣を身に付けさせることは大変効果的である。時間内にできていない児童の理由を考え継続して欲しい。また，家庭でできる対策があれば，取り組ませたい。
 - ・協力して学習を進めることはとてもよい。グループでの発表でもそれぞれが役割を果たしている姿を目にすることができた。
 - ・宿題を終わらせるだけで精一杯な児童もいる中，家庭学習を継続することで，苦手意識をなくし取り組めるようになってきている。ノートの展示や掲示を参考にすることで工夫することにつながると思う。

地域学校連携協議会を通して，委員の方々の子どもたちや学校に期待する思いと，今後，地域や家庭でできることを考えてくださる姿が印象的であった。

(2) 課題

- ① 島守小・中学校地域密着型教育推進事業では，保護者・地域住民・教職員が「島守ふるさと応援隊」として，子どもたちのためにボランティアを引き受ける組織になっている。しかし，日頃お世話くださっているボランティアの方々も地域の様々な団体の役職を兼務しているため，日程の調整等，継続的な人材の確保が課題となってきている。学校行事やPTA行事，日常の教科等の授業において協力していただく場面をさらに広げていくことが大切である。年度当初に年間の見通しをもって活用の工夫を図りたい。
- ② 時間を大切にすること，時間を守ることにについては，地域社会では当たり前のことである。小さい頃から同じ地域で育っている仲間であっても慣れ合いにならないよう，小学校段階から基本的な生活態度の一環として指導していく必要がある。
- ③ 暗くなるのが早い時期，部活帰りなど女の子の一人歩きも見られる。事情により迎えに来ることのできない家庭もある。防犯ブザーを常に携帯させているが，懐中電灯を持たせるなど継続的な防犯対策が必要であるとの意見も出された。
- ④ 協議会で話し合われた内容については，学校だよりを通して地域全体に紹介することを継続していきたい。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立第一中学校

校長 四戸 康雄

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回
- ① 実施日時 平成26年6月2日(月) 18:30～
 - ② 協議内容
 - ・委嘱状交付
 - ・学校経営方針説明
 - ・組織および活動方針
 - ・今年度の活動について
- (2) 第2回
- ① 実施日時 平成26年12月3日(水) 18:30～
 - ② 協議内容
 - ・今年度の活動報告について
 - ・「学校評価アンケート」結果について
 - ・意見交換
- (3) 第3回
- ① 実施日時 平成27年2月24日(火) 18:30～
 - ② 協議内容
 - ・来年度の学校経営方針の概要について
 - ・意見交換

2 上記以外の会議の実施状況

◇『地域密着型教育』合同会議及びプロジェクト会議

- ① 実施日時 平成26年6月25日(水) 18:30～
- ② 協議内容
 - ・全体趣旨説明
 - ・各プロジェクトの今年度の活動計画・活動方針の決定
 - ・共通理解

◇専門部会

- ① 学校行事支援プロジェクト(8回)
- ② 学校図書館支援プロジェクト(12回)
- ③ 環境整備支援プロジェクト(2回)
- ④ 情報発信支援プロジェクト(13回)

3 具体的な取組状況

(1) 学校行事支援

青葉湖ウォーク(1学年行事)の企画と支援、体育祭の企画・運営支援、授業支援(書写)、文化祭お掃除ボランティア、PTAバザーの支援、調理実習補助ボランティア

(2) 学校図書館支援

図書室整備、研修会(ブックトーク、本の修理の仕方)、図書ボランティア全体会

(3) 環境整備支援

校内環境整備活動

(校内ワックス清掃、校内タイル貼り、草取り、校庭整備、駐車場の整備等)

(4) 情報発信支援

地学連協だより「ブルースカイ」7回発行

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 56 人(保護者含む)
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 35 人
 - ※学校支援地域本部事業の予算による加入者数 35 人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

「地域密着型教育」に取り組み7年目を迎え、今年度、文部科学大臣より平成26年度優れた「地域による学校支援活動」の表彰を受賞することができた。これも、平成20年度、地域密着型教育を立ち上げてから本年まで、協力いただいている地域連携協議会の方々をはじめ、地域の方、保護者OBの方、そして現保護者の方のお陰と深く感謝している。

今年度も、引き続き、地域の教育力を生かすとともに、学校として、地域にいかに貢献するかを意識し活動を行った。総合的な学習の時間等を活用した学年ぐるみのボランティア活動が行われたことや、吹奏楽部などが地域の会合等に招かれ演奏を披露したり、放送委員がアナウンスを担当したりするなど、生徒や職員が地域に出向いて行う活動が定着してきた。

また、今年も学校行事の企画段階から地学連協の委員の方と情報の共有を図るなど、地域の方や保護者との連携も定着してきている。

(2) 課題

「地域密着型教育」の実践活動も軌道にのり、各プロジェクト等の取組の成果も安定したものとなっている。今後は以下の点について配慮しながら、継続して地域、家庭、学校が子育てを共有していけるよう取り組んでいきたい。

①本来に必要な活動を優先させ、できる事をできる時間にできる範囲で行う。

～生徒、地域、家庭、職員の負担を増やさない活動

②既存の活動を見直し、より有用的で効果的な活動を行う。

～継続性のある支援活動（継続的な学習支援等）

③地域、PTA OBの方の積極的参加を促すとともに、地域に還元できる活動を行う。

～今以上に、地域、PTA OBの方が足を運びやすい学校環境

今後も地域密着型教育の充実のため、できることを・できる時間に・できる範囲内で、細く・長く・楽しくをモットーに活動していきたい。

【活動のようす】



【地域密着型合同会議及びプロジェクト会議】

6月25日（水）



【青葉湖ウォーク】

7月27日（日）

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立第二中学校
校長 小笠原 徹

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回
- ①実施日時 平成26年5月28日(水)
16:00～17:00
 - ②協議内容
 - ア 会則の説明、承認
 - イ 正副会長の選任
 - ウ 学校経営方針等の説明(校長)
 - エ 質疑・応答
 - オ 今年度の計画について
 - カ 校長挨拶
 - キ 八戸市教育委員会から(永井指導主事)
- (2) 第2回
- ①実施日時 平成26年12月12日(金)
13:30～16:10
 - ②授業参観 1年生・2年生(グッジョブ報告会)の保護者参観日に併せ授業参観
 - ③学年集会参観 1学年の保護者集会を参観
 - ④協議内容
 - ア 学校評価アンケート結果について
・資料を基に説明(7月と11月実施から)
 - イ 質疑・応答
 - ウ 今後の予定について
- (3) 第3回
- ①実施日時 平成27年2月25日(水)
15:30～16:30(予定)
 - ②協議内容
 - ア 今年度のまとめ
 - イ 来年度の計画について
 - ウ 意見交換

2 上記以外の会議の実施状況

- ・今年度は特に開催していない。

3 具体的な取組状況

(1) 安全・巡回指導

- ・地区安全協会、防犯協会等による登下校時の安全指導、並びにPTA校外指導委員会による下校時の学区内巡回指導・七夕祭りや三社大祭の巡回を行っている。

(2) 環境整備

- ・PTAによる校地内草刈り作業を行っている。

- ・玄関前の花壇整備を行い、花壇コンクールに応募している。

(3) 広報・広聴活動

- ・コーディネーターによる「地学連協便り」の作成・発行を行っている。

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 0人
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 0人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ① コーディネーターが中心となり「地域密着型教育情報だより」(学校便りを簡潔にまとめたもの)を作成し、地域の回覧板に参加させてもらった。第二中学校区の両小学校のコーディネーターを兼務していることで、学区への情報提供がとてもスムーズにできた。
- ② PTAと連携して取り組むことで、地域・保護者・学校がよりよいつながりを持ち、活動することができた。
- ③ 昨年度秋から事業をスタートしたが、教育活動の説明や情報交換を行うことで、取組を振り返り学校評価等に活かすことができた。

(2) 課題

- ・昨年度からの課題であるが、本校生徒会で実施している三社大祭期間中の清掃活動やあいさつ運動など、地域の一員として地域のために活動する機会として、地域の方々と一緒に活動できるように工夫したい。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立第三中学校

校長 大塚 弘 昭

1 地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第1回

①実施日時 平成26年5月21日(水) 17:30~19:00

- ②協議内容
- ・委嘱状交付
 - ・柏崎小・第三中の学校目標と重点施策の説明
 - ・地域密着型教育の取組計画
 - ・各部会の取組予定についての意見・要望

(2) 第2回

①実施日時 平成26年12月2日(月) 18:00~19:00

- ②協議内容
- ・学校不適應を予防するための基礎学力の定着に向けての取組について
 - ・全員参加・全員理解の授業を目指した校内研修について
 - ・学校生活の充実・集団生活の適應を目指した取組について
 - ・学校評価アンケートの結果について
 - ・学校支援ボランティア活動状況について

(3) 第3回

①実施日時 平成27年2月4日(水) 17:30~19:00

- ②協議内容
- ・今年度の取組についてのまとめ
 - ・各部会の活動状況について
 - ・両校の来年度の教育計画について

2 上記以外の会議の実施状況

企画会 ①実施回数 5回

②構成メンバーの概要 PTA会長 PTA副会長 PTA監査 校長 教頭

③検討内容 専門部の取組状況及び今後の予定の確認

3 具体的な取組状況

(1) 安全安心部会

- ・青少年生活指導協議会…学期2回
- ・柏崎地区防犯協会…月1回
- ・柏崎地区安全パトロール協議会…下校時の巡回パトロール
- ・自主防災会との合同避難訓練…10/9
- ・柏崎地区防災訓練…11/10
- ・PTA校外指導委員会…市中体夏季大会前・秋季大会前・文化祭強化週間の巡視

(2) 環境整備部会

- ・校舎内生け花ボランティア…月3回程度
- ・校庭草取り・枝きり…8/24
- ・校舎トイレ扉ペンキ塗り…8/24

(3) 教育活動部会

- ・Dear Sanchu (部活動懇談会) …6/6
- ・部活動補助…バスケット、剣道、ソフトテニスでボランティア5名
- ・茶道指導 …10/6～10/19の支援(ボランティア1名)

(4) 学校図書館部会

- ・図書ボランティア…月2回程度

4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数 25人(保護者含む)

(2) 今年度ボランティア保険加入者数 19人

※学校支援地域本部事業の予算による加入者数

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ①グッジョブを通して、生徒は地域への感謝の心と自信をもつようになった。地域の教育力を実感できる取組であった。
- ②地域自主防災会との防災訓練は、実施に向けて地域と話し合いを重ねることで相互理解が進んだ。また、避難所や津波避難ビルとしての学校の機能について理解が進んだ。
- ③文化祭での発表に向けて、生活科学部が茶道の専門家の指導を受け作法の質が向上した。また、生徒とふれあうことを通して、ボランティアの学校理解が深まった。
- ④第2回地域学校連携協議会で、学校評価をもとに課題を明らかにすることができた。また、生徒を取り巻く環境が変化している中で、学校の指導だけでは生徒の育成や安全確保は困難であるので、地域との連携は欠かすことができないと実感している。
- ⑤学校日より、学校新聞及びPTA新聞を地域で回覧してもらうことにより、学校の理解を広げることができた。

(2) 課題

- ①第2回地域学校連携協議会では、生徒の将来を見据え中学校卒業後も力強く生き抜いていける「生きる力」を身に付けさせてほしいという地域の願いをお聞きした。教職員もその思いを大切にしていきたいし、生徒にも伝えていきたい。その思いが生徒の成長につながるような手だても考えていきたい。
- ②地域との共同の防災訓練は、訓練内容の充実と参加者の増加を目指して、連携あり方や訓練内容及び時期を検討しながら、来年度の訓練実施につなげていきたい。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立長者中学校
校長 石毛 清 八

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回
- ①実施日時 平成26年5月28日(水)
 - ②協議内容
 - ア 委嘱状交付式
 - イ 日程説明および出席者紹介
 - ウ 地域密着型教育についての行政説明(担当指導主事)
 - エ 校長の方針説明
 - オ 質疑・応答・協議(組織、会則、ボランティア募集など)
- (2) 第2回
- ①実施日時 平成26年7月8日(火)
 - ②協議内容
 - ア 学校評価(4月～7月)の結果についての説明
 - イ 学習の状況について
 - ウ 生徒の状況について
 - エ 意見交換および質疑・応答
- (3) 第3回
- ①実施日時 平成26年12月18日(木)
 - ②協議内容
 - ア 教育活動の反省について
 - イ 学校評価(8月～11月)の結果についての説明
 - ウ 生徒の状況について
 - エ 意見交換および質疑・応答
- (4) 第4回
- ①実施日時 平成27年2月2日(月)
 - ②協議内容
 - ア 学校評価について(学習指導面、生徒指導面)
 - イ 来年度の学校経営等について
 - ウ 来年度の行事予定について
 - エ 意見交換および質疑・応答
 - オ 来年度の地域学校連携協議会事業予定について

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) 委員による授業参観
- ①実施回数1回(7月の授業参観日)
 - ②地域学校連携協議会委員
 - ③授業参観と意見交換
- (2) 民生委員連絡協議会
- ①実施回数1回(9月30日に実施)
 - ②長者地区民生委員
 - ③授業参観と意見交換、給食の試食

3 具体的な取組状況

(1) 環境整備活動

- ・花壇整備（雑草除去、花苗植え付け作業）
- ・体育祭、文化祭前（校庭、校舎周辺の雑草除去作業）

(2) 生活安全活動

- ・長者小・凶南小・長者中の三校合同の生徒指導情報交換会（町内会、防犯協会、青少協、交通安全協会、中央交番の方々も含めての開催）
- ・市中体夏季・秋季大会、文化祭、市内祭り期間にあわせての見守り活動
- ・地域団体連携による巡視活動（毎週木曜日実施）

(3) 学校支援活動

- ・学年ごとに行われる季節を感じる会の準備及び当日の手伝い
- ・図書の本の整理・補修、本の廃棄処理、季節に合わせた図書室の環境整備
- ・部活動の指導（卓球、剣道、柔道、吹奏楽）

(4) P T A ・地域行事支援活動

- ・体育祭、文化祭での飲食販売等の企画、運営
- ・プリザーブドフラワーアレンジ講習会の開催
- ・区民運動会の準備、運営

4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数 12人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数 0人

※地域密着型教育予算による保険加入者数

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・地域学校連携協議会委員に学校関係者評価委員をお願いしており、教育方針や学校の現状及び学校が抱える課題を共有し、幅広い視点からご意見やご指導、励ましの言葉をいただき、学校運営の改善に生かすことができた。
- ・図書ボランティアの積極的な活用が図られ、長期休業中や昼休み、テスト週間中の図書室の解放、整備など計画的に進められた。
- ・地域学校連携協議会を通して、学校だより等の町内会・地域への配付がスムーズに進められるようになり、学校の取り組みや様子等を情報発信できるようになった。

(2) 課題

- ・地域の方からの意見や願いを収集し、双方向での情報発信など、より地域に根ざした取り組みを進めること、また、学習面、生徒指導面をこれまで以上に小中の連携を図りながら、地域密着型教育を進めていくことが必要である。
- ・保護者、地域住民の地域密着型教育に対する理解を深め、多くの方の支援ボランティアを募集していく必要がある。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立小中野中学校

校長 上野修子

1 地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第1回

①実施日時 平成26年6月5日(木) 19時00分

- ②協議内容
- ・会則について
 - ・会長及び副会長の選任
 - ・学校経営方針説明
 - ・今年度の事業計画説明

(2) 第2回(中学校評価委員会として実施)

①実施日時 平成26年12月15日(月) 17時00分

- ②協議内容
- ・学校評価アンケート評価結果説明
 - ・評価結果に対する質疑応答

(3) 第3回(予定)

①実施日時 平成27年 2月26日(木) 18時00分

- ②協議内容
- ・各プロジェクト活動状況及びボランティア活動状況報告
 - ・各校の教育活動状況について
 - ・次年度の計画についての確認

2 上記以外の会議の実施状況

開催なし

3 具体的な取組状況

(1) 図書室整備

- ① 図書ボランティア・・・通年週2回 火・金10:30～13:00 10人ほどが交替で参加。生徒の読書意欲向上のため、本の整理や季節の飾り付けなどを行う。

(2) 学習支援

- ① パパママ体験 7月9日(水) ボランティア8人
3年生3クラスに実施。保健士さんとともに妊婦体験や赤ちゃん人形を使っての育児を模擬体験。親の気持ちや命について学ぶ。保護者とボランティアで支援。
- ② コナチュウ未来への架け橋講座 ～ふるさとで働くプロフェッショナル(仕事人)に学ぶ～
8月～1月 7回実施

キャリア教育の一環として卒業生や小中野地区で働くさまざまな職業の方々を講師に招き、ミニ講演会を開催。コーディネーターに講師選定の情報や依頼、進行をお願いしている。

- 1 アイスホッケープロ選手 2 弘前大医学部学生 3 理美容学校生徒 4 子育て支援施設職員
5 歯科衛生士 6 ボクシングアマチャンピオン 7 外資系経営コンサルタント

- ③ 図書委員への読み聞かせ指導 ボランティア1人

(3) 地域連携プロジェクト

①小学校・小中野地区合同運動会への参加

②八戸小唄まつり参加

八戸小唄踊り練習会 7月17日(木) ボランティア 泉 珠峰社中 8人

8月26日(火) ボランティア 泉 珠峰社中 7人

③グランドゴルフ・将棋教室 による高齢者との交流

7月28日(月)、29日(火) ボランティア 20人

※グランドゴルフ・将棋教室のボランティアの方々を保護者参観日・立志式に合わせ2月4日(水)に招き、感謝の会を開く。

(4) その他・・・コーディネーターが直接かかわらない活動

①総合的な学習の時間支援

1年生 えんぶり、虎舞指導…小中野地区えんぶり組虎舞組による支援 9月～10月

2年生 グッジョブ事業所開拓 2学年PTA

②幼保ふれあい学習(家庭科)

3年生 学区内の3つの幼稚園、保育園で幼稚園教諭、保育士の指導のもと幼児教育の体験授業

4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数

15人(保護者含む)

(2) 今年度ボランティア保険加入者数

5人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

①献身的なコーディネーター、ボランティアに支えられ生徒は落ち着いた学校生活を送っている。地域の大人や高齢者とかわり合うことで、感謝の気持ち、小中野を愛する気持ちが育ってきている。生徒は八戸小唄踊り、グランドゴルフ・将棋への参加、1年生によるえんぶり、虎舞等の郷土芸能の継承に積極的に取り組んでいる。

②キャリア教育の一環として卒業生や地域の方々から講演をいただいた。身近な方々からの講話は、生徒にとって、より具体的に将来を考えることができた体験であった。

(2) 課題

①近い将来、生徒数の減少により、1つの学年でえんぶり、虎舞の両方の郷土芸能を継承することが困難になってくることが予想される。1、2学年合同で取り組ませる等の対策が必要となってくる。

②地域と学校が双方向から支援し、地域を活性化するという意図が理解されにくく、部活動等の忙しさもあって地域行事等への参加について職員は負担を感じている。職員の共通理解を深めていきたい。

平成26年度 「地域密着型教育」 報告書

八戸市立江陽中学校
校長 丸山 裕 治

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回
 - ① 実施日時 平成26年5月23日（金） 16:10～16:50
 - ② 協議内容
 - ・委嘱状交付及び会長の指名，副会長の指名
 - ・会則審議
 - ・昨年度の協議会活動報告
 - ・昨年度の学校経営・学校運営（小中両校長）
 - ・今年度の学校経営・学校運営（小中両校長）
 - ・今年度の協議会活動計画
 - ・協議会の役割を確認（学校経営・学校運営の点検と評価）
- (2) 第2回
 - ① 実施日時 平成26年5月30日（金） 16:30～17:40
 - ② 協議内容
 - ・5月23日の地域づくり会議で話し合われた各専門部会の現状・課題・改善点・提案についての報告と説明
 - ・報告された事業を，実施の有無，継続の有無，地域主催か学校主催のいずれで行うか等を話し合う。
- (3) 第3回
 - ① 実施日時 平成26年11月27日（木） 18:00～20:00
 - ② 協議内容
 - ・学校経営・運営の進捗状況報告（小中両校長）
 - ・今後の学校経営・運営事業について（小中両校長）
 - ・質疑応答（学校だよりを地域向けへの内容としても工夫はできないか，地域の遊び場の利用について，子育てに関する家庭の役割）
 - ・学校評価の依頼
- (4) 第4回（予定）
 - ① 実施日時 平成27年2月24日（火） 18:00～20:00
 - ② 協議内容
 - ・今年度の学校経営・学校運営（小中両校長）
 - ・来年度の学校経営・学校運営（小中両校長）

2 上記以外の会議の状況

- (1) 専門部会
 - ①実施回数 1回（平成26年5月23日）
 - ②構成メンバーの概要
 - ・町内会長・江陽地域各種団体長・両校の職員・両校のPTA役員
 - ③ 検討内容
 - ・各専門部会の現状・地域や学校の課題，要望，教育活動の提案）
（安全安心づくり・人づくり部会・まちづくり部会・健康づくり部会・環境づくり部会）

3 具体的な取組状況

- (1) 夏の交通安全街頭広報活動
 - 7月16日（水） ・1年生と2年生の有志と地域の住民 ・ラピア前の交差点で，ティッシュを配布しながら，ドライバーに対しての安全運転を呼びかけた。
- (2) 山公園の草刈り
 - 7月20日（日） ・全校児童生徒及び保護者，地域住民 ・山公園の草刈り作業を実施した。

- (3) 江陽おとぎの広場
7月26日(土) ・3年生有志 ・江陽児童館広場における地域の子どもたちに対する絵本の読み聞かせをおこなった。
- (4) 江陽中草刈り
8月24日(日) ・全校生徒, 保護者および地域住民 ・江陽中校地の草刈りと側溝の泥上げを行った。
- (5) 体育祭
8月30日(土), 31日(日) ・保護者および地域住民 ・前日の会場設営, 当日は運営協働者として, 出発係, 決勝係, 用具係, 救護係等, 職員とともに運営に関わった。
- (6) 江陽地区スポーツ交流会
9月7日(日) ・3年生 ・各町内の選手として参加。また, 生徒が競技種目を考案し, 元気に活動する姿を見せることで, スポーツ交流会を盛り上げた。
- (7) 江陽地区総合防災訓練
10月4日(土) ・部活動参加者 ・江陽地域自主防災会が主催する避難訓練。休日の避難対応訓練として, 出校している教職員並びに生徒の協力体勢を確認する。
- (8) グッジョブ
10月7日~10日(火~金) ・6日(月) グッジョブ出発式に出席 ・7日(火)~10日(金) 18事業所で体験学習。事業所事前打合わせは保護者の協力を得て行った。
- (9) 文化祭
10月15日(水)~18日(土) ・保護者が運営協働者として, 校内装飾係, 学年教科展の展示係, 演劇の大小道具係, 演劇の衣装係等を職員とともに運営。
- (10) 学校保健委員会
2月18日(水) ・小中合同。学校医・学校歯科医・学校薬剤師・町内連合会長・地域保健師・保育園長・健康づくり部会長・校長・教頭・保健主事・養護教諭が参加し, 児童生徒の健康教育, 健康管理についての話し合い。

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 11名
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 11名

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

例年行っている活動の他に, 今年度は, 青森県教育庁生涯学習課地域連携推進グループの「子ども発, 地域お助けレンジャー事業」に参加した。このお助けレンジャーに取り組んでからは, 新たな活動も生まれた。例えば, 生徒の一部が, 地域の児童館で行われた早朝の読み聞かせに主体的に参加したり, 地域のイベントのポスター作りも行った。更には, 文化祭が終了した頃から, 3学年が地域の清掃活動や放課後の児童館での手伝いなども行った。そのようなことから, 昨年度よりも一層地域とのつながりが深まったと言える。

(2) 課題

地域における生徒の活動を増やしたり, 地域の力を教育の場に生かすには, 工夫が必要である。例えば, 地域との窓口を校長自ら行うことで, より一層の連携や人材活用が有効に行われると考えられる。地域に足を運び, 地域の力を活用することで, 子どもたちの江陽への愛着心やボランティア精神を培うことができる。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立湊中学校

校長 北山 勝則

1 地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第1回 ①実施日時（小中合同）

平成26年5月26日（月）

②協議内容

- ・委嘱状交付
- ・会長指名、会長挨拶
- ・今年度の学校経営方針、活動計画について
- ・質疑応答、協議

(2) 第2回 ①実施日時

- ・第2回の協議会は特に設定しなかったが、12月から1月中にかけて、各学校評価アンケートの集計結果をもとに、連携協議会委員から感想や意見・要望等を聞き取ったり書面で回答してもらった。

(2) 第3回 ①実施日時（小中合同）

平成27年1月28日（水）

②協議内容

- ・平成26年度の教育活動について
- ・平成26年度の学校評価について
- ・平成27年度の検討課題・取り組みについて
- ・質疑応答、協議

2 上記以外の会議の実施状況

特になし

3 具体的な取組状況

(1) 学校行事支援

- ・避難訓練 湊地区の町内会長20名が参加。生徒との顔合わせと、町内ごとの危険個所の確認。
- ・文化祭 茶道ボランティア6名が参加。お茶室の運営。
- ・希望式 湊沖揚げ保存会による沖揚げ音頭・ソーラン節の指導。3学期に入り、4人が週3回程度来校して希望式で発表できるよう指導。

(2) 部活動支援

- ・バレーボール部、野球部、アイスホッケー部、総合文化部書道コースにおけるコーチ委嘱と技術指導。

(3) 地域交流活動

- ・リサイクル運動への地域からの回収協力。
- ・グッジョブウィーク推進委員会による地域の事業所開拓や受入依頼、巡回、記録。
- ・湊公民館への生徒作品出品。
- ・子ども会関連事業への生徒ボランティア派遣。
- ・各種地域行事における吹奏楽部の出演。

4 ボランティアの状況

- | | | |
|---------------------|----|---|
| (1) ボランティア登録現在数 | 10 | 人 |
| (2) 今年度ボランティア保険加入者数 | 10 | 人 |

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・作年度末に地域学校連携協議会を立ち上げ、今年度が2年目となる。もともと地域との結びつきが強かった地域であり、本事業の趣旨が各委員によく理解された上で活動することができた。
- ・地域学校連携協議会を通じて、学校の経営方針や取り組み、成果や課題等を理解してもらうことができた。また、学校運営に関して、多面的な意見や要望を聞くことができた。
- ・小・中合同で年2回総会を設けているため、9年間を見通した湊地区の学びの流れを委員全員で共有することができた。

(2) 課題

- ・地域密着型教育の趣旨について、委員以外の理解がまだ不十分な面がある。学校からの情報発信を積極的に進め、これから八戸市が目指す教育のかたちについて、意識を高めていく必要がある。
- ・地域の人材について、まだ活用し切れていない状況である。学校と地域の交流・協力関係が日常的なものとなるよう、コーディネーターや小学校とも連携しながら進めていきたい。また、ボランティアの受け入れだけでなく、中学校としても地域にどのような協力ができるか考えていきたい。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立白銀中学校

校長 佐藤 徳 則

1 地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第1回（白鷗小学校・白銀小学校と合同開催）

①実施日時 平成26年6月2日（月）18：30 白銀中学校

②委嘱状交付 教育委員会説明

③協議内容 会則の審議・承認、会長・副会長の指名、会長あいさつ、組織及び今年度の計画、学校経営方針、PTA活動計画

(2) 第2回（白鷗小学校・白銀小学校と合同開催）

①実施日時 平成26年11月12日（水）兼白銀中学校区JS

②白銀中学校区JS授業研究会・全体会・研究協議・分科会参加

③協議内容 各校取組状況、各校の学校評価

(3) 第3回（白鷗小学校・白銀小学校と合同開催）

①実施日時 平成27年1月21日（水）

②協議内容 今年度取組状況、来年度の計画等

2 上記以外の会議の実施状況

(1) 地域学校連携協議会企画・推進部会 3回

地域学校連携協議会の開催内容について

各校取組状況、各校の学校評価

(2) 地域学校連携協議会兼白銀中学校区JS「教育講演会」

（八戸学院光星高等学校 校長補佐 小野寺實 氏）

9月25日地域学校連携協議会委員、白銀中学校・白銀小学校・白鷗小学校教職員、保護者参加

(3) 地域学校連携協議会兼白銀中学校区JS「懇親会」

11月14日地域密着型教育取組状況の説明、地域学校連携協議会委員、白銀中学校・白銀小学校・白鷗小学校教職員参加

3 具体的な取組状況

(1) 環境整備部会

○校地内整備

①PTA、おやじの会、生徒による刈払い及び除草作業が計画されたが雨天のため中止

(2) 交流連携部会

○JS事業

①市中体壮行式を小学生が参観（白銀小、白鷗小：9月秋季大会）

②2年立志式参観（白銀小）、1年希望式（白鷗小）

○地域諸団体主催行事

①白銀地区三校合同歓送迎会（PTA）

②白銀地区五校連絡協議会（PTA、生活指導委員会）

③三嶋例祭への出店（PTA）と作品の出品（生徒）

④敬老会司会（生徒）、高齢者一人暮らし昼食会（生徒：50名）

⑤白銀祭りパレード（生徒）

⑥三嶋神社子ども祭り（生徒）

(3) 学習指導部会

○ J S 事業

- ①学習のきまり、家庭学習の推進（自主学習ノート）
- ②協同授業（小学校の体育、音楽の授業に本校教員が T T として参加）

(4) 生活指導部会

○ J S 事業

- ①あいさつ運動の推進
- 防犯パトロール
 - ①生活指導委員会：夏季・冬季休業、三嶋例祭
- 保護司との連絡会
 - ①保護司と 2 年生との合同学習会

4 ボランティアの状況

- (1) 今年度ボランティア保険加入者数 0 人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- 地域の方々に各校の学校の現状や課題を理解し、協力していただいている。
 - ①実践目標「あいさつ、ありがとう、はきものをそろえる」を協同実践し、白銀中学校区 J S との一体化の推進
 - ②地域学校連携協議会のポスターの掲示、地域学校連携協議会だよりの発行による、学校・家庭・地域の連携の推進
 - ③地域の行事との連携がスムーズに行うことができた。
 - ④ P T A の委員会の活動等にアドバイスをいただいた。

(2) 課題

- 「地域密着型教育」を通して、学校・家庭・地域がさらに連携・協力し、今後どのような課題に取り組んでいくのか明確にしていく必要がある。
 - ①実践目標「あいさつ、ありがとう、はきものをそろえる」がまだ十分ではないめ、今後も継続する。
 - ②学校の課題である読書の推進について、図書ボランティアの募集をしても集まったが、実際の活動等ができなかった。
 - ③コーディネーターと学校と地域・家庭との「つながり」をさらに強化する。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立白銀南中学校

校長 西山 康巳

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回 ①実施日時 平成26年6月12日(木) 17:30～
*協議会の前に委嘱状交付式を行った。
- ②協議内容
・会則について ・会長の指名 ・副会長の指名
・会長・副会長あいさつ ・組織について ・今年度の活動計画
・小学校・中学校からの説明(学校経営方針)
- (2) 第2回 ①実施日時 平成26年12月3日(水) 18:30～
- ②協議内容
・学校自己評価分析結果の報告
*白銀南小学校長から
*白銀南中学校から
・情報交換 登下校時のパトロールについて
- (3) 第3回 ①実施日時 平成27年3月23日(月)(予定)
- ②協議内容
・会長あいさつ
・今年度の「学校評価」報告
・活動報告
・平成27年度活動計画

2 上記以外の会議の実施状況

- (1)企画推進部会及び専門部会は、組織にないため開催せず。
- (2)授業支援と学校行事支援のボランティアに関しては、担当教員と事務局で打合せを行っている。
- (3)図書ボランティアに関しては、週1回の活動時に会議等を適宜行っている。

3 具体的な取組状況

- (1) 図書館整備
・蔵書整理 ・シール貼り ・図書館内環境整備 参加人数8名
*活動期間 平成26年4月25日(金)～平成27年3月
毎週木曜日または金曜日

(2) 授業支援

3 学年家庭科 保育（パパママ体験）

【実施時期】 平成26年12月17日（水）

【学習内容】 ・妊婦体験、赤ちゃんの抱き方、着替え等

【指導者】 ・保健師 坂本 正子 氏（八戸市役所健康増進課）
・子育てメイト6名（白銀地区子育てひろばほたる）

(3) 学校行事・文化関連行事

- ・体育祭入場門設置・撤去 ・文化祭PTA売店（おやんずの会、PTA OB） ・各種講習会
- ・2学年グッジョブ支援 ・地域福祉施設との交流（体育祭・文化祭） ・地域行事への参加
- ・白銀南公民館行事への参加（公民館まつり、演芸会、カルタ大会、敬老会等）

(4) 環境整備

- ・校地内除草作業 ・花壇整備 ・地区ごみ拾い活動

(5) 安全対策事業

- ・地域巡回（登下校時、夏季休業中、三嶋神社例大祭）
- ・挨拶運動

4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数 12人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数 9人

※地域密着型教育予算による保険加入者数

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・学校図書館整備では、季節に応じた飾り付けにより魅力ある環境となった。また、蔵書の整理が進み、読書指導に大いに役立った。
- ・体育祭では、昨年度よりも大きなパネルを作成していただき、係生徒が迫力ある絵を描くことができた。また、前日の入場門の設置も、専門的な技術をもった方たちが行ってくれた。
- ・3学年家庭科の保育の授業では、専門家の話を聞くことができたとともに、ボランティアの方々の支援により個別指導を充実させることができた。
- ・登下校時の安全指導などでは、情報交換会を通して地域住民と教職員の情報共有を図りながら協力体制をとることができた。

(2) 課題

- ・学習支援ボランティアの在り方やさまざまな活動に協力してくださるボランティアの方々をどのようにして募るのか、年度初めに検討する必要がある。
- ・活動のねらいを明確にし、教員一人一人や保護者、地域住民が参画意識をもつための手立てを構築することが課題である。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立鮫中学校

校長 小 原 寛

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回
- ①実施日時 平成26年6月12日
 - ②協議内容
 - ・委嘱状交付会則
 - ・組織に関する審議
 - ・学校経営方針、重点施策等の説明
- (2) 第2回
- ①実施日時 平成26年11月10日
 - ②協議内容
 - ・学校の現状と課題の説明及び審議
- (3) 第3回
- ①実施日時 平成27年1月22日
 - ②協議内容
 - ・学校評価に関する説明及び審議
 - ・今年度の成果と課題の説明及び審議
 - ・来年度の教育計画についての説明

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) 企画推進部会
- (2) 専門部会
- (3) その他

3 具体的な取組状況

(1) 図書室整備

実施期日： 毎週水曜日

実施回数： 25回

参加人数： 各回5～10名

内 容： 図書室整備

・図書のレイアウト・図書の分類整備・図書紹介・

(2) 除草作業

実施期日： 8月23日（雨天中止） ・ 8月24日 ・ 11月23日

実施回数： 3回

参加人数： のべ約50名

内 容： 学校花壇の除草作業・樹木の剪定・校庭の除草

(3) 運動会協働参加

実施日時：8月31日（日）8：30～15：00

参加人数：約50名

活動内容：○運動会種目への参加 ○テント設営及び撤収

(4) パパママ体験活動へのサポート

実施日時：10月9日（木）

参加人数：3名

活動内容：妊娠シミュレーションや育児体験のサポート

4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数 7 人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数 0 人

※地域密着型教育予算による保険加入者数

※学校支援地域本部事業の予算による加入者数

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

地域密着型教育により保護者や地域の方々と学校が接する機会が増した。そのことにより保護者や地域の方々の声や願いを聞く機会が増え、学校運営に反映しやすくなっている。保護者や地域の方々にとっても距離感の近い学校になっていると思われる。

地域学校連携協議会では、学校の経営方針、課題、取組等をよく理解していただけるようになった。その上で地域としての学校に対する願いを多角的な視点で提案していただいている。

これらの結果、学校と地域がともに学校づくりをしている実感を得られる場面が増えた。生徒たちも、保護者や地域の大人が身近にいることを自然に感じるようになり、学校、地域、家庭のどこにでも大人がいる安心感と大人への信頼が高まっているように思う。

(2) 課題

地域密着型教育の理念を地域全体へ広く広報していく必要がある。着実に広がってきているが、まだ学校に係る地域の方々や保護者に限定されている。より地域とともに築く学校であるためには地域全体への広報活動・啓蒙活動が必要と考える。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立南浜中学校
校長 佐藤 正 暢

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回 ①平成26年 7月3日(木) 19:00～20:30
②協議内容 ア 委嘱状交付
イ 会則(案)の審議
ウ 会長・副会長の指名
エ 学校経営方針・重点事項について
オ 生徒数の推移及び部活動について
カ 学力の状況
キ 生徒の1学期の様子
ク 今後の活動予定
ケ 意見交換



- (2) 第2回 ①平成26年12月18日(木) 18:30～20:00
②協議内容 ア 今年度の本校の取り組み状況等について
・生徒たちの様子
・学校評価に係わる保護者アンケート結果について
・その他(工事、来年度の新入生、部活動等)
イ 学校評価に係わる意見交換及び提言

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) 企画推進委員会 なし (2) 専門部会 なし (3) その他 なし

3 具体的な取組状況

(1) 教育関連事業

- ① 学校目標、学校運営に関する協議
- ② 学校評価に関する協議
- ③ 体育祭および文化祭の支援
 - ・ 受付接待 入場門設置解体 ふるさと踊りの指導
 - 各学年委員会による食堂等の運営
- ④ 入学式および卒業式の支援
 - ・ 受付接待 駐車場での交通整理

⑤活動の支援（通年）

・野球部 卓球部 ソフトボール部 陸上競技部

(2) 環境整備活動

①校地内草刈り作業（8月）

②花壇整備（5月～10月）

(3) 地域交流活動

①保護司と連絡会（11月）

②J S事業・・・J S受業研修会・全体会（5月）、スポーツ大会（7月）
芸術鑑賞教室（9月）、学区小6児童の中学校訪問（11月）

③大久喜小部活動支援 本校教員による陸上部児童の指導（7月～8月）

4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数 0人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数 0人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

①地域学校連携協議会が設置されたことにより、学校に対する要望や地域の方々の願いを直接聞くことができ、教育活動の改善に努めることができた。学校からの要望が地域に伝わりやすくなり、地区の婦人会の方々が、花壇整備をしてくれる等の活動につながっていった。

②地域の小中学校が抱える少子化の問題を何度も話題にすることで、地域の方々の思いや学校の状況等について、意義ある話し合いや情報交換ができた。

③本校の各種工事（プールサイド改修工事、校舎屋根改修工事、避難施設再生可能エネルギー等導入事業工事）について、地域学校連携協議会で説明でき地域の方に知らせることができた。

(2) 課題

①昨年度は、60周年記念事業という具体的な活動内容があったが、来年度以降の活動内容については、工夫が必要である。

②生徒たちの活動等を積極的に発信していく必要がある。また、生徒たちが、地域の一員として地域のために活動する機会をつくっていかなければならない。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立根城中学校
校長 中嶋 正喜

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回
- ①実施日時 平成26年6月12日(木) 13:30~15:00
 - ②協議内容
 - ・委嘱状交付
 - ・学校経営方針説明
 - ・組織、運営について(グッジョブ・ウィーク推進委員会含む)
 - ・事業説明(昨年度の成果と課題・今年度の事業計画)
 - ・学校評価項目等の提示
 - ・学校支援地域本部事業との連携の具体策
 - ・事業推進に向けた提言と要望
- (2) 第2回
- ①実施日時 平成26年11月25日(火) 13:30~15:00
 - ②協議内容
 - ・事業の進捗状況説明
 - ・グッジョブ実施報告
 - ・学校評価第1回結果公表
 - ・学校支援地域本部事業状況報告
 - ・生徒の状況報告
 - ・事業推進に向けた提言と要望
- (3) 第3回
- ①実施日時 平成27年1月28日(水) 13:30~15:00
 - ②協議内容
 - ・事業の成果と課題の説明
 - ・学校支援地域本部事業報告
 - ・学校評価第2回の報告と委員による評価

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) 学校運営協議会
- ①実施回数4回(5月、7月、11月、2月)
 - ②構成メンバーの概要
 - 校長、教頭、教務主任、各学年主任及び副主任、PTA会長及び副会長、PTA各学年委員長、学校支援地域本部コーディネーター 合計17名
 - ③検討内容
 - ・学習活動、環境整備、地域交流、スポーツ文化活動の具体的な進め方
 - ・学校行事、学年行事の運営
 - ・生徒指導面での学校、保護者、地域の連携

3 具体的な取組状況

- (1) 環境整備
- 環境厚生委員会…学校花壇整備
 - ・4月下旬の土起こしから11月初旬の花壇じまいまで、開催回数9回、参加人数のべ180名。
 - ・花壇コンクール 表彰式への出席
 - 総務委員会…親子による早朝除草作業
 - 実施計画についての会議4回、夏(5月31日)と秋(10月4日)の2回の作業には、延べ約800名が参加。

- 指導委員会…学区内及び近隣の祭りの巡視
巡視計画についての会議は2回、巡視活動には保護者延べ約100人が参加。
- 図書ボランティア…学校図書館の環境整備、図書登録、図書管理、貸出作業等
活動回数は53日、参加人数は延べ126人。

- (2) 地域交流
- 広報委員会－P T A新聞の発行
編集計画会議は15回、活動日数は15日、参加者は延べ約50人。
 - 2学年委員会－グッジョブ・ウィーク推進事業の推進
活動計画についての会議は4回、事業所訪問と打ち合せ。
 - 根城地区社会福祉協議会－敬老会(9月15日)の運営
運営についての会議は2回、前日の準備、当日の運営、後始末には、協議会委員、教職員、生徒ボランティアを合わせて、約630人が参加。
 - 合唱部 根城記念祭(5月22日)への出演(吟詠)
 - 吹奏楽部 史跡根城祭(10月11日)への出演(田面木小学校との共演)
 - 根城地区自主防災訓練(11月8日)への会場運営と生徒参加(生徒約50名)。
 - 根城地区運動会(9月7日)への生徒ボランティア参加(記録係4名)。
 - 田面木公民館祭(9月28日)への生徒ボランティア参加(4名)

- (3) スポーツ文化活動
- 部活動、「親の会」の組織
 - 部活動へのコーチ導入(14名)

※他に、学校施設開放事業や三社大祭、えんぶり、小中ジョイントスクール推進事業等、生徒や地域住民が関わる事業がある。

また、体育祭や文化祭、入学式や卒業証書授与式等、地域学校連携協議会の委員や保護者の多大な協力を得て実施している学校行事がある。

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 18人(保護者含む)
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 5人 ※学校支援地域本部事業の予算による加入者数

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・校内で地区生徒会を組織し、町内への意識を高めた。また、根城地区の自主防災訓練に中学生を少数ではあるが参加させた。今後、地区生徒会と町内会との交流を進めていきたい。
- ・地域交流等では、敬老会が定例化し、中学校の役割も明確になってきた。今後は、別の役割での参加も検討したい。
- ・公民館行事や地区運動会への生徒の参加は、環境整備次第で、参加を希望する生徒が多いことがわかった。
- ・地域学校連携協議会では、学校の経営姿勢に評価いただくとともに、たくさんの助言もいただいた。ここ数年挨拶について議論になることも多く、地域での生徒の挨拶の状況が芳しくないとの指摘も受けていた。協議会では、各町内への働きかけを進めていくとの提案もあった。今後も取り組みを深めていきたい。

(2) 課題

- ・27年度は、地域行事に積極的に参加できるような方策を探していきたい。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立白山台中学校
校長 長澤 良雄

1 地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第1回

- ① 実施日時 平成26年5月19日(月) 10:00~12:00
- ② 協議内容
 - ・委嘱状交付及び会長の指名、副会長の指名
 - ・会則審議
 - ・今年度の学校経営・学校運営(小中両校長)
 - ・今年度の協議会活動計画

(2) 第2回

- ① 実施日時 平成26年11月25日(火) 10:00~12:00
- ② 協議内容
 - ・学校経営・運営の進捗状況報告(小中両校長)
 - ・今後の学校経営・運営事業について(小中両校長)
 - ・学校評価結果(内部評価)の説明
 - ・質疑応答(知能検査と学力の状況、不登校の評価等について)
 - ・学校関係者評価の依頼

(3) 第3回(予定)

- ① 実施日時 平成26年2月23日(月) 10:00~12:00
- ② 協議内容
 - ・今年度の学校経営・学校運営(小中両校長)
 - ・来年度の学校経営方針・学校運営・行事予定(小中両校長)
 - ・学校関係者評価結果の説明

2 上記以外の会議の実施状況

なし

3 具体的な取組状況

(1) 地域を知る(1年)

- ・4月~12月(総合の時間)
- ・白山台のできた経緯や課題、中学生に望むことなどの講話(地域住民4人)
- ・白山台の魅力、環境、福祉、防犯、安全についてのインタビュー活動(53カ所)
- ・白山台の未来への提案発表会



(2) 地域で学ぶ(グッジョブ 2年)

- ・7月8日~10日(火~木) 1回
- ・51事業所(内19事業所が学区内)
- ・3日間の職場体験を通して社会性及び基礎的・汎用的能力を育成する。



(3) 地域をつくる(3年)

- ・5月~10月
- ・白山台山車のしぶきづくり(4000本)
- ・地域づくりボランティア活動(ニュータウンまつり、公民館まつり、公民館講座、芸能発表会)



- (4) 校地内の草刈り
- ・ 8月24日(日) 1回
 - ・ 生徒(158名)および保護者、地域住民(70名)
 - ・ 校地内の草刈り作業



- (5) 体育祭
- ・ 8月31日(日) 1回
 - ・ 保護者および地域住民(81名)
 - ・ 運営協働者として、出発係、決勝係、用具係、救護係等、職員とともに運営に関わる。



- (6) 文化祭
- ・ 10月16日～19日 1～4回
 - ・ 保護者(23名)
 - ・ 運営協働者として、校内装飾係、学年・教科展の展示係等、職員とともに運営に関わる。



- (7) パペットロボット公演会
- ・ 12月16日～17日 2回
 - ・ 学区内の2カ所の保育園で、パペットロボット公演会を開く。
 - ・ 3年生が学習成果の発表の場として、園長先生や保育士から、園児に分かりやすい演技や話し方の指導を受け、公演会で発表をした。



- (8) 部活動支援
- ・ 通年 50～100回程度 保護者、地域住民(6名)
 - ・ 部活動および大会等の支援

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数
募集を行わなかった。
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 0名

5 地域密着型教育の成果と課題

- (1) 成果
- ・ 運営協働者が行事などの学校運営に参画するメリットを、本校職員が理解し、必要感が高まった。
 - ・ 地域密着型教育の中で、キャリア教育を実践することができた。このことによって、地域密着型教育もやや推進することができた。
 - ・ 地域学校連携協議会委員による意見書(学校関係者評価)は、学校運営に対する真摯な意見や評価が多く見られた。
- (2) 課題
- ・ 保護者や地域の方々が地域密着型教育の趣旨(人材育成と地域づくり)を十分に理解できたとはいえなかった。今後は多くの機会を捉えて、さらに啓発し、成果を上げていきたい。
 - ・ 地域学校連携協議会会議における資料や評価内容等、小中で整合性をもたせたい。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立下長中学校

校長 田名部 直美

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回
- ①実施日時 平成26年6月11日(水) 18時30分～
 - ②協議内容
 - ・会則審議、会長・副会長の選出
 - ・学校経営方針について
 - ・協議会の日程について
 - ・情報交換
- (2) 第2回
- ①実施日時 平成26年9月9日(火) 18時30分～
 - ②協議内容
 - ・1学期の学校評価アンケート結果
 - ・1学期から夏休み中の生徒指導上の成果と課題
 - ・1学期中の主な支援事業
 - ・2学期以降の予定
- (3) 第3回
- ①実施日時 平成27年1月22日(木) 18時30分～
 - ②協議内容
 - ・学校評価の説明と質疑応答及び助言
 - ・生徒指導上の成果と課題
 - ・支援事業の報告
 - ・来年度の予定
 - ・その他(学校施設開放事業について、進路志望状況について)

2 具体的な取組状況

(1) 図書室整備

①活動期間

- ・4月25日(金)から開始し、昼休みに図書の貸出しが行われる日はほぼ毎日ボランティアが来校し、活動している。

②活動人数

- ・1、2学期で、延べ74名が活動している。

③活動内容

- ・主な活動内容は、貸出しの補助であるが、時期に応じた特集コーナーなどを設置するなど魅力ある図書室づくりに取り組んでいる。
- ・その他、図書室の整理や新規購入図書の登録などを学期末に行っている。

(2) その他の取組

① 学校行事への支援

- ・ 体育祭の準備後始末 8月31日(日) 約10名の保護者が協力
- ・ 避難訓練への協力 10月1日(水) 下長地区防犯協会が協力
- ・ 文化祭への食堂等出店 10月26日(日) 約100名の保護者が協力

② 校内外の環境整備等への支援

- ・ 学校前道路の舗装等の陳情 6月24日(火) 下長・河原木団地連合町内会長が協力
- ・ 校舎周辺の除草作業 8月23日(土) 約30名の保護者・地域住民が協力

③ その他の支援

- ・ JMS(ジョイントミーティング下長)あいさつ運動に下長地区青少協役員が協力している。
- ・ 市中体夏季大会と秋季大会の前後に、保護者と下長地区防犯協会が巡回指導を行っている。
- ・ 地域のお祭りの際にも、保護者と下長地区防犯協会による巡回指導を行っている。
- ・ 各町内会に依頼し、学校だよりを回覧している。

3 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 4人(保護者含む)
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 0人

4 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- 地域学校連携協議会では、学校及び地域における生徒の様子について、率直な意見交換を行っている。そのため、生徒及び学校に対して好意的な意見が多くなってきた。また、昨年度の青少年生活指導協議会で話題になった学校前道路の舗装や路側帯の整備についても、6月に学校と下長・河原木団地連合町内会長とが一緒に陳情した結果、2学期には舗装、路側帯の整備を実現することができた。
- 継続して行っている図書ボランティアの活動では、「生徒が立ち寄りたくなる魅力ある図書室」を目指して、ボランティアの方々が進んで工夫している。
- 学校評価アンケートでは、「学校はPTAや地域団体と連携して取り組んでいる」との質問に肯定的に回答した保護者が92.5%と非常に高い割合となっている。

(2) 課題

- 学校行事に協力したり、PTA活動に積極的に参加したりする保護者は増えつつあるが、決して多くない。今後は、学校行事等に無理のない範囲で保護者に協力・参加いただけるような工夫と、活動内容についてのさらなる情報発信が必要である。
- 「地域学校連携協議会」の開催時期や協議会での話合いの内容について見直し、整理していくことで、より充実した協議会となるよう工夫したい。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立北稜中学校

校長 畑 山 寿美子

1 地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第1回協議会

①実施日時

平成26年4月30日(水) 17:00~18:30

②協議内容

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| ア) 学区校長会長(北稜中学校長)あいさつ | イ) 正副会長指名及びあいさつ |
| ウ) 3校の学校経営方針等についての説明 | エ) ボランティア活用計画について |
| オ) 会則について | カ) 緊急時の対応について |
| キ) 評価分科会のメンバーについて | ク) 今後の予定について |

(2) 第2回協議会

①実施日時

平成26年9月4日(木) 17:00~18:30

②協議内容

- ア) いじめ防止に関する取り組みについて
○各校の「いじめ防止基本方針」といじめに対する具体的指導などの報告

(3) 第3回協議会

①実施日時

平成27年1月22日(木) 17:00~18:30

②協議内容

- ア) 学校目標評価について(概略の全体説明)
イ) 年度の日程について
ウ) 分科会(北稜中部会, 根岸小部会, 日計ヶ丘小部会)
○学校評価について
・自己評価と児童生徒・保護者アンケートの分析結果の説明と考察
・質疑応答と学校関係者評価

2 上記以外の会議の実施状況

運営委員会の実施(学区校長会を兼ねる)

(1) 第1回平成26年 4月14日(月) 9:00~10:00

(2) 第2回平成26年 8月25日(月) 15:00~16:00

(3) 第3回平成27年 1月15日(木) 14:00~15:00

3 具体的な取組状況

(1) 教育活動・学校行事・文化関連事業

- ・ 杵クラブ指導支援 ・ 1学年総合的な学習の時間ゲストティーチャー(杵の舞, お囃子等指導)
- ・ 杵衣裳及び小道具の修繕等 ・ 文化祭杵発表指導 ・ 体育祭入場門設置 ・ 体育祭根岸音頭指導
- ・ 2学年グッジョブ支援 ・ 3学年受検合格祈願餅つき会の支援 ・ 家庭科の授業として「幼児触れ合い体験」実施

(2) 安全対策事業

- ・ 地域巡回(市中体夏季大会及び秋季大会前, 夏季及び冬季休業中, 小田八幡宮例大祭)

(3) 環境事業

- ・校地内除草作業
- ・学校花壇整備

(4) 交流・連携事業

- ・北稜中学校区小中ジョイントスクール推進事業（各校授業参観，教員交流会及び懇親会，あいさつ運動）
- ・根岸地区運動会への参加
- ・子ども会関連事業への参加（スポーツ大会，サマーキャンプ，ウォークラリー他）
- ・根岸小吹奏楽部と合同による根岸公民館芸能発表会出演

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 68人（保護者含む）
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 0人（アスネットねぎし登録者を除く）

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

根岸地区の方々は、「地域の子どもは地域で育てる」という考えの下，三校（根岸小学校・日計ヶ丘小学校・北稜中学校）を「根岸の学校」として分け隔てすることなく支援や協力をしてくれる。特に，平成11年3月16日発足のボランティアネットワーク「アスネットねぎし」は，平成20年からスタートした学校支援地域本部事業でコーディネーターが設置されたことにより，さらに学校支援ボランティア活動が充実し，本事業に至っている。

このように，根岸地域の諸団体は結び付きが強く，今年度も地域が一体となって子どもの育成に取り組むことができた。また，地域の人材を子どもたちの教育に活かすことにより，子どもたちは地域の方々に対して尊敬や感謝の念をもち，一方地域のボランティアの方々にとっては，自分の特技を活かすことにより，生き甲斐や活力となった。

本校においては，開校以来の伝統となっている杣の継承活動において，地域から継続的な支援を受けることで，杣に関する知識が増し技能を高めることができた。今年度は，3月に1学年が杣の発表会を行うこととなっており，八太郎杣組をはじめ，地域の方々に周知してその成果を披露することができるものと期待している。

(2) 課題

今後，さらに活動を発展させていくためには，後継者を含め，より多くの人材を発掘していかなければならない。すでに根岸地区も世代交代が必要な時期に来ている。広報活動や日常的な教育活動を通して，保護者や地域住民が学校運営，児童生徒の教育活動に参画するという意識を醸成したい。コーディネーターを核とした人材の発掘にも積極的に取り組んでいく必要がある。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立是川中学校

校長 村上 哲 宏

1 地域学校連携協議会の実施状況

- | | | | |
|---------|-------|---|--------|
| (1) 第1回 | ①実施日時 | 平成26年6月4日(水) | 19:00～ |
| | ②協議内容 | ・委嘱状交付
・会長、副会長、会則の承認
・学校経営方針説明
・平成26年度計画説明 | |
| (2) 第2回 | ①実施日時 | 平成27年2月2日(月) | 19:00～ |
| | ②協議内容 | ・学校目標等に関わるアンケート結果の報告
・学校関係者評価
・27年度年間計画(案)の確認 | |
| (3) 第3回 | ①実施時期 | 平成27年3月中旬予定 | |
| | ②協議内容 | ・今年度の事業報告
・来年度の予定に関する説明及び審議 | |

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) 企画推進部会：なし
- (2) 専門部会：組織せず

3 具体的な取組状況

(1) 環境整備

- 7月6日(日)：校庭の草取り(保護者・生徒・教職員約160名参加)
- 10月18日(土)：校舎の窓拭き(保護者、生徒、教職員約140名参加)

(2) 夏季休業中

- 7月19日(土)～8月21日(木)：プール監視(保護者19名、教職員のべ19名)
- 校外巡視活動：3回。保護者、教職員のべ54名参加

(3) 体育祭関係

7月 9日（水）：是川音頭指導（是川音頭保存会から10名来校）

7月13日（日）：体育祭にて是川音頭を生徒と一緒に踊る（地域婦人会から18名来校）

(4) 野焼き

11月14日（金）：指導ボランティア4名参加

(5) 木彫テラコッタ展

2月27日（金）～3月1日（日）：多数の保護者が作品の搬出入、展示、受付等に参加予定

※2月27日は作品搬入と準備

4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数 120人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数 16人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・学校評価に関わる情報交換を通して、地域の方々が予想以上に学校や生徒に関して、関心と期待を持っていることが分かった。地域学校連携協議会は、三者が率直に意見交換ができる重要な会となっている。
- ・仕事等の都合もあり、祖父母世代との交流が親世代よりも強くなっている。自分の孫の活動を楽しみに学校へ足を運ぶ方々が増えてきている。

(2) 課題

- ・奉仕活動や巡回等、保護者との連携はできているが、地域（生徒が在籍しない家庭）との連携は不十分である。連絡の取り方や情報発信に工夫が必要である。
- ・公民館でのサークル活動と学校の活動をリンクさせたり、ゲストティーチャーの積極的活用を行ったり等、より地域の方々との交流を深めたいと考えているが、時間の都合が合わないのが現状である。長期休業等を有効に活用していきたい。
- ・学校・家庭・地域が連携・協力することでよりよい教育環境が提供され、子どもたちの「確かな学び」と「豊かな育ち」が保障される。まずは、学校の一番の応援隊であるPTAや地域の方々を学校に呼び込む工夫が必要である。また、「地域に対してできること」と「地域から応援してもらいたいこと」をはっきりさせ、明確な目的をもって取り組むことでより効果的な活動になるはずである。保護者や諸団体の教育力を子どもたちに還元するためにも、事務局（コーディネーター、教頭）の円滑な運営と的確な働きかけが大切であり、学校独自のシステムを構築していくことが急務である。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立三条中学校

校長 橋本 祝子

1 地域学校連携協議会の実施状況

- | | | | |
|---------|-------|---|-------|
| (1) 第1回 | ①実施日時 | 平成26年7月3日(木) | 18:30 |
| | ②協議内容 | ・会則審議
・役員選出
・昨年度の活動報告及び今年度の活動計画について
・学校経営及び組織運営について | |
| (2) 第2回 | ①実施日時 | 平成26年10月10日(金) | 18:30 |
| | ②協議内容 | ・いじめ防止に向けた取組状況について
・全国学力・学習状況調査の結果について
・生徒対象生活アンケートの結果について
・文化祭の売店運営計画について | |
| (3) 第3回 | ①実施日時 | 平成27年2月3日(火) | 18:30 |
| | ②協議内容 | ・学校経営の成果と学校課題について
・学校評価について
・次年度の教育課程の方針と学校行事の予定について | |

2 上記以外の会議の実施状況

- | | | |
|------------|-----------|---|
| (1) 企画推進部会 | 設置していない | |
| (2) 専門部会 | 文化祭食堂運営部会 | |
| | ①実施日時 | 平成26年10月10日(金)、17日(金) |
| | ②協議内容 | ・文化祭売店の運営について
・メニューの数量、値段、購入場所について
・ボランティアの確保について
・メニューの試食 |

3 具体的な取組状況

- | | |
|---|-----------|
| (1) 町内会との連携事業 | |
| ○地域ふれあい学習の実施 | 5月23日(金) |
| ・12の町内会から会長をはじめ計17名が協力 | |
| ・生徒が町内会ごとに別れ、各町内からのゲストティーチャーから講話をいただき、その後生徒と意見交換を行う。 | |
| ・具体的には、町内会の歴史や課題等の話を聞き、その後学区内の危険箇所を確認し、生徒から町内への要望、生徒が地域に貢献できることを話し合った。 | |
| ・同じ日に非常災害時を想定して、町内会別の集団下校を実施したが、一緒に帰ってくれるゲストティーチャーもいて、地域の方々に親しみを覚える生徒も多かった。 | |
| (2) 学校行事関連事業 | |
| ○文化祭売店の運営 | 10月25日(土) |
| ・卒業生の保護者4名で運営。前日の会場設営・準備の他、事前の打ち合わせを2日行った。 | |
| ・軽食販売と食事場所の提供、案内ポスターの制作、無料ドリンクの提供等を行った。 | |

(3) 安全対策関連事業

○登校時の交通安全指導

- ・保護者を中心に学校周辺及び校門付近でのあいさつ運動も並行して行う。
- ・計18日実施、1日約10人程度の協力者あり。

○地域のパトロール（夏季休業中、地域のお祭り時）

- ・学区内の巡回を月3回実施。長期休業中は週1回実施。平日は放課後活動が終了する18時30分から、休日は13時から、長期休業中は20時から実施。その他、各町内会のお祭りや宵宮等でも巡回を行っている。

(4) 地域交流事業

○上長地区安全・安心まちづくり大会への協力 10月13日（月）

- ・上長地区安全なまちづくり協議会主催の大会に生徒会ジャンプチーム9名、吹奏楽部20名が参加。
- ・八戸駅自由通路において、少年非行防止の宣誓、万引き防止広報活動、吹奏楽部によるアクションを披露。

○上長公民館芸能発表会への協力 11月9日（日）

- ・本校生徒6名が芸能発表の照明係としてボランティアで参加。

4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数 31人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数 4人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・昨年度から始めた「地域ふれあい学習」では、各町内会よりゲストティーチャーを招き、生徒が住む町内への理解と愛着を深めることを目的に実施している。ゲストティーチャーの講話の後には、町内の危険箇所を一緒に話し合ったり、中学生に何かできることはないか質問したり、生徒が町内の大人の方々と前向きに話し合える時間となっている。また、話し合いで確認された危険箇所について、すぐ修繕にあたってくださった町内会もあり、地域の温かさを実感することもできた。
- ・文化祭の軽食販売と休憩室の運営をコーディネーターと数名のボランティアの方々をお願いしている。3年前から始めているが、無理のない計画で順調に運営されてきている。それまでは昼食場所がなかったため、午前の部が終了すると、保護者はいったん自宅に戻ってまた午後來校しなければならなかった。以前から食堂等の要望はあったものの、保護者の鑑賞時間を十分に確保できないことから懸案事項として課題となっていた。PTAの各委員会も学校行事に積極的に関わっているが、十分に対応できないところにコーディネーターが対応してくれているので、学校、PTA、コーディネーターの三者が相互補完できるような体制を整えている。

(2) 課題

- ・コーディネーターは現在1人で行っているが、仕事も抱えその中で時間を調整して協力していただいている。本校の保護者はPTA活動に協力的であり、子どもが卒業してからでもPTA同士のつながりで学校と関わりをもってくれる方が多い。ただ、コーディネーターのようにある程度の責任が伴い、学校や外部との渉外等も増えるとなると二の足を踏むようなところが見られる。地域学校連携協議会がもつ地域とのネットワークを活用しながら、コーディネーターの人材確保を進めていきたいと考える。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立明治中学校

校長 三浦 一純

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回
- ①実施日時 平成26年6月3日(火) 18:00～
 - ②協議内容
 - ・委嘱状交付式
 - ・会則及び活動計画に関する審議、会長・副会長の選出と承認
 - ・地域学校連携協議会の組織について
 - ・明治小・中学校の経営方針・重点施策等についての説明及び審議
- (2) 第2回
- ①実施日時 平成26年12月2日(火) 18:00～
 - ②協議内容
 - ・学校評価に関する説明及び審議(説明と審議)
 - ・学校支援の進捗状況説明及び審議
 - ・来年度の予定に関する説明及び審議
- (3) 第3回
- ①実施日時 平成27年2月24日(火) 18:00～・・・(予定)
 - ②協議内容・・・(予定)
 - ・今年度の成果と課題についての説明及び審議
 - ・学校支援の成果と課題の説明及び審議

2 具体的な取組状況

- (1) 図書室整備
- ・毎週水曜日に2名で実施。図書の登録、廃棄、棚の整備、図書の紹介、季節に合わせて壁面を飾り付けるなど清掃もふくめた環境整備。
- (2) 環境整備
- ・PTA環境委員会・・・年2回の早朝奉仕活動(校地内の除草等)
全校生徒と保護者及び地域の方々に呼びかけ、約110名参加
 - ・体育祭前日の入場門づくり・・・早朝奉仕活動に来校したお父さん方の協力
 - ・校庭の除草作業・・・町内会有志の方々(地区運動会の前)
 - ・校地内の樹木の枝剪定・・・地元の老人クラブの協力

(3) 地域交流

- ・学区民体育祭への全校生徒・職員の参加（8月31日）
- ・館地区自主防災会総合訓練への参加（9月28日）

学区内の自主防災会、小・中学校、八戸消防署、八戸消防団館分団、水道企業団

(4) 部活動支援

- ・2つの運動部において3名の方にコーチを委嘱しており、どのコーチの方も大変に熱心で、個々の生徒の能力に応じた教育的配慮のある指導をしていただいている。
- ・夏季と秋季の市中体壮行式における保護者から激励の言葉をいただいた。

(5) 広報活動

- ・町内会を通して、学校行事の通知やボランティアの募集（枝の剪定）

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 2人
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 2人（学校支援地域本部事業の予算による加入者数）

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・地域の方々と一緒に行う行事が多いので、特に生徒は自分たちが地域へ貢献している、地域と関わりをもっているという意識が定着している。
- ・環境整備に関して、これまでは校内を中心に行ってきたが、昨年度に引き続き敷地内の樹木の伐採や松の木の剪定をし、長年放置してきたままのものを整備できた。
- ・学校評価を通して、学校を応援する声とともに、我々の姿勢を問われるようなこれまでにない厳しい意見をもらうことができ、今後の学校経営に大いに参考となる内容であった。

(2) 課題

- ・コーディネーターの後継者探しとボランティア人数の拡大。
- ・十分な予算の確保。
- ・コーディネーターの仕事内容について、もっと柔軟な取り組みができるように委員会側で規定等を改正してもらいたい。



平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立市川中学校

校長 馬 渡 教 二

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回
- ①実施日時 平成26年6月30日（月）18：30～
 - ②協議内容
 - ・委嘱状交付
 - ・会長の指名（校長）副会長の指名（会長）
 - ・会長、副会長あいさつ
 - ・学校経営方針・今年度の活動の状況等について
 - ・地域学校連携協議会組織・年間計画について
- (2) 第2回
- ①実施日時 平成26年12月12日（金）18：30～
 - ②協議内容
 - ・平成26年度の学校評価アンケートについて
 - ・学校経営方針・今年度の活動の状況等（中間報告）について
 - ・学校いじめ防止基本方針・生徒指導の状況について
- (3) 第3回
- ①実施日時 平成27年2月5日（木）18：30～
 - ②協議内容
 - ・学校経営方針・今年度の活動の状況等（最終報告）について
 - ・平成27年度の教育課程及び行事予定について
 - ・平成26年度の地域学校連携協議会の反省と課題について

2 具体的な取組状況

(1) 学校図書館支援（図書館ボランティア）

- ・月5回程度 3名
- ・図書館環境整備、蔵書整理、図書の貸出し・返却の補助、読み聞かせ など

(2) 環境整備支援（親父の会・PTA環境委員会）

- ・6月1日（日） 約40名参加 親父の会
害虫駆除作業、樹木剪定・伐採作業、校庭側溝泥上げ作業 等
- ・8月23日（土） 約50名参加 PTA環境委員会
校地内除草作業、校庭整地作業 等
- ・9月21日（日） 約30名参加 親父の会
テニスコート整地作業、校庭整地作業 等

(3) 学校行事支援

- ・8月31日（日）体育祭（PTA総務委員会・教養委員会）
来賓接待、熱中症対策 等
- ・10月26日（日）文化祭（PTA各委員会）
飲食販売、バザー、PTA作品展の企画・運営 等
- ・さわやか八戸グッジョブ・ウィーク（さわやか八戸グッジョブウィーク市川推進委員会）
事業所開拓、受入依頼、巡回指導 等

(4) 部活動支援（P T A部活動推進委員会・市川地区体育振興会）

- ・各部親の会の運営、各部運営支援
- ・運動部外部コーチの選出・依頼 等
- ・部活動反省会の企画・運営

(5) 地域行事支援

- ・親善スポーツ大会の運営（市川地区青少年生活指導協議会）
中学校区内の4小学校による、野球・ソフトボール・バスケットボール各競技の交流試合の運営 等
- ・ふれあい大運動会の運営（市川地域連合町内会）
中学校区内の4地区（小学校区）対抗運動会の運営 等

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 0人（保護者含む）
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 0人

今年度も、図書館ボランティア、部活動コーチの保険は昨年度までと同様に本校P T Aで負担している。来年度は、早めにボランティア登録をして地域密着型教育の予算で加入する。

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・地域学校連携協議会を実施することで、地域の関係団体や保護者等の代表から学校運営への意見や願いを聞くことができ、自校の教育活動を振り返り学校評価に生かせるようになった。また、学校の教育方針や教育活動の概要を説明することで、地域の住民や保護者の代表から、学校の教育活動全般への理解や協力を得ることができた。
- ・地域の諸団体の活動状況が把握できるようになり、学校と地域との相互協力体制が確立され、校内外の環境整備や諸問題の解決に対応できるようになった。今年度は、特に環境整備へ大きな協力と支援を得ることができた。
- ・各種の行事への参加に伴って、保護者の学校・地域社会に対するボランティアの意識が高まりつつある。
- ・地域連携協議会の開催を通じて、学校側と地域連携協議会委員との間で、本校の学校いじめ防止基本方針について共通理解を図ることができた。学校として、緊急時の組織的対応体制を確かなものにする事ができた。

(2) 課題

- ・コーディネーターの役割について、学校の教育活動との関連を図ったり必要性を考慮したりしながら、もう少し吟味していくことが必要である。来年度は、教育支援ボランティアの募集等について検討していきたい。
- ・学校の教育活動についての情報発信をさらに充実するように、その手立て等を、来年度検討していきたい。
- ・生徒会活動等との関連を図ることによって、生徒の意識を高めるとともに、地域社会の一員として、地域のために活動する機会を積極的に作りだしていくことが必要である。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立豊崎中学校

校長 星野 順子

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回 ①実施日時 平成26年6月12日(木) 19:00～
(小・中合同) ②協議内容
- ・委嘱状交付
 - ・会則及び組織に関する審議
 - ・学校経営方針、重点施策の説明及び審議 等
 - ・創立60周年記念事業の進捗状況と今後の予定についての説明
- (2) 第2回 ①実施日時 平成26年12月16日(火) 19:00～
(中のみ) ②協議内容
- ・学校の現状と課題の説明及び審議
 - ・学校評価に関する説明及び審議
 - ・創立60周年記念事業についての報告
 - ・情報交換 等
- (3) 第3回 ①実施日時 平成27年2月9日(月) 19:00～
(小・中合同) ②協議内容
- ・今年度の地域学校連携協議会の成果と課題の説明及び審議
 - ・来年度の教育計画についての説明 等

2 上記以外の会議の実施状況 特になし

3 具体的な取組状況

(1)安全・安心活動

- | | | |
|-------------|-----------------|--------|
| ・校外巡視活動 | 毎週木曜日(6月～10月) | 毎回5～6名 |
| ・夏休み夜間巡視活動 | 夏休み期間の月・水・金 | 毎回3名 |
| ・登校時の交通安全指導 | 9月10日(水)～12日(金) | 約6名 |

(2)環境整備活動

- | | | |
|----------------------------|----------|------|
| ・校庭整地 | 4月 8日(火) | 1名 |
| ・校庭整地 | 4月14日(月) | 1名 |
| ・樹木への薬剤散布 | 5月 2日(金) | 1名 |
| ・学校農園の耕畑作業 | 5月 7日(水) | 1名 |
| ・体育祭前の環境整備奉仕作業
草取り・石拾い等 | 5月11日(日) | 約70名 |
| ・樹木への薬剤散布 | 5月12日(月) | 1名 |
| ・校庭整地 | 5月19日(月) | 1名 |
| ・樹木伐採 | 7月 6日(日) | 1名 |
| ・校門、社階段、池改修 | 7月27日(日) | 20名 |
| ・相撲大会前の土俵整備、除草等 | 8月24日(日) | 約30名 |
| ・駐車場や通学路等の除雪 | 12月～3月 | 2名 |

(3) 教育支援活動

- | | | |
|----------------------------------|----------|----|
| ・実技教科における外部講師
「技術科」における木工加工指導 | 9月～10月 | 1名 |
| ・豆腐づくり | 2月 6日(金) | 1名 |

(4) 行事支援活動

- | | | |
|-----------------------|-----------|-----|
| ・相撲の作法指導 | 8月29日(金) | 1名 |
| ・相撲大会準備、運営、審判
後片付け | 9月 7日(日) | 15名 |
| ・文化祭屋台準備 | 10月24日(金) | 6名 |
| ・文化祭屋台、喫茶出店 | 10月26日(日) | 13名 |
| ・百人一首大会での昼食の提供 | 1月 5日(月) | 8名 |

4 ボランティアの状況

- | | |
|---------------------|--------------|
| (1) ボランティア登録現在数 | 75人(全保護者を含む) |
| (2) 今年度ボランティア保険加入者数 | 6人 |
| ※地域密着型教育予算による保険加入者数 | 6人 |

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・豊崎中学校区として地域密着型教育を実践してから3年目となり、お互いの活動も把握でき、共通の取組もスムーズに行われている。
- ・第2回目の地域学校連携協議会では、事前に委員の方々に資料を配布し、目を通してきていただいたことにより、限られた時間の中で、学校の状況や学校が抱える問題に対し理解を示していただいた。また、非常に建設的な意見もいただき、今後の学校運営の糧にすることができた。
- ・地域密着型教育に取り組むことにより、多くの地域の方々が小・中学校の教育活動を支えてくれていることを改めて実感できた。それと同時に、少しでも学校のために協力をしたいという気持ちを持っている地域の方が多いことにも驚かされた。学校・地域・家庭の連携をさらに強化し、学校に対する垣根を取り払っていきたい。
- ・地域学校連携協議会のメンバーに学年委員長である母親がいることにより、学校に対する保護者の生の声を聞くことができています。

(2) 課題

- ・自己都合により、年度内途中で辞任を申し出た委員や仕事の都合で会議に参加できない委員がいたため、次年度の協議会の委員を決定する際には、確実にお願いできる方を選出したい。
- ・地域学校連携協議会での協議内容は、教職員には会議等で伝達し、共通理解を図っているが、保護者や地域の方々に対する情報発信も随時できるように検討していきたい。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立大館中学校

校長 高橋 亨

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回 ① 実施日時 平成26年 5月30日(金) 18:00~19:30
② 協議内容 ア 委嘱状交付
イ 会則の確認
ウ 正副会長の選任
エ 学校経営方針、児童生徒の現状等についての説明
オ 意見交換
- (2) 第2回 ① 実施日時 平成26年12月16日(火) 18:30~20:00
② 協議内容 ア 学校目標等に係る自校評価結果の説明
イ 自校評価に対する質疑応答、意見集約
ウ 指導・助言(八戸市教育委員会)
- (3) 第3回 ① 実施日時 平成27年 2月24日(火) 18:30~20:00
② 協議内容 ア 学校評価の総括
イ 次年度計画の確認
ウ 意見交換

2 上記以外の会議の実施状況

企画推進部会及び専門部会については、設置していない。ボランティア活動やPTA活動、生徒会活動等との関連性や方向性とあわせて、その必要の有無を検討しているところである。

3 具体的な取組状況

(1) 環境整備

- ① 図書支援・・・・・・・・蔵書の修理及び整理、新書の登録等(毎週金曜日)
活動回数 10回、活動延人数 67人
- ② 草刈り・草取り・・・・校地内草刈作業
活動回数 2回、活動延人数 132人
校地内草取作業
活動回数 2回、活動延人数 128人

(2) その他

- ① 学校行事・・・P T A (O B)による体育祭時の校庭整備作業、駐車場案内
- ② 協働事業・・・大館公民館と連携して「SNS 講演会」の実施、「大館地区街づくりゼミナール」への参加
- ③ 巡回指導・・・P T A (O B)による下校時の学区内巡回指導
- ④ 情報発信・・・コーディネーターによる地学連協だよりの作成、発行

4 ボランティアの状況

- | | | |
|-----------------|------|-----|
| (1) ボランティア登録現在数 | 草刈り | 30人 |
| | 草取り | 17人 |
| | 図書支援 | 7人 |
| | 合計 | 54人 |
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 30人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ① 各学校の教育活動や児童生徒の状況等について、直接説明する機会を得たことで、情報交換の透明性を高め、双方の距離が縮まってきていると受け止めている。
- ② 地域の関係団体や保護者等の代表から、学校運営に対する意見や願いを改めて聞く機会を得たことにより、自校の取組を振り返り学校評価に生かせるようになってきている。
- ③ ボランティアに係る人材確保及び連絡調整が進み、ボランティアによる支援が定着してきている。
- ④ 今年度はコーディネーターが3人体制となったため、各学校との連絡調整が円滑に進むようになった。

(2) 課題

- ① 教職員の校務分掌組織やP T A 組織、P T A 活動との関連性を図ることによって、より実質的な協働態勢づくりを推進していくことが重要である。そのために、企画推進部会並びに専門部会等の必要性や編成方法について引き続き検討する必要がある。
- ② 児童会・生徒会活動等との関連性を図ることによって、児童生徒の意識を高めるとともに、地域の一員として、地域のために活動する機会を積極的に作りだしていくことが重要である。
- ③ 地域と連携した防災体制づくりや防災訓練の実施に向けて具体的に協議していく必要がある。
- ④ 地域密着型教育の推進が、教職員や生徒、保護者の過度な負担にならないよう留意して進めていく必要がある。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立東中学校
校長 戸 来 忠 雄

1 地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第1回

①実施日時 平成26年6月11日(火) 18:30~20:00

②協議内容

- ア 委嘱状交付
- イ 会則について
- ウ 会長・副会長の指名
- エ 学校経営方針の説明
- オ 平成26年度の組織と事業計画についての説明

(2) 第2回

①実施日時 平成27年1月15日(木)

※資料を配付し、検討いただく。第3回協議会にてご意見、学校評価をいただく。

②配付資料内容

- ア 今年度の事業推進状況について
- イ 今年度の学校アンケート調査のまとめについて
- ウ 来年度、学校行事予定表について

(3) 第3回(予定)

①実施日時 平成27年2月24日(火) 18:30~20:00

②協議内容

- ア 今年度の事業報告
- イ 学校評価の説明
- ウ 来年度の学校経営について

2 具体的な取組状況

(1) 演技会・芸術鑑賞会の地域への公開

学校と地域学校連携協議会、町内会が協力し、生徒・保護者だけでなく、町内会回覧で地域の方々にも参加を呼びかけた。

①10月10日、東中芸術鑑賞教室「青森山田高等学校新操部演技会」を東体育館で実施。東中生徒494名の他、地域の皆様、学区小学生、グッジョブ受け入れ先介護施設入所・利用者の皆様など1200名を超える方々に来場いただいた。



1,200名を超える児童生徒と地域の皆様

②12月2日、NPO法人「地球のステージ」桑山紀彦氏、語りと音楽、映像によるコンサート形式「地球のステージ1」、地域の皆様約30名来場いただいた。

(2) 地域防災会との連携

- ①本校避難訓練における湊高台地区防災会の皆様の見学(6月5日東中グラウンド)
- ②湊高台地区自主防災会資機材小屋を校地内体育館脇に設置。(平成25年度より)

(3) 地域貢献活動

地域の要請に応じて、生徒が「地域貢献活動」を展開した。

①東運動公園、東運動公園前地下道、国道45号線沿い歩道のゴミ拾い活動(7月2日、全校生徒参加)

- ②地域行事への参加、老人介護施設訪問（旭ヶ丘地区芸能大会「Yosakoi ソーラン」披露、ボランティア委員による施設訪問と行事のお手伝い）
- ③地域行事における吹奏楽部の演奏協力
 - ア 八戸公園での春まつり（4月29日）、縄文鍋まつり（10月13日）
 - イ 湊高台地区運動会で入場曲、君が代、ラジオ体操の演奏（8月24日、東中学校グラウンド）
 - ウ 養護学校での演奏（八戸第一養護学校いちい寮文化祭）
- ④東公民館への協力（つつじ祭り6月1日、公民館祭り10月4・5日ボランティア委員の運営協力、技術科授業作品出品、総合文化部お茶席お手伝い）
- (5)図書室整備（保護者、地域の方に図書室整備ボランティアを募り3名の協力を得る。第2・4水曜日活動）

3 教育ボランティアの状況

- (1) 登録現在数

図書室整備	3人（保護者含む）
部活動外部指導	24人
- (2) 保険加入者数

	24人（学校独自の任意保険に加入）
--	-------------------

4 地域密着型教育の成果と課題

- (1) 成果
 - ①学校行事を積極的に公開し、地域の方に多数参加いただいた。
 - ②無理のないスムーズな事業展開を図ることを主眼とし、既存の学校組織、行事を活用し、地域との交流及び活動への協力参加ができた。
 - ③専門部会等は設定せず、担当者（教頭）とコーディネーターを中心に事業を推進したことから、一般教員に負担を感じさせることなく事業を推進することができた。
 - ④学校行事への地域の方々の参加、地域行事への協力活動を実践する中で、地域の方々の学校に対する好意的意見をいただき、生徒理解が図られた。
 - ⑤地域行事や地域施設への生徒ボランティアにより、地域の方との交流が深まり、また、生徒たちが地域の方々から感謝の言葉をいただいた。
- (2) 課題
 - ①「地域のために学校が何をできるか」と「地域（住民）に何をしてもらいたいか」を地域の方々と考えながら取り組んできたが、地域の期待に添えないことや時期的に生徒協力ができない場合があり、地域連携協議会などで地域の方々に理解を求めながら事業を推進しなければならない。
 - ②地域密着型教育について学校だよりやブログ、ホームページでの情報発信が不足していた。来年度は、積極的な広報活動を展開していきたい。
 - ③地域の方々の学校への継続的なボランティア（図書室整備、花壇整備、環境整備、学習支援など）が少ないので、募集方法などを工夫し、協力を求めたい。



公民館への協力



地区運動会への演奏協力



地域芸能の大会への参加

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立中沢中学校
校長 最上哲宏

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回 ①平成26年 5月22日(水) 19:00~20:30
②協議内容
ア 委嘱状交付
イ 会則(案)の審議
ウ 会長・副会長の指名
エ 学校経営方針・重点施策について
オ 意見交換
- (2) 第2回 ①平成26年 8月 4日(月) 19:00~20:30
②協議内容
ア 1学期の活動を振り返って
イ 学校施設設備改善のための意見要望書について
ウ 意見交換
- (3) 第3回 ①平成26年12月16日(火) 18:30~20:00
②協議内容
ア 2学期の活動を振り返って
イ 保護者アンケートについて
ウ 意見交換
- (4) 第4回 ①平成27年 2月25日(水) 19:00~20:30(予定)
②協議内容
ア 3学期の活動を振り返って
イ 次年度の計画について
ウ 意見交換

2 上記以外の会議の実施状況

なし

3 具体的な取組状況

(1) 教育関連事業

- ①グッジョブ・ウィークの支援(7月)
・小学校 保育園 図書館 山の楽校等の地域の事業所 等
- ②赤ちゃんふれあい体験学習への協力(9月)
・南郷保健センター
- ③体育祭の支援(5月)
・受付接待 マラソンの誘導員 用具係 等
- ④部活動の支援(通年)
・バスケットボール部 ジャズバンド部

- ⑤南郷図書館からの支援
 - ・ 昼休みを利用した図書紹介活動（月1回）

（2）環境整備活動

- ①校地内草刈り及び樹木の剪定作業（6月，8月，10月）
 - ・ 木の枝や草の処理を地域の事業所に依頼
- ②花壇及び畑の整備（6月，8月）
 - ・ 草取りや開墾 等

（3）文化事業

- ①ジャズバンド部のライブコンサートの支援（8月）
 - ・ 受付接待 会場準備 楽器の運搬 写真撮影 ビデオ撮影 等
- ②小中合同発表会の支援（10月）
 - ・ 受付接待 会場巡視 地域の方の入場

（4）交流・連携事業

- ①民生委員及び保健センターとの情報交換（4月）
- ②ジョイントスクール授業公開および講演会（6月，8月，11月）
- ③学区内の巡回指導（6月～10月毎週金曜日19：00～）
 - ・ 地区の健全育成会の活動に参加

4 ボランティアの状況

- （1）ボランティア登録現在数 0人（保護者含む）
- （2）今年度ボランティア保険加入者数 0人

5 地域密着型教育の成果と課題

（1）成果

- ・ 地域学校連携協議会が設置されたことにより，学校に対する要望や地域の方々の願いを直接聞くことができ，教育活動の改善に努めることができた。また，学校の教育活動を良く理解していただくことができた。
- ・ 地域学校連携協議会で話し合われた学校の施設設備に関する要望がかなり受け入れられ，教育環境は改善された。
- ・ 地域との連携がうまく取れるようになり，学校行事や各種イベントに地域の方々が足を運んでくださるようになった。

（2）課題

- ・ 生徒たちの活動が校内だけではなく地域に広がっていくような機会を増やすために，地域を巻き込んだ活動を計画し，生徒たちが地域の一員として地域のために活動する機会を，意図的に設けていかなければならない。
- ・ 地域密着型教育について，地域の方々に広く知ってもらうため広報活動を積極的に行うなどの取組が必要である。
- ・ 地域から地区を挙げてのお祭りやイベント，子供会などの行事がなく，楽しみを共有できない状態であるので，学校行事の中に地域みんなで楽しめる企画を考えていきたい。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立島守中学校
校長 佐藤 隆彦

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回 ① 7月11日(金) 18:30~20:30 於: 島守中(26年度事務局校)
- ②【協議内容】
- ・委嘱状交付式(教育委員会)
 - ・今年度の計画及び地域との連携事業についての説明(小・中教頭)
 - ・今年度の教育方針についての説明(小・中校長)
 - ・学校関係者評価について(事務局)
- (2) 第2回 ① 11月25日(火) 19:00~20:30 於: 島守中
- ②【協議内容】
- ・地域との連携事業について(小・中教頭)
 - ・1学期の児童・生徒・保護者・教職員アンケートの結果報告(小・中校長)
 - ・アンケート結果等をもとにした話し合い
- (3) 第3回 ① 1月22日(木) 18:30~20:30 於: 島守中
- ②【協議内容】
- ・児童・生徒・保護者・教職員アンケートの成果と課題について(小・中校長)
 - ・地域との連携事業について(小・中教頭)
- 事前に「小・中学校学校目標の重点」についてのアンケート結果の資料を送付し、ご意見・助言をいただいた。

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) 企画推進部会 6月11日(水) 於: 島守中 19:00~
- ・小・中学校PTA会長・副会長(企画推進委員), 小・中学校長と教頭
 - ・昨年度の振り返りと今年度の地域学校連携委員会のもち方
 - ・昨年度の自己評価と学校関係者評価をもとにした改善の検討
 - ・新委員の改選について

3 具体的な取組状況

《島守ふるさと応援隊の活動》

(1) 教育関連事業

- ①福祉体験学習の支援
- ・高齢者疑似体験及び車いす体験・福祉体験学習
- ②グッジョブ・ウィークの支援(2年)
- ・八戸市立南郷図書館・ローソン南郷市野沢店・グリーンプラザなんごう株式会社
 - ・南郷カッコーの森エコーランド・社会福祉協議会通所介護事業・医療法人南六会
 - ・ヤマト運輸株式会社・自衛隊(海上自衛隊)(陸上自衛隊)
- ③絵手紙教室, 沐浴体験の支援
- ④習字指導の支援(全学年)
- ⑤体験学習報告会
- ・福祉体験(1年), 職場体験(2名), 赤ちゃんふれあい体験・保育体験(3年)
- ⑥家庭科の授業への支援 <地域住民, 栄養士>
- ・食育教室(全学年)・郷土料理作り

(2) 環境事業

- ①環境奉仕作業(草刈り, 枝打ち, 窓ふき早朝作業) 3回(PTA)
- ②資源回収(PTA, 地域住民)
- ③除草剤散布(PTA)
- ④地域清掃(全学年)
- ⑤虚空蔵山清掃

(3) 文化事業

- ①文化祭にかかるえんぶり練習，当日の発表（えんぶり組・教職員）＜地域住民 6名＞
- ②島守活き生きまつり（郷土芸能への参加）

(4) 交流・連携事業

- ①小・中学校ジョイントスクール事業（相互授業参観・情報交換・懇親会）
- ②小・中学校合同大運動会……島守音頭の練習＜地域住民 1名＞
- ③民生委員との情報交換
- ④地域学校連携協議会及び小・中学校ジョイントスクール授業公開・研修会
- ⑤赤ちゃんふれあい体験，保育体験（南郷保健センター・市野沢保育所）
- ⑥PTA研修旅行＜PTA，OB，小・中学校教職員＞

4 ボランティアの状況

(1) 保護者と地域の関係者全員が応援隊となっている。

※ 地域密着型教育予算による保険加入者数については，本年度はなし。

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ① 今年度は中学校が主担当であったため，地域学校連携協議会開催の前に具体的な打ち合わせを行い，双方が共通理解した上で協議会に臨んだ。協議会（委員）がリードする部分と，学校側が願う内容を吟味した。
- ② 1回目の地域学校連携協議会の前に企画推進部会を開催し，組織・会則の見直し，委員の選定，今後の事業計画や運営のあり方について打ち合わせを行った。昨年度から，オブザーバーとして企画推進部委員（小・中PTA副会長）にも声をかけ，協議会の内容を把握していただいた。
- ③ 島守地区では，地域の団体（役職）に基づいてメンバーが構成されている。固定化されている部分もある。そこで，新委員の選定を行い，様々な分野の方々からご意見をいただいた。
- ④ 3回目の協議会では，「学校目標に関する評価」についてコメントをいただいた。
 - ・文化祭での新聞紙・資料等、工夫されてまとめられてあった。グループで話し合い、協力し合いながら完成させていくことの大切さを学べるよい機会なので，続けてほしい。
 - ・行事や活動で周囲とのコミュニケーションを図りながらさらに積極的に活動してほしい。
 - ・主体性と表現力が着実に育ってきているようです。学校目標に近づいていると思う。
 - ・自分の役割を考え，周りと協力しながら活動している。どの行事でも先生方や地域の方から教わったことなど，真剣に聞き熱心に練習に励んでいる姿が素晴らしい。地域学校連携協議会を通して，委員の方々の生徒たちや学校に期待する思いと，今後生徒たちに何ができるかを模索している姿が印象的であった。そして，生徒たちが安全に生活できる環境を，地域で築き上げていこうとする姿が見られたことがとてもうれしかった。

(2) 課題

- ① 島守小・中学校地域密着型教育推進事業では，保護者・地域住民・教職員が「島守ふるさと応援隊」として，生徒たちのためにボランティアを引き受ける組織になっている。しかし，効果的に機能していない面がある。学校行事やPTA行事，日常の教科等の授業において協力していただく場面をさらに広げていくことが大切である。年度当初に年間の見通しをもって，PTAと協力しながら活用の工夫を図りたい。
- ② 委員の方々に対しては，学校行事や参観日や講演会などにお出でいただくよう案内を送付している。日常の生徒の様子をみる機会が少ないので，機会を見つけて積極的に情報発信を行っていききたい。いろんな場面で，生徒の普段の姿を理解していただいた上で，協議会で意見を話していただくかがポイントである。
- ③ 協議会で話し合われた内容については，小・中学校の学校だよりを通してお知らせしている。また，学校のホームページへ掲載したり，保護者集会の際に報告するなど発信していきたい。
- ④ 非常災害時・緊急時には，小学校と連携を取り，児童・生徒が安全に帰宅できるような体制を小学校と協力しながら取り組んでいく。また，防災マップ（土砂災害）などを参考に対応を考えていきたい。
- ⑤ 「地域密着型教育」をスタートして以来，6年が過ぎようとしている。これまでの取組を振り返り，継続すべき内容と改善すべき点を明確にしていきたい。

平成26年度「地域密着型教育」報告書

八戸市階上町学校組合立田代小中学校

校長 本 間 孝 浩

1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回 ①実施日時 平成26年 6月12日 18:30～
①協議内容・委嘱状交付式 ・会長氏名 ・会則承認 ・事業説明
- (2) 第2回 ①実施日時 平成26年12月18日 18:30～
②協議内容・事業報告 ・質疑
- (3) 第3回 ①実施日時 平成27年 2月27日 18:30～
②協議内容・事業報告 ・来年度の事業説明 ・質疑

2 上記以外の会議の実施状況（開催していない場合は必要なし入）

- (1) 企画推進部会 なし (2) 専門部会 なし (3) その他 なし

3 具体的な取組状況

- (1) 環境整備 ① 平成26年 5月11日 150名参加
② 平成26年10月19日 90名参加



- (2) 伝統芸能伝承活動補助 平成26年5月・10月 計5回 2名 えんぶり・駒踊り指導補助



(3) 豆しとぎづくり体験補助 平成26年6月 1日 5名 豆しとぎの調理過程補助



(4) ブルーベリー収穫体験補助 平成26年7月15日 3名 収穫の補助



(5) 運動会補助 平成26年5月25日 30名 テント設営・撤去作業

(6) キャンプ運営 平成26年7月26日～27日 15名 用具運搬・設営指導



4 ボランティアの状況

(1) 登録現在数 140人 (保護者含む) (2) 今年度ボランティア保険加入者数 0人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果 本校は、地域に支えられ地域と共に教育活動を展開してきており、PTA 会員も正会員 (保護者) と準会員 (地域住民) で構成されており、地域の総力を挙げて児童生徒の育成に取り組んでおり、今年度も様々な体験活動をサポートするためその特長を最大限に生かすことができた。

(2) 課題 学校が地域に支えられて充実した教育活動を展開していることを積極的に発信 (「学校だより」「育ちの道しるべ」カレンダーの全戸配付 等) することで結びつきを強める必要がある。

3章 実践発表資料

日計ヶ丘小学校 発表資料（コーディネーター研修会） 155

中居林小学校 発表資料（実践研究発表会） 160

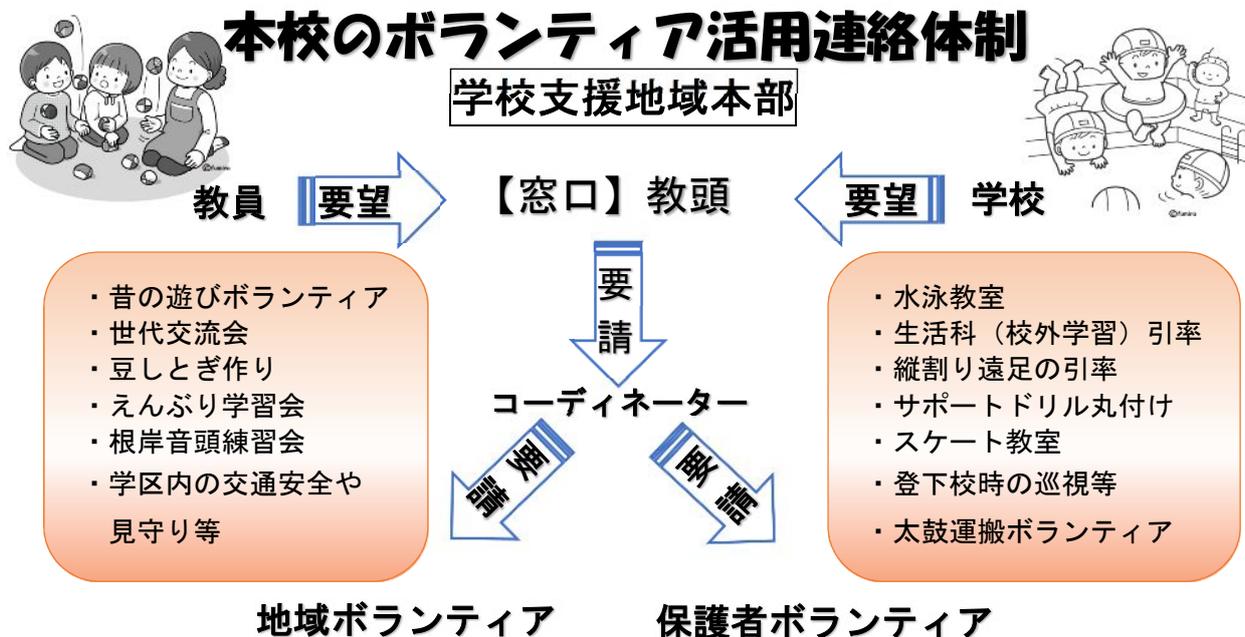
地域密着型教育コーディネーター研修会 実践発表資料

日計ヶ丘小学校コーディネーター 小松 和恵

* 日計ヶ丘小学校の学校支援の始まり

平成19年、文部科学省の委託事業として小中野小・中学校とともにモデル校になり、学校支援ボランティアが始まりました。それまでも、PTA活動が盛だったので保護者が学校に来る機会がとても多かったとはいえ、お手本もなく何から始めたらいいのか、教頭先生と試行錯誤の日々でした。

教頭先生と何度も話し合い、お互いの役割りをはっきりさせることで何をすれば良いのかが見えてきました。



* ボランティアが必要な場合、保護者向けには『学校支援ボランティア通信』を発行したり、地域ボランティアが必要な場合は地区の老人クラブや、根岸公民館を拠点としたボランティア団体『アスネットねぎし』に要請をして派遣して貰います。

【主な取り組み】

* 通年行われているボランティア活動

① 読み聞かせの会『ぶっく・びーんず』

平成16年に保護者が立ち上げた会です。はじめは5人からのスタートでしたが、現在は転出入で入れ替わりはあるものの、10人前後で隔週水曜日に活動を続けています。

② 図書ボランティア

読み聞かせの一年後に当時の校長先生からの要望で立ち上げ、毎週金曜日の中休みに貸し出しや本の登録、修繕、季節ごとのディスプレイなどのボランティアを行っています。その他、図書委員会の活動（ブッククイズラリー等）の際に先生からの依頼でお手伝いをすることもあります。

③ クラブボランティア

保護者だけではなく、地域の方にも自分が特技を生かし活動しています。今年度は『家庭科』『バドミントン・体操』『森遊び（昔遊び）』に入っています。

* コーディネーターの役割

コーディネーターを始めた当初は、ボランティアには自分も参加しなくては申し訳ないという気持ちで、常に何とか仕事を休んだり、都合をつけて参加するようにしていました。その後、日計ヶ丘小学校で給食配膳員として勤務するお話を頂きましたが、先生方との距離が近くなる半面、ボランティアの時間帯は勤務があり、自分が参加できなくなることを考え、その場合どうするべきかを考えました。

結果、コーディネーターの役割は学校とボランティアの橋渡しだと割り切り、参加しなくても理解して貰える活動をしていくことに決めました。

* ボランティアの声から生まれた『学校支援ボランティア通信』

コーディネーターを始めた当初はPTA副会長をしていたのでPTA活動の延長で、協力して下さる方もたくさんいたので、お願いしやすい人に声を掛けてしまっていました。皆さん協力的だったのでボランティアの固定化をどこかで気にしながらも甘えていた時、『全然学校に来ない人には私たちがボランティアをしてる事を知らないよね。』と言った一言で配慮が足りなかったと気づきました。そこで、保護者にボランティアが活動している様子を知らせたり、参加して下さった方の紹介、またボランティアも通信で募集することで固定化も防げるかもしれないと作り始めたのが『学校支援ボランティア通信』※資料①です。

* 様々な場面での解決法

今年度でコーディネーターも八年目になりますが、短ければ不慣れさゆえの、長ければ壁にぶつかりいつも悩みはつきません。そのたびにいつもヒントになったのは先生やボランティアの声でした。自分はボランティアには参加できませんが、出来る限り声を掛け、お礼を言ったり何か困ったことはないか、聞くようにしています。そうは言っても全てに対応出来る訳ではないので、思いついたのがボランティアアンケート※資料②です。思うことがあってもなかなか面と向かって言えないこともあると思うので、ボランティアをお願いした後に何かあれば自由に書いて貰っています。それはまとめて先生方にも配布し、次回の参考に役立てて貰っています。その逆に、先生方もボランティアに来て頂いている、という思いから少々やりすぎだと思っても言えない部分もあると思い、あらかじめ当日の要項※資料③を作っています。そうする事でボランティアも自分が、いつ、どこで、何をすれば良いのかが分かり、始まる前に説明する時間も短縮できるようになりました。ボランティアの方々には一年使う『連絡封筒』を作り、押印して返却して貰うことで確実に渡っているか確認できるようにしました。

* ニーズにあったボランティア

ボランティアを行うにあたって何をどれくらいすれば良いのか悩むことがありましたが、心がけているのは『ニーズにあったボランティア』です。それぞれの学校で、必要とされているボランティアも違いがあり、また校長・教頭が変わると方針もまた変わってきます。そのたびにまた振り出しに戻ったような気持ちになったりしましたが、自分自身の方針を決めることで楽になりました。昨年やったから今年もやらなければいけないとか、いつもこうだからこうしなくてはいけないと思わず、その時、必要なボランティアで良いと思っています。毎年、保護者も先生も違うので同じことをするのはなかなか難しいと思います。その中で新しい人脈や、ボランティアを開拓する方法を考えています。

* 学校、保護者、地域との連携

本校は転出入が多いので、地元の方がとても少なく、郷土料理の授業『豆しとぎ作り』や『えんぶり学習会』老人クラブとの『世代交流会』『畑作り』など保護者では対応できない部分を地域の方にお願ひしています。根岸地区には『アスネットねぎし』があるおかげで本当に助かっていますが、自分自身も地域の行事やボランティアには積極的に参加するようにしています。そこで顔を覚えて貰ったおかげで気持ちよくお手伝いして下さる方もいます。コーディネーターを始めたころは、きっと自分も『ボランティアは大変』と、どこか心の中で思っていて、頼むのも躊躇していたように思います。しかしボランティアを直接、声掛けだけではなく、通信で募集するようになって気づいたのは、こんなに参加したいと思っている人がいるんだ、という事です。申し込んで下さる方は頼まれたのではなく『自分の意思』で興味を持って参加して貰えるのはとても嬉しく思います。アンケートでは『子供の家では見られない様子が見れて良かった』『楽しく活動できた』と多くの方が言って下さいます。またボランティアならではの貴重な意見も聞くことが出来ます。地域の方も、子供達とのふれあいをとても楽しみにして下さっていて、昔の遊びの時などは手作りのおもちゃなどをたくさん持参して下さる方もいます。募集も、気軽に参加できる雰囲気作りを大事にし、気持ちよく活動でき、ボランティアが入ることによって先生方もじっくり指導する時間を確保できるような活動をこれからも続けたいと思います。



平成26年12月9日

日計ヶ丘小学校

学校支援ボランティア通信 No. 70

北稜中学校区学校支援地域本部
八戸市立日計ヶ丘小学校
学校支援コーディネーター
小松 和恵

サポートドリル丸付けボランティア募集

日頃より学校支援へのご協力ありがとうございます。1月16日(金)～1月23日(金)まで、サポートドリル教室を行います。そこで、プリントの丸付けをして下さるボランティアを募集します。

指導は先生方がして下さるので、ボランティアの方には、答えを見ながら解答用紙に丸付けをして頂くだけの簡単な内容です。参加して頂ける方は下記の内容をご覧になり、申込書を12月15日(月)までに提出して下さい。まだ二学期なのですが、3学期開始早々という事もあり、ご理解、ご協力をお願い致します。不明な点、質問等があれば学校支援コーディネーターの小松までご連絡下さい。

Tel.090-7939-6940

記

*日時：①1月16日(金) ②1月19日(月) ③1月20日(火) ④1月23日(金)

①③④→15:35～16:20 ②のみ→14:50～16:20

*場所：第二理科室(二階・会議室隣)

*集合：開始5～10分前までに集合してください。
※要項は3学期始業式後にお渡しします。

*申し込み期限・・・12月15日(月)



ご協力をお願い致します。

サポートドリル丸付けボランティア参加申し込み書

※参加できる日に○印を付けてください。

1月16日(金) 1月19日(月) 1月20日(火) 1月23日(金)

氏名

児童名

年 組

平成26年9月25日

日計ヶ丘小 校長
1年担任
2年担任

低学年水泳教室ボランティアの皆様へ

この度は、低学年水泳教室へのご協力、本当にありがとうございます。
つきましては、下記のように、日程、活動内容などを計画しておりますので、ご理解の上、どうぞよろしくお願い致します。

○ 集合場所 南部山健康運動センター プール玄関前 (TEL 20-5403)

○ 日程及び活動内容

時間	活動の流れ	ボランティアの方の動き	
9:30	・バス 日計ヶ丘小出発	集合 ここでボランティアの方を紹介します。 着替えがすみましたら、子ども達の着替えの見届けをお願いします。 (整理整頓・忘れ物など)	
9:55	・プール玄関前 到着 ・諸注意 ・着替え		
10:20	準備体操(坂本) 水泳教室開始 グループ分け(工藤) 分けられた子からプールサイドに待機させておく。全員分けられてから、それぞれのくみで練習。	イルカ ぐみ	(25M以上泳げる子) 工藤T 小田桐さん (プールに入っての指導)
11:05	休憩	スイミー ぐみ	(25M未満泳げる子) 熊谷T 中村さん・赤座さん (プールに入って補助・監視)
11:15	再開	ラッコ ぐみ	(泳げない子) 坂本T 宇夫方さん・戸賀沢さん 橋本さん (プールに入って補助・監視)
11:25	プールからあげる。 着替え	目・口の洗浄・シャワー指導～坂本 更衣室指導・整列～工藤 ボランティアの方は、着替えの見届けをお願いします。	
11:35	着替え完了 玄関前集合 お礼のあいさつ		
11:40	バス南部山出発		
12:05	日計ヶ丘小 到着	解散	

*日程や活動内容などは、子ども達の様子やグループの人数などでも、多少変更があるかもしれません。

*南部山プールから以下の指導事項がありましたので、よろしくお願い致します。

- ①指導者は、眼鏡をかけたまま、入水しない。
- ②プールサイドには、必ず水着を着用の上で入ること。

ボランティア

様

ボランティアアンケート記入のお願い

この度は、_____のボランティアをお引き受け下さり、ありがとうございました。おかげさまで、安全に指導を行う事ができました。

今後の指導や計画に生かしていきたいと思いますので、児童の様子でお気づきの事や、ご要望などありましたら、ご記入の上、コーディネーターの小松まで提出して下さいようお願い致します。（特にない場合はけっこうです。）



提出期限 _____ 月 _____ 日

..... きりとり

以下略

水泳教室・サポートドリル ボランティアアンケートまとめ (抜粋)

H26 6月26日

<水泳教室>

※中学年

レベルの個人差があるので先生とボランティアの人数で細かくグループ分けをした方がいいと思いました。

※高・中学年

高学年はだいぶ泳げるようになってびっくりしました。「できなあ〜い」と言いながらもしっかりということを知ってくれたので良かったです。中学年は泳げるようになりたいと言って練習を頑張っていました。とてもえらいと思いました。

<サポートドリル>

※仕事の休日とボランティアのお手伝いの日が重なり、お手伝いが出来ましたので良かったです。学校での子供達の様子が少しですが、のぞけたようで…このようなお手伝いに参加できて私も勉強になりました。ありがとうございました。

※今まで話した事のない子達とも接することが出来て楽しい時間でした。勉強面で接することが少ないので運動以外での子供の一面が見られて（意外な一面も見られて）良かったです。ようやく正解できた時の嬉しそうな表情は自分の子供でなくても見ていて嬉しくなりました。

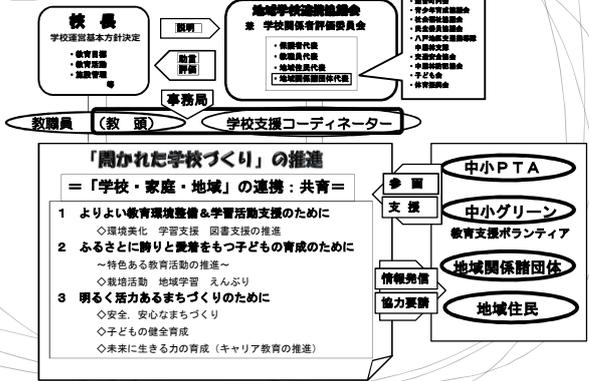
地域密着型教育推進事業実践研究発表会

共に学び,共に育つ
地域密着型教育をめざして



平成27年1月19日
八戸市立中居林小学校

1 中居林小学校「地域密着型教育」構想図



2 教育支援ボランティア「中小グリーン」の組織と取組

中小グリーンとは・・・

中居林小学校の教育活動を支援するボランティアチーム
(平成21年度 結成)

〈結成のねらい〉

地域の教育力を学校の教育活動に生かしながら、子ども達の確かな学びと豊かな育ちを支援する。

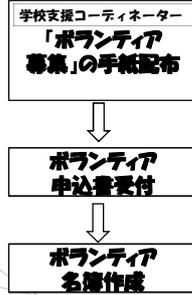
〈構成メンバー〉

学校支援コーディネーター（2名）

- 中居林小学校児童の保護者・・・26名
- 卒業生児童の保護者（OB）・・・21名
- 中居林地区地域住民・・・18名

計 65名

3 「中小グリーン」教育支援活動までの手順



中居林小学校 学校支援ボランティア募集

※主な支援内容※

- 学習活動支援
 - 校外活動（遠足、行）
 - 読書活動
 - 読書会
 - 読書会での読書
 - 自然観察活動
 - 読書活動支援の推進
 - その他
- 読書活動支援
 - 読書活動（本の読み聞かせ）
 - 読書会（読み聞かせ、授業中）
 - 読書会の開催
 - 読書活動の推進
- 図書活動支援
 - 読書活動
 - 読書会
 - 読書活動支援の推進
 - 読書活動支援の推進
- 読書活動支援
 - 読書活動
 - 読書会
 - 読書活動支援の推進
 - 読書活動支援の推進

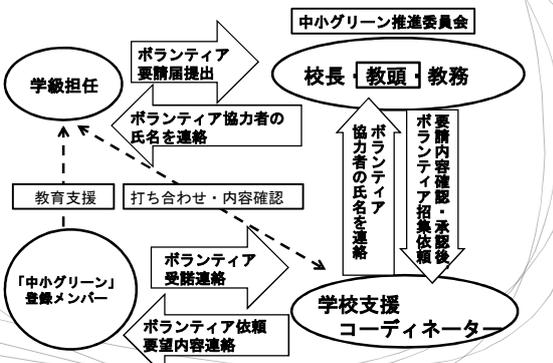
※応募要項※

1. 学校活動支援 2. 図書活動支援 3. 読書活動支援
○その他 4. 生徒会活動支援 5. その他活動支援

※応募要項※

1. 学校活動支援 2. 図書活動支援 3. 読書活動支援
○その他 4. 生徒会活動支援 5. その他活動支援

ボランティア募集から活動までの流れ



ボランティア募集届

1 学級担任がボランティア要請を希望する月日、人数、希望するボランティアの支援内容等を記入して提出。承認を受ける。

2 教頭はコピーをコーディネーターに渡す。コーディネーターは登録メンバーに呼びかけ、決まったら氏名を記入して教頭に渡す。教頭は学級担任にメンバーを知らせ、担任は確認印を押す。

11月27日(金) 5人

11月27日(金) 5人

4 「中小グリーン」の活動内容

(1) 図書活動支援

- ・読み聞かせ
- ・本の修理、整理
- ・季節の装飾

(2) 環境整備活動支援

- ・山野草園の草取り、樹木伐採
- ・学校花壇の苗植え
- ・ペンキ塗り
- ・学校施設環境美化作業

(3) 生活安全活動支援

- ・朝夕の登下校見守り
- ・あいさつ運動
- ・交通安全指導

(4) 学習活動支援

①授業・学習にかかわる支援

- ・家庭科「初めての裁縫」・生活科「音の遊び」
- ・安全マップ作成引率補助・動物ふれあい学習
- ・町探検引率補助
- ・習熟度別補充学習補助
- ・社会科見学引率補助
- ・放課後学習支援
- ・6年「お掃除検定」

②学校行事にかかわる支援

- ・銃太鼓修理
- ・周年式典時控室留守番
- ・参観日、保護者懇談時児童見守り
- ・新体力テスト測定補助

③栽培活動にかかわる支援

- ・苗の植え付け指導
- ・きなこづくり
- ・やきいも会
- ・米づくり
- ・スイートポテトづくり
- ・もちつき
- ・ポップコーンづくり

④地域・ふるさと学習支援

- ・豆しとぎづくり
- ・もちつき
- ・えんぶり指導

5 「中小グリーン」活動の実際

(1) 図書活動支援

授業や昼休みの読み聞かせ

本の修理や整理





季節の装飾

(例)「うらしまたろう」の紹介コーナー

図書室内外の環境整備




(2) 環境整備活動支援

山野草園の草取り・樹木伐採






学校花壇の苗植え I






創立140周年
記念花壇完成!

学校花壇の苗植え II







園芸委員会児童と一緒に
苗植え完了。春が楽しみです。

学校施設環境美化作業Ⅰ

- 平成21年 下駄箱ペンキ塗り
- 平成21年 タイヤペンキ塗り
- 平成22年 図書室の棚ペンキ塗り

学校施設環境美化作業Ⅱ

- 平成26年 プール小屋ペンキ塗り

学校施設環境美化作業Ⅲ

- バザー前の大掃除～PTAとコラボ

学校施設環境美化作業Ⅳ

- 校内装飾支援活動

(3)生活安全活動支援

朝の挨拶運動

- 青少協、生活委員会児童、地域ボランティアによる協同活動

登下校の安全見守り

(4) 学習活動支援

① 授業・学習にかかわる支援

生活科～昔のあそび



家庭科～初めての裁縫



**動物ふれあい
学習の支援**



放課後補充学習、習熟度別補充学習



校外学習引率補助



② 学校行事にかかわる支援



全校えんこえんこ～銭太鼓修理



**新体カテスト
測定補助**

③栽培活動にかかわる支援

苗の植え付け

調理活動

- ・ スイートポテトづくり
- ・ きなこづくり
- ・ 豆しとぎづくり
- ・ ポップコーンづくり

やきいも会

米作り (陸稲)

④地域・ふるさと学習支援

もちつき



6 取組みの成果

◇ボランティア活動の充実

- ・中小グリーンの方々の協力体制がすばらしく、多くの場面で教育活動に貢献することができた。ボランティア活動が軌道に乗ってきたことを実感できた。

◇学校と地域を結ぶ窓口としての機能の充実

- ・学校支援コーディネーターとして、毎週1回出動日を決めて定期的に学校と情報交換しながら、すべてのボランティア活動に参加したことにより、学校と地域をつなぐ窓口としての役目を果たすことができた。

◇学校から地域へ働きかける活動の推進

- ・縦割り班で地域のゴミ拾いを行う「ピカピカ大作戦」や「中小グリーン」をモデルとしてスタートした、児童による「中小リトルグリーン配達隊」の活動は、学校が地域に積極的に働きかける活動として有意義な取組だった。

◇地域学校連携協議会の充実

- ・地域学校連携協議会では、特別支援や通学路など学校が抱える課題について情報交換や話し合いを行った。学校の課題を共通理解し、それぞれの立場で改善策を話し合うことにより、学校・家庭・地域が共に力を合わせて子どもたちを育てていくという意識を高めることができた。

7 今後の課題

◇見通しをもったボランティア活動の推進

- ・今年度の活動を参考に、次年度の大まかな計画を立て、早期の人材確保に努める。

◇ボランティアの新メンバー確保

- ・現在のボランティアメンバーとの情報交換を密にし、新メンバー確保の情報収集に努める。
- ・ボランティア登録メンバー同士が顔を合わせて親睦を深める機会を大切に、メンバーが楽しみながら活動できる雰囲気づくりに努める。
- ・年度当初のボランティア募集の手紙に、年間の大まかな計画を載せたり、参加する活動を選択できる欄を設けたりすることによって、登録者の拡大を図る。
- ・広報紙「みどりの風」や学校便りでボランティアの活動を紹介し、周知を図る。



保護者や地域住民がそれぞれの立場で、できる時に、できることを通して子どもたちの「共育」に参加する「地域密着型教育」の推進

子どもと共に大人も学び、子どもと共に大人も育つ

「地域の活性化」

ご静聴ありがとうございました

4章 関係資料

1	地域密着型教育推進事業実施要項	167
2	八戸市「地域密着型教育推進事業」推進校における 地域学校連携協議会の設置に関する要綱	169
3	地域密着型教育推進事業に係る 「地域密着型教育コーディネーター」設置要綱	173
4	地域密着型教育推進事業基本構想図	175
5	同一学区内地域学校連携協議会の形態例	176

地域密着型教育推進事業実施要項

八戸市教育委員会

1. 趣 旨

近年、少子高齢化や核家族化、都市化などの社会現象に伴い、家庭や地域の教育力が十分に発揮しにくい状況が生じている。一方、学校においては、社会の急激な変化にも柔軟に対応できる「生きる力」を子どもたちに身に付けさせるために、教育内容を一層充実させることが強く求められている。

このことから、八戸市教育委員会では、児童生徒の確かな学びと豊かな育ちに資することを目的として、地域密着型教育を推進し、推進校の運営に関して、地域の住民及び保護者等の参画等を進めるものとする。

2. 地域密着型教育推進校における実践内容

八戸市教育委員会及び校長の権限と責任の下、保護者および地域住民が学校運営に参画できる地域学校連携協議会を設置し、地域住民等と学校との協働による「開かれた学校づくり」を推進する。

- (1) 「願い」「情報」「責任」「学び」の4つを学校・家庭・地域社会が共有し、PTA活動や地域活動などとの連携・協力を深めることにより、よりよい教育環境と支援体制を整備し、学校教育の質を向上させる。
- (2) 教育方針等に地域住民等の願いを反映させるとともに、地域の特色や地域住民等の教育力を生かした教育活動を展開することにより、児童生徒のふるさとへの誇りと愛着をはぐくむ。
- (3) 地域の次代を担う子どもたちの健全育成を通して、明るく活力あるまちづくりに貢献する。

3. 推進校の指定

- (1) 学校が指定を希望し、教育委員会が指定する。
- (2) 指定は、単年度ごととする。
- (3) 新規指定校に対しては、それぞれの実態に応じた地域学校連携協議会の組織の在り方について、教育委員会が助言・支援する。

4. 推進校における本事業に係る経費

本事業に要する経費の取扱いに関しては別に定める。

5. 推進校の組織

推進校においては、次の（１）～（４）に即して地域学校連携協議会を組織し、運営することとする。（５）（６）については、推進校の裁量とする。

（１）地域学校連携協議会（年３回程度）

（２）委員（理事）の任命

- ①校長の推薦により、教育委員会が任命する。
- ②委員（理事）は、保護者、地域住民、教職員、地域の幼児教育関係者、学校教育関係者、学識経験者等をもって構成する。
- ③委員（理事）の人数は１５人程度とする。
- ④任命期間は１年以内とし、再任を妨げない。
- ⑤委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。
- ⑥報酬については無償とする。

（３）会長及び副会長

- ①地域学校連携協議会に、会長１名と副会長若干名を置く。
- ②会長は校長が指名する。副会長は校長と会長が協議の上、会長が指名する。

（４）会議

- ①委員（理事）の半数以上の出席で、会議が成立する。
- ②議事は出席委員（理事）の過半数で決し、可否同数の時は会長が決する。

（５）専門部会（月１回程度）

（６）企画・推進部会

6. 主な機能

（１）地域学校連携協議会（年３回程度）において、次の各項について協議し、校長に対して意見を述べることができる。

- ①教育目標及び学校経営方針
- ②教育課程の編成に関する方針
- ③施設、設備の管理及び整備に関する方針
- ④各事項の前年度運営実績
- ⑤次年度の学校運営に生かすための、学校運営全般に関わる評価
- ⑥その他校長が必要と認める事項

（２）専門部会は、次の規定に基づいて活動する。

- ①専門部会の数や内容・名称については、各学校や地域の実態に合わせて設定する。
- ②各専門部会は賛助ボランティア委員を募り、それぞれの活動の充実に向けて取り組む。

（３）企画・推進部会は、次の各項の機能に基づいて活動する。

- ①保護者や地域住民等の意見・要望を教育活動に反映させるための具体策を企画・運営する機能
- ②各専門部会の活動内容を連絡・調整する機能
- ③学校行事の運営への参画や教育ボランティア活動の推進に関して協議する機能

（４）推進校においては、渉外等の事務機能を有する事務局を置くことができる。

八戸市「地域密着型教育推進事業」推進校における地域学校連携協議会の 設置等に関する要綱

(目的)

第1条 この要綱は、地域密着型教育推進校（以下「推進校」という。）における地域学校連携協議会（以下「協議会」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

(趣旨)

第2条 協議会は、八戸市教育委員会（以下「教育委員会」という。）及び校長の権限と責任の下、児童生徒の確かな学びと豊かな育ちに資することを目的として、その学校の運営に関して、地域の住民及び保護者等（以下「地域住民等」という。）の参画等を進め、地域住民等と学校との協働による「開かれた学校づくり」を推進する。

- (1) 学校と地域住民等との信頼関係を深め、その教育力を相互に高め合うことを通して、よりよい教育環境と支援体制を整備し、学校教育の質を向上させること
- (2) 教育方針等に地域住民等の願いや地域の特色を反映させることにより、児童生徒のふるさとへの誇りと愛着をはぐくむこと
- (3) 地域の次代を担う子どもたちの健全育成を通して、明るく活力あるまちづくりに貢献すること

(指定)

第3条 各校長は、地域住民等の意見を踏まえ、推進校の指定を教育委員会に申請することができる。

2 教育委員会は、前項の規定による申請があった場合において、前条の設置目的が達成できると認める場合には推進校の指定をすることができる。

(基本方針等の説明)

第4条 推進校の校長は、次に掲げる事項について、協議会の意見を基に、毎年度基本的な方針等を作成し、その内容を同協議会に説明するものとする。

- (1) 教育目標及び学校経営に関すること
 - (2) 教育課程の編成に関すること
 - (3) 施設、設備の管理及び整備に関すること
 - (4) その他校長が必要と認める事項
- 2 校長は、前項の基本方針等に基づき、その権限と責任によって学校運営を行わなければならない。
- 3 校長は、第1項各号に掲げる事項の前年度の運営実績を協議会に報告するものとする。

(運営についての意見)

第5条 協議会は、推進校の運営に関する事項（予算の編成及び執行に関する事項並びに職員の採用、任用、分限、及び懲戒に関する事項を除く。）について、校長に対して意見を述べることができる。

(運営に関する評価)

第6条 協議会は、学校の運営状況について毎年度1回以上の評価を行うものとする。

2 協議会が、文部科学省の「義務教育諸学校における学校評価ガイドライン」に沿った

学校関係者評価を行う場合においては、推進校の校長その他の教職員は、委員（理事）として意見を述べることはできない。

（運営への参画促進）

第7条 協議会は、推進校の運営について、地域住民等の理解、協力、参画等が促進されるよう努めるものとする。

（情報発信）

第8条 協議会は、地域住民等に対して、その活動状況に関する情報を積極的に発信するとともに、地域住民等の意見・要望等を把握し、その運営に反映するように努めるものとする。

（児童又は生徒の意見の聴取）

第9条 協議会は、校長の同意を得て、推進校の児童又は生徒の意見を聴取することができる。この場合において、児童又は生徒の発達の段階等に応じ、必要な配慮をしなければならない。

（委員の委嘱）

第10条 協議会の委員（理事）は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が委嘱する。

- （1） 推進校に在籍する児童又は生徒の保護者
- （2） 推進校の地域の住民
- （3） 推進校の教職員
- （4） 地域の保育関係者、幼児教育関係者、学校教育関係者
- （5） 学識経験者
- （6） 関係行政機関の職員
- （7） 前各号のほか教育委員会が適当と認める者

2 委員（理事）は、その一部を公募できるものとする。

3 推進校の校長は、委員（理事）を推薦することができる。

4 委員（理事）の定数は、校長と協議の上、15人程度で教育委員会が定める。

5 委員（理事）に欠員が生じたときは、教育委員会は新たに委員（理事）を委嘱することができる。

6 委員（理事）は、地方公務員法（昭和25年法律第261号）第3条第3項第2号に規定する特別職の非常勤職員とする。

（委員の任期）

第11条 委員（理事）の任期は、委嘱の日から1年以内とする。ただし、任期途中の委員（理事）の交代等に伴う補欠の委員（理事）の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員（理事）は、再任されることができる。

3 第1項の規定に関わらず、推進校の指定の期間が満了したとき又は指定が取り消されたときは、委員（理事）は、その身分を失う。

（守秘義務等）

第12条 委員（理事）は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

2 前項のほか、委員（理事）は次の各号に掲げる行為をしてはならない。

- （1） 協議会及び推進校の運営に支障をきたす言動を行うこと。

(2) 委員（理事）としての地位を営利行為、政治活動、宗教活動等に不当に利用すること。

(3) 委員（理事）の職の信用を傷つけ、又は委員（理事）の職全体の不名誉となるような非行を行うこと。

（報酬等）

第 13 条 委員（理事）の報酬及び費用弁償については、無償とする。

（会長及び副会長）

第 14 条 協議会に、会長 1 名及び副会長若干名を置く。

2 会長は校長が指名する。副会長は、校長と協議の上、会長が指名する。ただし、推進校の校長その他の教職員を会長又は副会長に指名することはできない。

3 会長は、会務を総理する。

4 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を行う。

5 副会長が複数名いる場合は、会長の職務代行についての副会長の優先順位をあらかじめ定めておく。

（議事）

第 15 条 会長は、校長と協議の上、協議会の会議を招集し、議事を掌る。

2 会議は、委員（理事）の半数以上が出席しなければ、開くことができない。

3 議事は、出席委員（理事）の過半数で決し、可否同数のときは会長の決するところによる。

4 会長は、必要があるときは、校長から報告及び説明を求めることができる。

5 校長は、会議に出席し、及び意見を述べ、並びに職員を出席させることができる。

6 協議会の協議事項について個人的に利害を有する委員（理事）は、当該協議事項について意見を述べ、又は議決に加わることはできない。

（専門部会等）

第 16 条 校長は、第 7 条に規定する学校運営への参画等を具体的に進めるため、協議会に専門部会（プロジェクト）等を置くことができる。

2 前項の専門部会（プロジェクト）等の具体的内容については、学校の実態に則して、各推進校の協議会会則で定めるものとする。

（指導及び助言）

第 17 条 教育委員会は、協議会の運営に関し、その求めに応じて指導及び助言を行うものとする。

2 推進校の校長及び教育委員会は、協議会が適切な活動を行うことができるよう情報の提供及び説明に努めるものとする。

（指定の取消し）

第 18 条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する事由が生じた場合は、必要に応じて適切な指導・助言を行うものとし、当該指導・助言等にもかかわらず、事態が改善しない場合は、推進校の指定を取り消さなければならない。

(1) 協議会が機能せず、その設置の目的を果たせないとき。

(2) 協議会としての合意形成が行えないとき。

(3) その他協議会の運営が著しく適正を欠くことにより、推進校の学校運営に現に著しい支障が生じ、又は生じるおそれがあるとき。

2 校長は、前条第 2 項の規定による情報の提供及び説明に努めたにもかかわらず、基本方針等について協議会の了解が得られないとき又は推進校の運営に現に著しい支障が生じ、若しくは生じるおそれがあるときは、指定の取消しを申し出ることができる。

(解任)

第 19 条 教育委員会は、本人から辞任の申出があったときのほか、次の各号のいずれかに該当すると認められるときは、委員（理事）を解任することができる。

(1) 第 12 条に規定する義務に違反したとき。

(2) 委員（理事）が心身の故障のために職務を遂行することができないとき。

(3) その他、解任に相当する事由が認められるとき。

2 校長は、委員（理事）が前項各号のいずれかに該当すると認めるときは、直ちに教育委員会に報告しなければならない。

(運営等)

第 20 条 協議会は、法令及び教育委員会が定める要綱及びその設置目的に反しない範囲において、その運営に必要な事項を定めることができる。

(委任)

第 21 条 この要綱において別に定めることとされている事項及びこの要綱の実施に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この要綱は、平成 22 年 4 月 1 日から実施する。

地域密着型教育推進事業に係る「地域密着型教育コーディネーター」設置要綱

(趣 旨)

第1条 この要綱は、地域密着型教育推進事業において、地域密着型教育を支援するために推進校に配置する地域密着型教育コーディネーター（以下「コーディネーター」という。）について必要事項を定めるものとする。

(設 置)

第2条 八戸市教育委員会（以下「委員会」という）は、児童数 100 人以上の小学校及び、生徒数 80 人以上の中学校の推進校にコーディネーターを置くものとする。

2 コーディネーターは、地域密着型教育推進校（以下「推進校」という）校長の推薦により選任し、委員会が委嘱する。

3 コーディネーターは、原則 1 推進校 1 人とする。ただし、必要と認められる場合は複数名委嘱することができる。

(職 務)

第3条 コーディネーターは次に掲げる業務を行う。

- (1) 推進校に設置する地域学校連携協議会の事務に関すること。
- (2) 学校支援ボランティア人材バンクの作成事務に関すること。
- (3) 学校が必要とする支援と人材バンク登録者や地域とのコーディネート（調整）に関すること。
- (4) 地域学校連携協議会が検討した事業の実施に関すること。
- (5) その他委員会及び推進校校長が学校支援に関して必要と認める事項に関すること。

(服 務)

第4条 コーディネーターは、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 法令等及び委員会の職務上の命令に従うこと。
- (2) 職の信用を傷つけ、又は職全体の不名誉となるような行為をしないこと。
- (3) 職務上知り得た秘密を漏らさないこと。
- (4) 誠実かつ公正に勤務すること。

(免 職)

第5条 委員会は、コーディネーターが次の項に該当する場合においては、その任期中においても委嘱を解くことができる。

- (1) 本人の都合により退職を申し出た場合
- (2) 心身の故障のため、職務の遂行に支障があり、又はこれに堪えない場合
- (3) その職に必要な適正を欠く場合

(4) 刑事事件に関し起訴された場合

(任用期間)

第6条 コーディネーターは、1年を超えない期間を任期として任用する。ただし、更新することを妨げない。

(勤務日及び勤務時間等)

第7条 原則として、1週間の勤務時間はおおむね7時間以内とする。

2 勤務場所は、原則として推進校校内とする。ただし、委員会もしくは推進校校長が必要と認めた場合は、校外においても勤務することができる。

(謝礼及びその支給)

第8条 謝礼は、予算の範囲内において支給するものとし、時給800円とする。

2 謝礼の計算期間は、一の月の初日から末日までとする。

3 謝礼の支給日は、前項の計算期間の翌月の21日（その日が日曜日、休日又は土曜日に当たるときは、その日の前日以前で、かつ、その日に最も近い日曜日、休日又は土曜日でない日）とする。

(費用弁償)

第9条 コーディネーターに支給する費用弁償の額は、八戸市職員等の旅費支給条例（昭和28年八戸市条例第9号）第14条第1項第3号に規定する特別職の職員等以外の職員の職務にある職員相当額とする。

2 コーディネーターに対する費用弁償の支給は、一般職の例による。

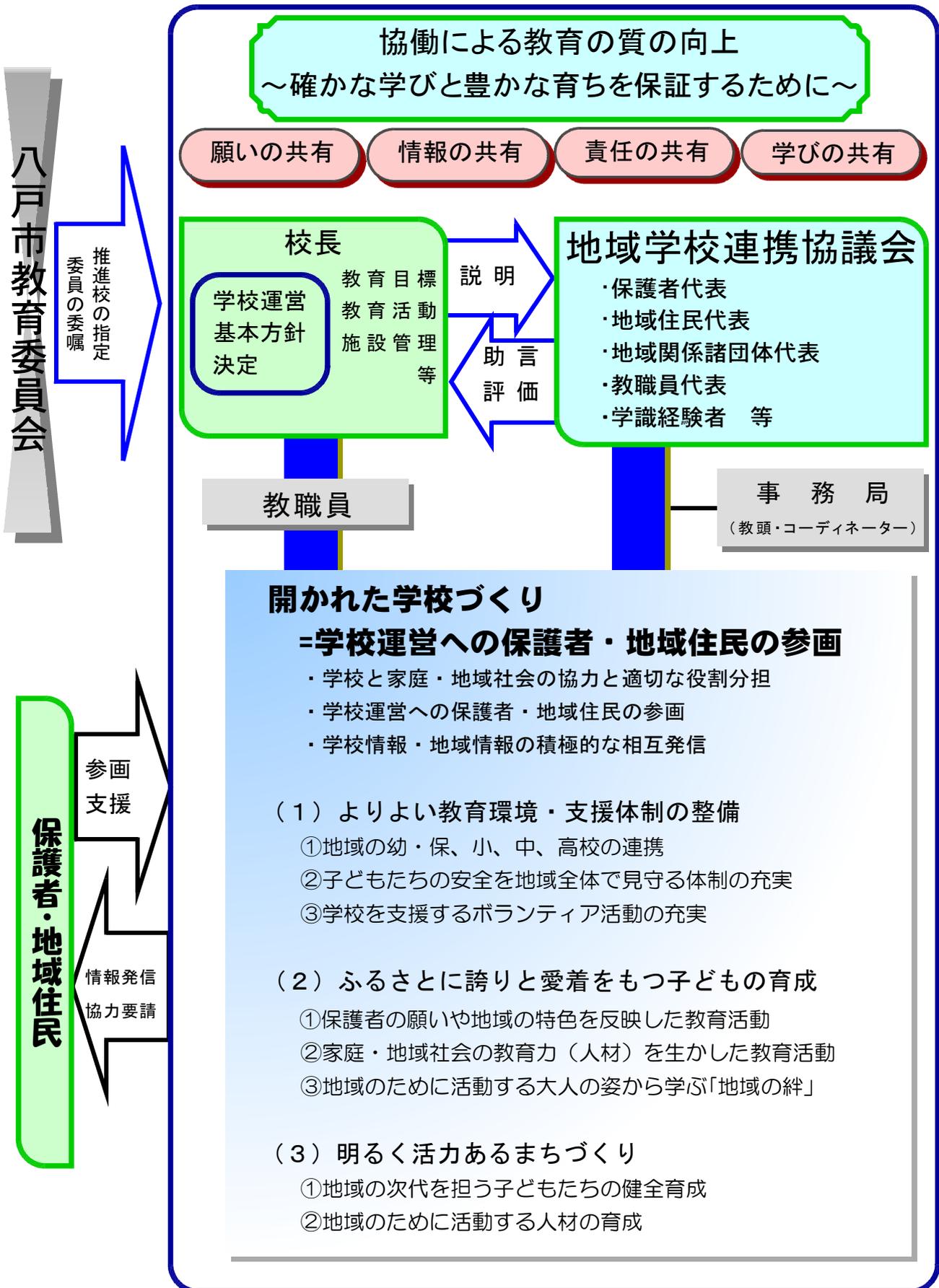
(その他)

第10条 この要綱の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成22年4月1日から施行する。

地域密着型教育推進事業基本構想図



協働による教育の質の向上
~確かな学びと豊かな育ちを保証するために~

願いの共有

情報の共有

責任の共有

学びの共有

校長

学校運営
基本方針
決定

教育目標
教育活動
施設管理等

説明

助言
評価

地域学校連携協議会

- ・保護者代表
- ・地域住民代表
- ・地域関係諸団体代表
- ・教職員代表
- ・学識経験者 等

教職員

事務局

(教頭・コーディネーター)

開かれた学校づくり

= 学校運営への保護者・地域住民の参画

- ・学校と家庭・地域社会の協力と適切な役割分担
- ・学校運営への保護者・地域住民の参画
- ・学校情報・地域情報の積極的な相互発信

(1) よりよい教育環境・支援体制の整備

- ①地域の幼・保、小、中、高校の連携
- ②子どもたちの安全を地域全体で見守る体制の充実
- ③学校を支援するボランティア活動の充実

(2) ふるさとに誇りと愛着をもつ子どもの育成

- ①保護者の願いや地域の特色を反映した教育活動
- ②家庭・地域社会の教育力(人材)を生かした教育活動
- ③地域のために活動する大人の姿から学ぶ「地域の絆」

(3) 明るく活力あるまちづくり

- ①地域の次代を担う子どもたちの健全育成
- ②地域のために活動する人材の育成

八戸市教育委員会

推進校の指定
委員の委嘱

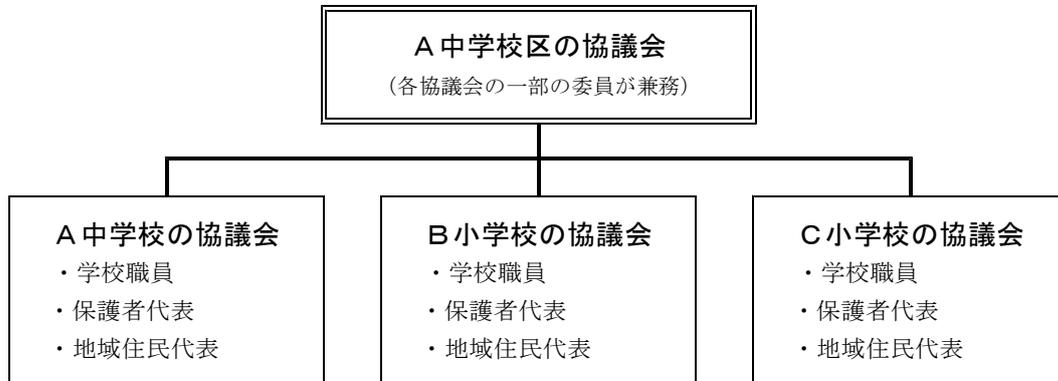
参画
支援

情報発信
協力要請

保護者・地域住民

同一学区内地域学校連携協議会の形態例

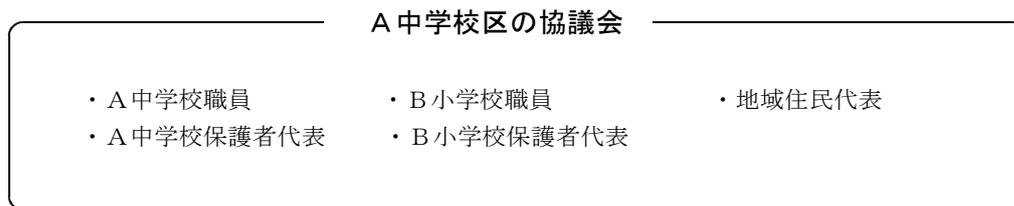
1 複数の協議会のネットワーク型



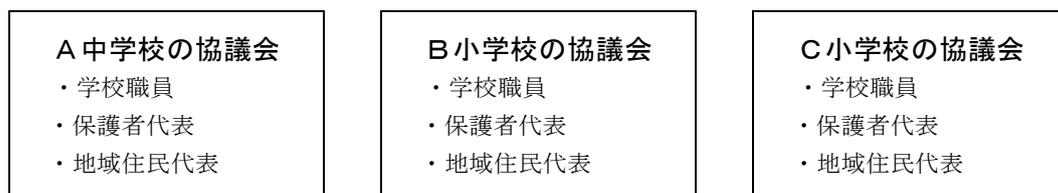
2 一部の委員が兼務する一部合同型



3 小中合同の完全一体型



4 学校別の独立型



※同じ学区にある他の学校の校長先生を委員やオブザーバーにするケースが多い



平成26年度
地域密着型教育推進事業実践報告集

編集発行：八戸市教育委員会 教育指導課

〒031-8686 八戸市内丸一丁目1番1号
電話 0178-43-9519 (直通)
FAX 0178-47-4997